

# 学生の確保の見通し等を記載した書類

(医療健康学部 理学療法学科)

東京国際大学



# 目次

1. 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況.....	3
1.1. 学生の確保の見通し.....	3
1.1.1. 定員充足の見込みおよび入学定員設定の考え方.....	3
1.1.2. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要.....	4
1.1.2.1. 大学進学者の推移.....	4
1.1.2.2. リハビリテーション系学部の志願動向.....	6
1.1.2.3. 埼玉・東京エリアにおける理学療法系統学科の志願動向.....	6
1.1.2.4. 高校生アンケート調査の結果.....	7
1.1.2.5. 理学療法学科在学生アンケート調査の結果.....	9
1.1.2.6. 本学既設学部の学生確保状況.....	12
1.1.3. 学生納付金の設定の考え方.....	12
1.2. 学生確保に向けた具体的な取組状況.....	13
2. 人材需要の動向等社会の要請.....	15
2.1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）.....	15
2.2. 人材需要の客観的根拠.....	16
2.2.1. 健康増進・介護予防分野で貢献できる理学療法士養成の必要性.....	16
2.2.2. 理学療法士に対する社会的需要予測.....	17
2.2.3. 埼玉県における理学療法士の状況.....	18
2.2.4. 事業所アンケート調査.....	19
2.2.5. スポーツトレーニング施設、行政機関、健康関連企業における理学療法士の需要.....	22

## 1. 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況

### 1.1. 学生の確保の見通し

#### 1.1.1. 定員充足の見込みおよび入学定員設定の考え方

定員の設定にあたっては、本学が提供可能な教員体制、施設・設備、実習体制をベースに検討し、近隣の大学の定員数も参考にした上で、入学定員 80 名・収容定員 320 名と定めた。

現在、本学に在籍する学生（留学生を除く）の出身地域は埼玉県及び東京都の 2 都県で 7 割強を占め、理学療法学科についても同様と予測している。今後の中長期的な学生確保の見通しを検討するため、当該 2 都県における大学進学者数の推移を推計したところ、2030 年時点において 2015 年対比埼玉県で 96.9%、東京都では 98.7%と極端な落ち込みはなく、十分に定員を充たしていくことが可能な環境だと予想される（資料 1）。

また、全国のリハビリテーション系学部の志願動向では、2015 年度に 905 人だった入学定員は、2019 年度には 1,545 人と、5 年間で入学定員は約 70%増加、志願者数についても同様に、2015 年度に 4,165 人だった志願者は、2019 年度には 6,817 人と 5 年間で約 60%増加しており、志願倍率は 5 年間を通じて 400%超となっている（資料 2）。リハビリテーション系学部の募集定員は過去 5 年間で大きく拡大しているが、その拡大に合わせて志願する受験生も大きく増加してきている。直近の志願倍率も高い水準を維持していることから、今後も引き続き、受験生からのニーズが大きい学問系統であると考えられる。

この傾向は本学の主要な学生募集地域である埼玉県及び東京都の理学療法学科の志願動向についても同様である。本学の主たる学生募集エリアと想定される地域に所在する大学の理学療法学系統の一般入試の志願動向・定員充足率等はいずれも堅調に推移している（資料 3、4）。わが国においては、高齢化の進展に伴う医療患者数・要介護者数の増加により、リハビリテーション利用者の増加が見込まれる。今後の日本社会の中で、理学療法士の重要性は更に高まっていくことから、理学療法学系統に対する志願動向は今後も継続して高く、安定的に学生を確保していくことが可能だと考えられる。また、理学療法士が活躍できる場所は従来の医療施設・介護施設だけでなく、スポーツトレーニング施設等にも活躍の場が拡大していくことが予想される。卒業後のキャリアにおける選択肢の広がりによって、理学療法士という進路は受験生にとってより魅力的になると言える。

本学にて独自に実施した高校生アンケート調査でも、東京国際大学の理学療法学科の概要を説明した後、本学理学療法学科へ「進学を希望する」と答えた高校生は 152 人に上り、入学定員 80 名の 1.9 倍の進学希望者が得られた（資料 7）。この結果から、本学が目指している理学療法学科の特色が受験生のニーズに合

致し、評価されていることが確認できた。

また、他大学の理学療法学科に在籍している学生を対象にしたアンケート調査の結果でも（資料 9 表 5）、東京国際大学の理学療法学科に対する関心の高さを確認できた。

以上、埼玉県、東京都における学生募集環境の予測、理学療法学系統に対する受験生のニーズの高さ、理学療法士が活躍する場の拡大、本学の理学療法学科特色に対する受験生からの評価、これらを踏まえると今後、中長期的に安定した学生の確保が可能だと考えられ、教員体制及び施設・設備、実習体制等を勘案しても入学定員 80 名・収容定員 320 名は充足可能で妥当な人数だと考える。

## 1.1.2. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

### 1.1.2.1. 大学進学者の推移

今後の中長期的な学生確保見通しを考察するため、まずは大学進学者全体のボリュームの変化を国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」及び文部科学省「大学への進学者数の将来推計について」のデータをもとに推計した。

本学に在籍する学生（留学生を除く）の出身地域（保護者住所）は埼玉県が 50.3%、東京都が 20.4%で、この 2 都県出身の学生で 7 割強を占める。したがって、大学進学者数の予測にあたっては、当該 2 都県における大学進学者数推移を見ていく。表 1 に示すとおり、埼玉県の大学進学適齢人口について、2015 年の 354,632 人を 100.0 とする場合、2020 年には 335,397 人（94.6）、2030 年には 303,238 人（85.5）と、2030 年までに 14.5%の減少が見込まれる。一方、東京都については、2015 年の 572,290 人を 100.0 とする場合、2020 年には 552,167 人（96.5）、2030 年には 564,674 人（98.7）と、埼玉県に比べて人口の減少幅は小さく、1.3%の減少に留まることが推計されている。

表 1. 大学進学適齢人口の推移予測

<15～19歳推計人口>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	354,632	335,397	322,194	303,238
	100.0	94.6	90.9	85.5
東京都	572,290	552,167	557,895	564,674
	100.0	96.5	97.5	98.7

国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」



次いで、大学進学率の推移予測に関しても表2で見えていく。埼玉県については、2015年の51.1%を100.0とする場合、2020年には53.6%（104.9）、2030年には57.9（113.3）と、2030年までに2015年と比べて13.3%の増加が予測されている。東京都については、現在の大学進学率が既に極めて高いことから、2030年の大学進学率は2015年と同じく72.8%であることが予測されている。

**表2. 大学進学率の推移予測**

<大学進学率>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	51.1%	53.6%	55.6%	57.9%
	100.0	104.9	108.8	113.3
東京都	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%
	100.0	100.0	100.0	100.0

文部科学省「大学への進学者数の将来推計について」

上記で示してきた大学進学適齢人口と大学進学率の数値を掛け合わせ、大学進学者数の推移予測として表したものが表3である。埼玉県については、大学進学適齢人口は減少する一方で、大学進学率は上昇するため、2015年を100.0とする場合、2020年では99.2、2030年では96.9と、3.1%の僅かな減少に留まる。また、東京都についても、大学進学適齢人口の減少が僅かであるため、2015年を100.0とする場合、2020年では96.5、2030年では98.7と推移していくことが予測できる。

**表3. 大学進学者数の推移予測**

<指数：（15～19歳推計人口）×（大学進学率）>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	100.0	99.2	98.9	96.9
東京都	100.0	96.5	97.5	98.7

日本社会における少子化の進行によって、大学の学生募集環境は今後も楽観視できる状況ではない。しかし、以上で見てきたとおり、本学へ入学してくる学生の主要な出身地域である埼玉県、東京都では、今後の大学進学者数に極端な落ち込みはないと予測でき、十分に定員を充たしていくことが可能な環境だと考えられる（資料1）。

### 1.1.2.2. リハビリテーション系学部の志願動向

続いて、今回設置を計画している「医療健康学部 理学療法学科」と同じ学問系統の学部の志願動向を見るため、日本私立大学振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」を基に、全国のリハビリテーション系学部の志願者・入学者の動向を確認した。

2015年度に905人だったリハビリテーション系学部入学定員は、2018年度には1,165人、2019年度には1,545人と、5年間で入学定員は約70%増加している。その間、志願者数についても同様に、2015年度に4,165人だった志願者は、2018年度には4,876人、2019年度には6,817人と5年間で約60%増加しており、志願倍率は5年間を通じて400%超となっている。入学定員充足率については、2015年度は102.3%、2018年度は104.2%、2019年度は99.8%と、100%前後で堅調に推移している（資料2）。

リハビリテーション系学部の募集定員は過去5年間で大きく拡大しているが、その拡大に合わせて志願する受験生も大きく増加してきている。直近の志願倍率も高い水準を維持していることから、今後も引き続き、受験生からのニーズが大きい学問系統であることが予測でき、安定的に学生を確保していくことが可能だと考えられる。

### 1.1.2.3. 埼玉・東京エリアにおける理学療法系統学科の志願動向

新学科の主たる学生募集エリアと想定される地域における大学の状況を見るため、本学への入学者の多くを占める埼玉県および東京都において、理学療法系統の学科（または専攻）を設置している大学の志願動向、入学動向を調査した。

完成年度前の大学を除いた各大学の一般入試志願倍率を見ると、多くの大学で志願倍率は堅調に推移している。2019年度について見ると、最も高い東京工科大学で22.4倍、最も低い埼玉医科大学で2.6、全大学合計の一般入試志願倍率は8.3倍である（資料3）。

入学定員の充足率は、いずれの大学も1倍前後となっている。収容定員の充足率についても、情報が公開されていない大学を除き、いずれの大学も1倍を超えていることから、本学近隣の大学の理学療法学科では十分な志願者、入学者が集まっている（資料4）。前述した全国のリハビリテーション系学部の志願動向と同様に、本学の主要な学生募集地域である埼玉県、東京都において、理学療法系統への志願動向は堅調である。理学療法系統に対する受験生からのニーズの高さがうかがえる。

わが国においては、高齢化の進展に伴う医療患者数・要介護者数の増加により、リハビリテーション利用者の増加が見込まれる。なお、この傾向は本学が人材養成を担うことになる首都圏において、より一層顕著である。今後の日本社会の中

で、理学療法士の重要性は更に高まっていくことから、理学療法学系統に対する志願動向は今後も継続して高く、安定的に学生を確保していくことが可能だと考えられる。また、理学療法士の活躍の場は従来、病院、診療所などの医療施設・介護施設等が中心であったが、介護保険法関連施設、行政機関、一般企業、教育・研究機関、スポーツトレーニング施設等に活躍の場が拡大することが期待されている。卒業後のキャリアにおける選択肢の広がりにより、理学療法学系統への進学を検討している受験生にとっては、より魅力的な進路になると言える。

上述した社会情勢および他大学の募集状況の中、本学の理学療法学科が受験生から実際に評価され得るのか、その点を検証するため、高校生を対象にアンケート調査を行った。また、本学理学療法学科の教育内容を検討するにあたっても、他大学の理学療法学系統学科に通う大学生を対象に、理学療法士を目指す学生のニーズを探るアンケート調査を実施している。その結果を次項以降で詳述する。

#### **1.1.2.4. 高校生アンケート調査の結果**

##### ・調査の概要

本学の理学療法学科への入学に対する意識把握を目的として、埼玉県、東京都を中心とした関東圏の高校生を対象に、第三者機関（一般財団法人 日本開発構想研究所）によるアンケート調査を実施した。また、調査実施時には、新学科の内容を理解してもらう目的から、調査票（資料5）に加えてリーフレット（資料6）も提供している。

##### ・調査対象

埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県の高등학교に在籍する高校2年生（開設年度の入学生）。

##### ・調査実施期間

2019年6月～2019年11月

##### ・調査方法

郵送調査

##### ・回収結果

高等学校139校に対して合計19,254票のアンケート調査票を送付した。その結果、123校から合計14,168票の有効回答票を回収することができた。有効回

答票の回収率は、73.6%であった。

・調査結果（資料7）

回答者が居住する都道府県について、「埼玉県」が 5,132 人（36.3%）、「東京都」が 5,730 人（40.5%）であった。現在の本学の入学者層と同じく、埼玉県、東京都を中心とした高校生の回答を集めることができた。

「Q3 高校卒業後の希望進路」については、「大学進学」と答えた高校生は 11,733 人（83.0%）、「短期大学進学」は 309 人（2.2%）、「専門学校進学」は 1,527 人（10.8%）であった。合計で 13,569 人（96.0%）が進学を希望している。

この 13,569 人に対して、「Q6 本学理学療法学科への興味度」を聞いたところ（表4）、本学の理学療法学科に「興味を感じる」と答えた高校生は 899 人（6.7%）、「少し興味を感じる」と答えた高校生は 3,272 人（24.5%）であった。

表 4. 本学理学療法学科への興味度

No.	カテゴリ	件数	(非該当と不明を除く)%
1	興味を感じる	899	6.7
2	少し興味を感じる	3272	24.5
3	あまり興味を感じない	3730	27.9
4	興味を感じない	5453	40.8
	不明	215	
	非該当	599	
	サンプル数 (%ベース)	14168	13354

次いで、「Q7 本学理学療法学科への進学希望」について聞いた結果（表5）、本学の理学療法学科へ「進学を希望する」と答えた高校生は 152 人（1.1%）、「一応進学を考える」と答えた高校生は 761 人（5.7%）であった。「進学を希望する」と答えた高校生だけでも、入学定員の 80 名を上回る人数（入学定員数の 1.9 倍）が得られ、本学が新設する理学療法学科の特色が、高校生から評価されていることを確認できた。

表 5. 本学理学療法学科への進学希望

No.	カテゴリ	件数	(非該当と不明を除く)%
1	進学を希望する	152	1.1
2	一応進学を考える	761	5.7
3	進学を希望しない	7698	57.7
4	わからない	4733	35.5
	不明	225	
	非該当	599	
	サンプル数 (%ベース)	14168	13344

また、「Q7 本学理学療法学科への進学希望」を「Q3 高校卒業後の希望進路」とクロス集計を行い、Q3 で「大学進学」と回答した 11,733 人に限定し、「Q7 本学理学療法学科への進学希望」の結果を見た場合（表 6）、「進学を希望する」と答えた高校生は 139 人（1.2%） であった。大学（短期大学を除く）への進学希望者に限定したとしても入学定員を上回る人数（入学定員数の 1.7 倍）が得られた。

**表 6. 本学理学療法学科への進学希望（大学進学希望者ベース）**

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	進学を希望する	139	1.2
2	一応進学を考える	674	5.7
3	進学を希望しない	6550	55.8
4	わからない	4192	35.7
	不明	178	1.5
	非該当		
	サンプル数（%ベース）	11733	100

以上の調査結果から、本学理学療法学科の特色が高校生から評価されていることが確認できた。この調査結果を現実のものとして定員を充足していくため、学生確保に向けた取組の遂行や、学生のニーズに応じた教育内容・入試制度の整備等を確実に実施し、学生確保に努めていく。

#### 1.1.2.5. 理学療法学科在学生アンケート調査の結果

- ・調査の概要

理学療法学科新設の検討にあたり、理学療法学科に対する学生のニーズ把握を目的として、全国の理学療法系統の学科に在籍する大学生を対象に、第三者機関（株式会社エム・セオリー）によるアンケート調査を実施した（資料 8）。

- ・調査対象

国公立・私立大学の理学療法系統学科に在籍する大学生

- ・調査実施期間

2016 年 10 月～2016 年 11 月

- ・調査方法

WEB 調査

- ・回収結果

日本理学療法学生協会に依頼し、12 校の学生から合計 233 票の有効回答票が

得られた。

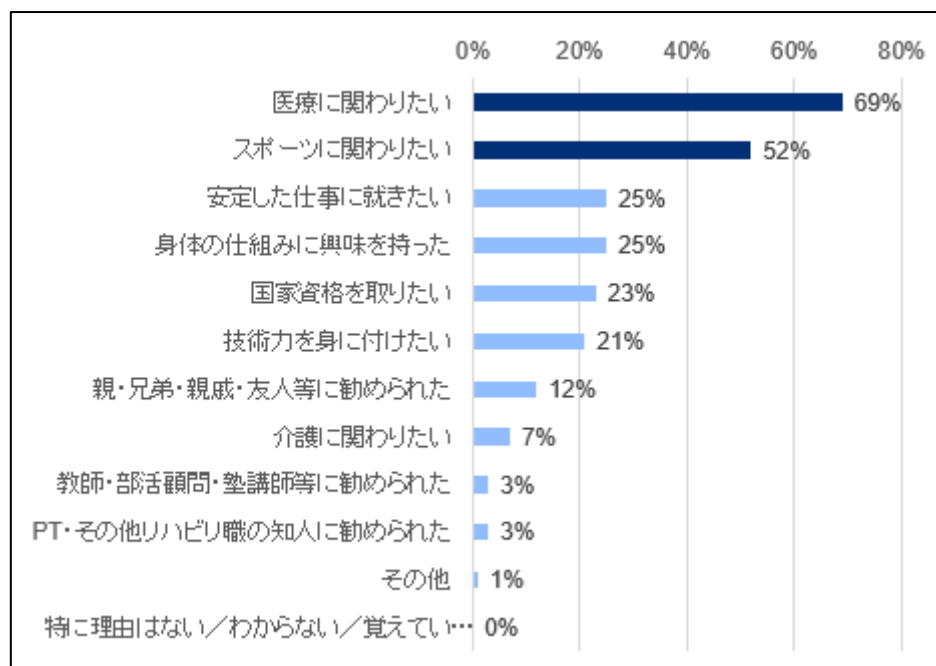
・調査結果

回答者の所属大学について、私立大学に在籍している学生は 94 人 (40.3%)、国公立大学に在籍している学生は 139 人 (59.7%) であった (資料 9 表 1)。

大学の所在地については、95 人 (40.8%) が首都圏所在の大学に在籍しており、138 人 (59.2%) がその他都道府県所在の大学に在籍している学生であった。また、首都圏所在の大学に在籍する 95 人のうち、93 人 (97.9%) は私立大学の学生である (資料 9 表 1)。

理学療法士を目指した理由について、図 1 のとおり回答者全体の結果を見ると、「医療に関わりたい」という理由が 161 人 (69.1%) で最も多く、次いで「スポーツに関わりたい」という理由が 122 人 (52.4%) で 2 番目に高い結果であった (資料 9 表 2)。

図 1. 理学療法士を目指した理由

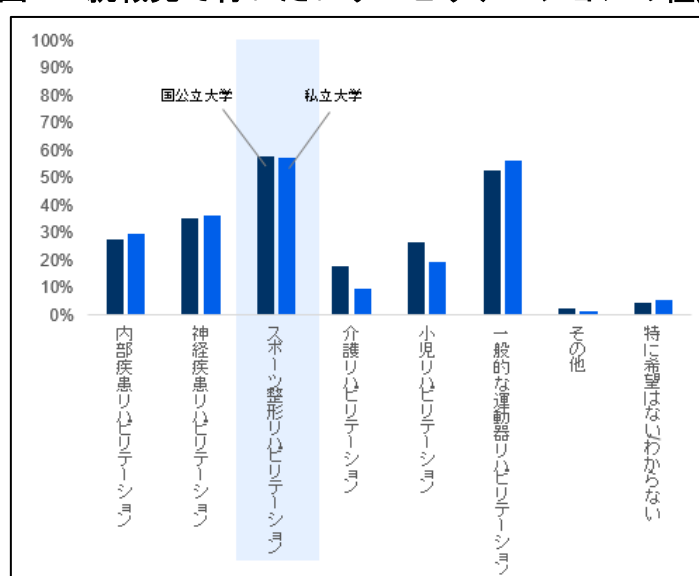


理学療法を学ぶ大学生に高校時代の部活動を聞いたところ、8 割以上の学生にスポーツ系の部活動経験があることから (資料 9 表 3)、理学療法に対する関心の背景には、スポーツへの関心が元々存在していることがうかがえる。

実際、図 2 で示すとおり、就職先で経験したいリハビリテーションの種類についても、「スポーツ整形リハビリテーション」と答えた学生は国公立大学で 80 人 (57.6%)、私立大学で 54 人 (57.4%) と、スポーツと関連づけて理学療法士の

仕事を考えている学生が多く見られた(資料9表4)。近年、我が国においては、スポーツの意義が注目されている。人口減少・高齢化が進展し、社会保障給付費が急増している我が国において、子どもから大人、高齢者、障害者まで継続して心身の健康維持・増進を図ることのできるスポーツは持続可能な経済財政政策を構築する上で極めて合理的な手段である。このような社会的必要性の高まりから、スポーツ理学療法を本学は重点を置く分野の一つとしており、これが理学療法学を学ぶ学生のニーズにも合致すると確認できた。本学理学療法学科は、社会と学生、双方から求められる教育を提供していくことができると考える。

図2. 就職先で行いたいリハビリテーションの種類



埼玉県および東京都の大学に在籍する学生 81 人に対し、本学の特長を伝えた上で新設の理学療法学科にどの程度の興味をもつか聞いたところ、「入学したいと思う」が 5 人 (6.2%)、「受験したいと思う」が 16 人 (19.8%)、「興味を持ったと思う」が 35 人 (43.2%) という結果であった(資料9表5)。少数の学生による回答ではあるが、本学に対して、7 割弱の学生が少なくとも興味はもつという結果が得られた。

本学は人間社会学部の中に人間スポーツ学科、スポーツ科学科という二つの学科を設置しており、1,600 人を超える学生が運動やトレーニングに関する理論・実践方法等を学んでいる。健康の維持・増進のための生涯スポーツから、トップアスリートのための競技スポーツまで、スポーツに関する幅広い分野の学びを提供する体制が整っている。また、駅伝部をはじめとして、日本有数の指導者、施設・設備を擁する強化スポーツクラブが多く存在し、高度なスポーツの現場に触れる機会も用意されている。

スポーツに関する豊富な教育環境は本学がもつ特色の一つであり、理学療法学科においても、この教育環境を活用していく。例えば、資格取得に関しては、理学療法士の国家試験受験資格だけではなく、「トレーニング指導者」、「初級障がい者スポーツ指導員」等の資格取得を可能とする教育課程を準備している。

学生の募集においても、強化スポーツクラブの運営の中で、多くの高校の部活動指導者との繋がりをもっている。そのネットワークを活用し、理学療法およびスポーツに関心をもつ高校生に対して、的確に情報提供を行っていくことが可能である。

上述してきたように、理学療法を学ぶ多くの学生について、理学療法に対する関心の背景にはスポーツへの関心が存在する。本学が特色として擁するスポーツに関連する豊富な教育環境は、多くの学生のニーズに合致する教育を可能とするものとするものとする。

#### **1.1.2.6. 本学既設学部 of 学生確保状況**

本学の既設学部について、過去5年間の志願・入学動向を見ると、志願者数は各学部とも過去3年間で大きく増加している（資料10）。

商学部については、2017年度は649人、2018年度は779人、2019年度は1,052人と、過去3年間で1.62倍の増加。経済学部については、2017年度は春秋合計で987人、2018年度は1,439人、2019年度は1,639人と、過去3年間で1.66倍の増加。言語コミュニケーション学部については、2017年度は588人、2018年度は703人、2019年度は1,164人と、過去3年間で1.98倍の増加。国際関係学部については、2017年度は春秋合計で1,061人、2018年度は1,408人、2019年度は1,734人と、過去3年間で1.63倍の増加。人間社会学部については、2017年度は838人、2018年度は911人、2019年度は1,005人と、過去3年間で1.20倍の増加である。

また、いずれの学部も収容定員の充足率は1倍前後で堅調に推移しており、既設学部の学生確保は好調な状況にある。これは後述する学生確保に向けた具体的取組を推進してきた結果であり、新設する理学療法学科においても同様の取組を進めていく。したがって、理学療法学科についても、十分に学生を確保していくことが可能と考える。

#### **1.1.3. 学生納付金の設定の考え方**

学生納付金の設定においては、入学事務手続きや教育サービスの提供、施設・設備の維持等に関する経費を勘案し、入学金を25万円、学費を155万円、諸経費を4万円、初年次合計で184万円とした。



表 7 のとおり、近隣の競合大学と比べても妥当な水準の金額だと言える。

**表 7. 埼玉県内の主要競合大学の初年次学生納付金（2019 年度）**

学部・学科	入学金	学費	諸経費	合計
東京国際大学 医療健康学部 理学療法学科	25 万円	155 万円	4 万円	184 万円
埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科	30 万円	150 万円	4.6 万円	184.6 万円
日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科	30 万円	150 万円	5.6 万円	185.6 万円
人間総合科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科	30 万円	140 万円	—	170 万円
日本保健医療大学 保健医療学部 理学療法学科	30 万円	160 万円	—	190 万円
文京学院大学 保健医療技術学部 理学療法学科	30 万円	160.8 万円	2.8 万円	191.6 万円
東京家政大学 健康科学部 リハビリテーション学科	30 万円	150 万円	2.7 万円	182.7 万円
目白大学 保健医療学部 理学療法学科	25 万円	147.5 万円	2.5 万円	175 万円

## 1.2. 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた募集活動については、本学の特徴や新設学科の特色が高校生及び保護者、進路指導担当教員等に伝わるよう様々な機会を設けることとする。2019 年度の本学の新入生を対象に行った調査によると、東京国際大学を進学先として選択する際、影響を受けたものとして「オープンキャンパス」や「高校の先生との面談や話」等が上位に挙がっている。**(資料 11)**。受験生が進学先を決める上で、これらの情報経路が重要なものであると考え、受験生と直接的に接する機会であるオープンキャンパスおよび高校教員への情報提供を特に力を入れて遂行する。以下に本学が実施していく具体的な取組を述べる。

### ・オープンキャンパス

受験生向けに大学の学びを理解してもらう機会としてオープンキャンパスを開催している。本学の特色、人材育成の狙いの紹介、模擬授業、在学生のプレゼンテーション、キャンパス案内等を実施し、平成 30 年度については 6 回 4,514 名の来場者があった。新設の理学療法学科についても、同様の対応を行う。

### ・高校等訪問

本学が重点対象とする高校に対し職員を派遣、進路指導部長及び部員に本学の教育システム、方針について説明を実施し、生徒が本学への興味、関心を持ってもらえるように周知を依頼している。平成 30 年度については延べ 1,611 校を

訪問した。新設の理学療法学科についても、重点校を設定しており、徹底対応する。

- ・ 高校個別模擬授業

本学が重点対象とする高校に対しては、高校へ教員を派遣して出張講義を行い、高校生が具体的な学びのイメージを掴む手助けをしている。平成 30 年度は 58 校で実施した。新設の理学療法学科についても、重点校に対し徹底対応する。

- ・ キャンパス見学会

本学を訪問する高校側のニーズに応じて、見学、キャンパスツアー、説明会などを組み合わせて実施している。必要に応じて当該高校出身の在学生在が、本学での学び、生活についての説明する機会も設けている。平成 30 年度 13 校の見学を受け入れた。新設の理学療法学科についても、重点校に対し徹底対応する。

- ・ 高校教員対象大学説明会

高校の進路指導教員向けに「高校教員対象大学説明会」を開催し、教育内容や入試制度の前年からの変更点などを伝え、進路指導の参考にしてもらっている。平成 30 年度は 27 校の参加があった。新設の理学療法学科については、重点的に説明を行う。

- ・ 進学相談会

学外で開催される各種進学ガイダンス・説明会へ積極的に参加している。学生のウエートが低い首都圏以外のエリアのガイダンス・説明会にも参加している。平成 30 年度は 30 会場のガイダンス・説明会に参加した。新設の理学療法学科については、重点的に説明を行う。

高校内で開催されるガイダンス・説明会についても重点校については積極的に参加している。平成 30 年度は 147 校のガイダンス・説明会に参加した。理学療法学科の重点校に関しては、徹底対応する。

## 2. 人材需要の動向等社会の要請

### 2.1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学では、全学部を挙げて現代社会のニーズに応じた人材の養成に取り組んできた。特に既存の人間社会学部においては、保健体育、健康運動指導及びスポーツ指導に携わる卒業生を輩出することで、国民の健康維持・増進の面で社会に対して貢献してきた。本邦においては、高齢化の進展に伴い、「要介護認定者の増加」、「介護職員の不足」、「社会保障給付費の増加」等が予測されている（資料 12、13、22）。高齢者の生活を支援するための財政的・人的資源に限りがあることから、高齢者が要介護状態になることを未然に防ぐ、健康増進・介護予防分野の役割が重要視されている。また、高齢者が要介護状態に至る原因として、高齢による衰弱、骨折・変形性関節症などの運動器系の疾患、脳卒中などの中枢神経系の疾患、認知症等の割合が高く（資料 23）、今まで以上に、保健医療の知識・技術を有し、国民の健康維持・増進、介護予防等に貢献できる人材を養成していく必要があると考え、「医療健康学部」を設置することとした。特に日常生活動作の自立を支援する保健医療福祉の専門職の重要性が増大することが見込まれ、理学療法士の活躍の場が、医療分野を中心として、健康維持・増進分野にまで拡大していることを考慮し、「理学療法学科」を設置することとした。

これからの社会において、理学療法士は医療・福祉分野及び健康増進・介護予防分野で大いに貢献できると考える。本学が独自に行った調査によっても、理学療法士に対する社会的需要は増大していくことが予測される（資料 14 表 2、表 4）。また、本学がある埼玉県は、人口当たりの理学療法士数が全都道府県の中で 6 番目に少ないことから（資料 15）、埼玉県を中心に首都圏で活躍できる理学療法士を養成する必要があると考える。

本学では、現代社会の問題を理学療法士の視点から捉え、医療・福祉分野のみならず、健康増進・介護予防分野においても活躍できる人材の養成を行う。この目的を達成するために、専門教育科目において希望の進路に対応して科目を選択する履修モデルを設け、それぞれ下記の分野で活躍できる人材を養成する。

#### ① 臨床理学療法分野

一般病院、リハビリテーション病院等でエビデンスに基づいた知識と技術を持った理学療法士として、他職種と連携しながら地域医療に貢献できる人材を養成する。

#### ② スポーツ理学療法分野

スポーツ整形外科病院、スポーツトレーニング施設等で、障害の改善や競技スポーツおよび生涯スポーツの活動を支援できる人材を養成する。

#### ③ 予防理学療法分野

介護保険サービスの事業所・施設、自治体、健康関連企業等で、介護予防、疾病予防、障害予防及び健康増進を目的とした理学療法を実践し、地域社会に貢献できる人材を養成する。

## 2.2. 人材需要の客観的根拠

### 2.2.1. 健康増進・介護予防分野で貢献できる理学療法士養成の必要性

我が国は、先進諸国に類をみないスピードで急速に少子高齢化が進んでいる。それに伴い、社会保障給付費（年金、医療、福祉、その他を合わせた額）は、近年急速な伸びを示しており、2018年度においては121.3兆円に達した。さらに、政府は、高齢化率のピークを迎える2040年度においては、社会保障給付費がおよそ190兆円になるとの推計を公表している（資料22）。今後も人口減少と高齢化の進行が予想されるため、持続可能な経済財政の構築に向けた対策を講じていくことが必要である。特に、子ども・子育て支援や高齢者が少しでも長く働ける環境づくりを進めるとともに、**健康上の問題がなく自立した日常生活を送れる期間、いわゆる「健康寿命」の延伸が喫緊の政策課題**とされている。現状のままですと、要介護（要支援）の認定者数は2035年には960万人となり、2015年の認定者数（620万人）の約1.5倍に増加する見通しである（資料12）。一方で、介護職員については、2035年には68万人も不足すると推計されている（資料12）。「社会保障給付費の増加」と「マンパワーの不足」を明確に示した上記の将来推計を踏まえると、高齢者が要介護状態になることを未然に防ぎ、健康で自立した日常生活を継続して営めるように、国全体を挙げて健康増進・介護予防分野

に力を入れていく必要があると考える。

このような社会的背景に鑑み、健康増進・介護予防分野に貢献できる人材の重要性が増すと考える。特に、日常生活動作の自立を支援する医学的リハビリテーションの専門職である理学療法士の視点から、医療分野を中心に健康増進・介護予防分野で貢献できる人材が求められると考える。

### 2.2.2. 理学療法士に対する社会的需要予測

全国の65歳以上人口は、2015年の33,868千人から2025年には36,771千人、2040年には39,206千人へと増加が予測される(資料13)。高齢者の増加に伴い、医療患者数及び要支援・要介護者数も増加が見込まれる(資料14表1)。医療患者数は、2015年には858万人だった人数が2025年には887万人に増加し、65歳以上の高齢患者の比率は2015年が53.2%だったものが58.3%に増加する。また、要支援・要介護者数については、2015年に604万人だった人数が、815万人に増加すると予測されている。

地域医療構想等の施策により、全国ベースでは「病床数の減少」、「病床区分割合の変化(急性期からの病床転換)」、「医療から介護への機能移管」の進行が予想されるが、リハビリテーション利用度の高い「回復期病床」割合の増加、介護の比重拡大により理学療法士に対する社会的需要は拡大すると予測される。

理学療法士に対する全国ベースの需要を予測すると、2015年時点の106千人に対し、2025年には152千人(+43%)～190千人(+79%)へと大幅増が見込まれる(資料14表2)。一方で、厚生労働省の理学療法士・作業療法士(以下、PT・OT)需給分科会の平成31年の資料によると、現時点で、PT・OTの供給数は、需要数を上回っており、2040年頃には供給数が需要数の約1.5倍になると推計されている(資料24)。しかし、この推計は、PT・OTを区別せず算出され、また地域別に検討されていないため、今後さらなる分析が必要である。

次に、本学が位置する首都圏内における理学療法士の社会的需要予測について記す。首都圏においては、医療患者数及び要支援・要介護者数の増加によって、理学療法士に対する需要は高い。

1都3県の65歳以上人口は、2015年の8,659千人から2025年には9,520千人、2040年には11,135千人へと増加が予測されている(資料13)。医療患者数及び要支援・要介護者数も全国を大きく上回る増加が見込まれる(資料14表3)。医療患者数は、2015年には231万人だった人数が2025年には248万人に増加、また、要介護者数については、2015年に138万人だった人数が、199万人に増加すると予測されている。

1都3県における理学療法士に対する需要を予測すると、2015年時点の21千人に対し、2025年には36千人(+70%)～45千人(+111%)への拡大が見込まれ

る（資料 14 表 4）。

四病院団体協議会は、平成 28 年に全国の理学療法士の充足状況に関する実態調査を行い、地域別に分析したうえでその結果を報告している（資料 25）。全国 4,963 施設に行った大規模調査においては、理学療法士の充足状況に関して、全国の 40.6%の施設が運営上（患者の状況に応じ必要な人員）、「充足していない」と回答した。この傾向は、全国の中でも関東が最も強く、関東の病院で理学療法士が足りていないことが明らかになった。また、理学療法士の雇用計画については、2025 年までに雇用を「減らしていく」と回答した施設は 0.0%である一方で、「増やしていく」、「現状のまま」と回答した施設はそれぞれ 45.2%、18.3%であった。さらに、就職の応募状況について、関東では「募集しても応募が少ない」と回答する割合が 43.8%に上った。PT・OT を区別し、地域別に分析をおこなった本報告は、本学が示した需要予測を支持するものとする。

上述してきたとおり、高齢者および要支援・要介護者の増加に伴い、特に首都圏において、理学療法士に対する社会的な需要は現在よりも高まることが予測され、本学が養成していく理学療法士に対しても人材需要は高いことが見込まれる。

### 2.2.3. 埼玉県における理学療法士の状況

埼玉県内の理学療法士協会会員数は、2019 年 3 月末時点で 5,312 名であり、全都道府県の中で 8 番目に多いが、人口 10 万人あたりの理学療法士協会会員数を算出すると僅か 73 人で、埼玉県は全都道府県の中で 6 番目に少ない（資料 15）。埼玉県は、東京都や神奈川県などの近隣の都県と並んで理学療法士の数が極めて少ないと言える。

本学理学療法学科を設置する埼玉県の川越比企圏域においては、2025 年における高齢化率が全県の 28.4%を上回り、30.6%になることが推計され、高齢者の占める比率が埼玉県の中でも高い地域と言える（資料 16）。

川越比企圏域の在宅医療等の必要量の推計は、2013 年では、1 日あたり 4,816 人であったのが、高齢化率の増加に伴い、2025 年には約 2 倍の 8,799 人になると推計されている（資料 17）。また、訪問や通所リハビリテーション関連のサービスの必要量に関しても数年のうちに急増することが示されている（資料 18）。本学理学療法学科の設置を予定している川越比企圏域についてはこのような状況が予測されているが、2019 年 10 月現在、埼玉県南西部中核市であり、人口 35 万人以上を擁する川越市内には理学療法養成大学はない（図 4）。この地域において、理学療法士を養成する学部を設置することは、今後高齢化が進む市民の生活を支えていく上で、強く必要とされると想定される。

図 3. 埼玉県内の理学療法養成大学の所在地



以上のとおり、埼玉県は他の都道府県に比べて人口に対する理学療法士の割合が少ない一方で、地域におけるリハビリテーションの必要量は急増すると考えられるため、埼玉県において、地域社会で貢献できる保健医療福祉の専門職、特に理学療法士を育成する必要があると考える。

#### 2.2.4. 事業所アンケート調査

##### ・ 調査の概要

本学の理学療法学科卒業生の採用意向把握を目的として、理学療法士を採用している事業所を対象に、第三者機関（一般財団法人 日本開発構想研究所）によるアンケート調査を実施した。また、調査実施時には、新学科の内容を理解してもらう目的から、調査票（資料 19）に加えてリーフレット（資料 20）も提供している。

##### ・ 調査対象

関東圏所在の事業所の採用担当者

##### ・ 調査実施期間

2019 年 12 月～2020 年 2 月

##### ・ 調査方法

郵送調査

・回収結果

558 事業所に対してアンケートを送付した。その結果、233 事業所から有効回答票が得られ、回収率は 41.8%だった。

・調査結果（資料 21）

「Q1 事業所の所在地」について、「埼玉県」が 72 事業所（30.9%）、「東京都」が 76 事業所（32.6%）、「千葉県」が 44 事業所（18.9%）、「神奈川県」が 27 事業所（11.6%）で、回答した事業所は一都三県が中心となっている。

「Q2 事業所の種別」は「病院・診療所」が 194 事業所（83.3%）で最も多く、次いで「介護老人保健施設」が 20 事業所（8.6%）。

「Q4 現在の理学療法士の充足状況」を聞いたところ（表 8）、「大きく不足している」という回答が 21 事業所（9.0%）、「やや不足している」という回答が 132 事業所（56.7%）、それぞれを合わせると、6 割半ばの事業所が理学療法士の不足を感じている。

**表 8. 現在の理学療法士の充足状況**

No.	カテゴリ	件数	(非該当と不明を除く)%
1	大きく不足している	21	9.0
2	やや不足している	132	56.7
3	充足している	78	33.5
4	その他	2	0.9
	不明	0	
	サンプル数 (%ベース)	233	233

本学の理学療法学科について、「Q7 設置の期待度」を聞いた結果では（表 9）、「ぜひ設置してほしい」が 84 事業所（36.2%）、「どちらかというど設置してほしい」が 84 事業所（36.2%）、合わせて 7 割強の事業所が本学の理学療法学科設置に期待をしている。

**表 9. 理学療法学科設置の期待度**

No.	カテゴリ	件数	(非該当と不明を除く)%
1	ぜひ設置してほしい	84	36.2
2	どちらかというど設置してほしい	84	36.2
3	設置してほしくない	16	6.9
4	その他	48	20.7
	不明	1	
	サンプル数 (%ベース)	233	232

本学の卒業生に対しての「Q8 採用意向」では（表 10）、「採用したい」という



回答が 64 事業所 (27.5%)、「採用を検討したい」という回答が 120 事業所 (51.5%) で、合わせて 184 事業所 (79.0%) に本学理学療法学科卒業生の採用意向がうかがえた。

**表 10. 理学療法学科卒業生の採用意向**

No.	カテゴリ	件数	(非該当と不明を除く)%
1	採用したい	64	27.5
2	採用を検討したい	120	51.5
3	採用は考えない	8	3.4
4	その他	41	17.6
	不明	0	
	サンプル数 (%ベース)	233	233

「Q8 採用意向」で「採用したい」と回答した 64 事業所に絞って、「Q9 採用想定人数」を確認したところ (表 11)、「1~2 人」が 39 事業所、「3~4 人」が 12 事業所、「5~6 人」が 1 事業所、「7~10 人」が 2 事業所、「11 人以上」が 1 事業所という回答であった。採用想定人数を実数に換算するため、「1~2 人」を 1 人、「3~4 人」を 3 人、「5~6 人」を 5 人、「7~10 人」を 7 人、「11 人以上」を 11 人として計算すると、採用想定人数は合計で 105 人となり、入学定員の 80 名を超える人数 (入学定員の 1.3 倍) に対して採用意向のあることが確認できた。

**表 11. 理学療法学科卒業生の採用想定人数**

		問9 採用想定人数							
		選択肢	1~2人	3~4人	5~6人	7~10人	11人以上	その他	不明
		加重値	(1人)	(3人)	(5人)	(7人)	(11人)	(0人)	(0人)
問8 採用意向	採用したい	/	39	12	1	2	1	9	-
	採用を検討したい	/	64	7	1	1	-	46	1
	採用は考えない	/	-	-	-	-	-	-	-
	その他	/	-	-	-	-	-	-	-
	不明	/	-	-	-	-	-	-	-
「採用したい」件数×加重値		/	39	36	5	14	11	-	-
合計			105人						

※加重値：各選択肢を実人数に換算するために設定した人数

この調査結果から、本学の理学療法学科卒業生に対しては入学定員相応の需要があると考えられ、卒業後、社会の中で理学療法士として活躍していくことが可能だと言える。

## 2.2.5. スポーツトレーニング施設、行政機関、健康関連企業における理学療法士の需要

本学理学療法学科の卒業後の進路は、病院、診療所、介護老人保健施設等が中心であり、前述した事業所アンケートではこれらの施設における需要を調査した。本学理学療法学科の卒業後の就職先の一部候補として、スポーツトレーニング施設、行政機関、健康関連企業等も想定されるため、これらの施設については日本理学療法士協会発行の「理学療法白書 2019」を基に需要を推察する。

日本理学療法士協会は、国家資格理学療法士を有する会員で構成されており、その会員数は平成 31 年度時点で 125,372 名に達している。日本理学療法士協会は、会員の属性を基に、毎年「理学療法白書」として統計情報を公開しており、施設区分毎の会員数が示している。

表 12 に健康産業に勤務する理学療法士協会会員数（人）を示した。スポーツ関連施設の会員数は、2013 年 31 人であったのが 2018 年には 44 人になり、約 1.4 倍に増加している。フィットネス施設の会員数に関しては、2013 年 11 人であったのが 2018 年には 43 人になり、約 3.9 倍に増加している。本学理学療法学科学生の進路の選択肢の 1 つとして、「スポーツトレーニング施設」、「健康関連企業」が挙げられる。

表 12. 健康産業に勤務する理学療法士協会会員数（人）

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
スポーツ関連施設	31	33	45	46	44	44
フィットネス施設	11	15	21	28	36	43

「理学療法白書 2019 年版」を基に作成

表 13 に行政関係施設に勤務する理学療法士協会会員数（人）を示した。市に従事する理学療法士は、2013 年から 2018 年の間の 5 年間で約 2.5 倍に増加している。したがって、本学理学療法学科の進路として、都道府県や市町村といった自治体が選択肢として挙げられる。

表 13. 行政関係施設に勤務する理学療法士協会会員数（人）

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
保健所	19	22	26	28	27	29
市区町村保健センター	58	49	50	52	49	48
国	0	0	2	2	5	6
都道府県	8	8	14	13	15	13
市	39	57	69	79	91	101
町	3	4	7	9	12	12
村	0	1	1	2	3	3
社会福祉協議会	4	4	3	5	8	9
身体障害者福祉協議会	0	0	0	0	0	0
その他	253	189	182	166	159	136

「理学療法白書 2019 年版」を基に作成

自治体に勤務する理学療法士の勤務実態については、日本公衆衛生協会の平成 27 年度地域保健総合推進事業の「自治体等に所属している理学療法士、作業療法士の地域保健活動の推進と実態把握に関する調査研究」の中で報告されている（資料 26）。全市町村人事課（1718 箇所）と都道府県人事課（47 箇所）にアンケート調査を依頼した結果、936 市町村、27 都道府県から回答が得られた（回答率 54.6%）。回答が得られた 936 市町村では、304 市町村（32.5%）に理学療法士または作業療法士が、配置されていることが分かった。また、理学療法士または作業療法士が配置している市町村では、93.8%の市町村が常勤であった。その所属機関の割合は、医療機関、本庁部門、施設部門、その他、保健所の順に多かった。今後の理学療法士、作業療法士の採用予定について、99 市町村、17 都道府県が「予定・検討している」と回答している。資料 26 の調査結果から、自治体に勤務する理学療法士が常勤職員として多くの自治体で採用されていることが分かる。また、埼玉県理学療法士協会の会員名簿（令和元年 9 月 30 日発行）から、本学が所在する埼玉県内においても多くの理学療法士が、自治体が運営する施設（市役所、市立保健センター、児童発達支援センター、介護予防センター、保健所、市立病院、市立介護老人保健施設、県立小

児医療センター等)に従事していることが分かっている。以上のことから、自治体における需要は一定程度あるものとみられる。

「理学療法士白書 2019 年版」を基に表 12 及び表 13 に示した人数は、各施設に勤務する「理学療法士協会会員」の人数である。会員数と国家試験合格者累計数を基に算出された理学療法士協会の組織率は、平成 28 年時点で 79.4%である(資料 27)。「理学療法白書 2019 年版」においては、「日本理学療法士協会非会員」の勤務先に関する情報は反映されていないため、表 12 及び表 13 に示した人数よりも多くの理学療法士が、スポーツトレーニング施設、行政機関、健康関連企業等で勤務していると考えられる。平成 31 年度時点で理学療法士協会会員数は 125,372 名であり、その総数に対するスポーツトレーニング施設、行政機関、健康関連企業等で勤務している理学療法士の割合は僅かであるが、5 年間の推移をみると確実に増加しているため、本学理学療法学科の卒業後の進路の選択肢として挙げられる。

# 添付資料

(学生の確保の見通し等を記載した書類)

東京国際大学



## 目次

資料 1.	大学進学者数の推移予測 .....	3
資料 2.	リハビリテーション系学部の志願者・入学者動向 .....	4
資料 3.	埼玉・東京エリアにおける理学療法系統学科の一般入試志願状況.....	5
資料 4.	埼玉・東京エリアにおける理学療法系統学科の入学状況 .....	6
資料 5.	「高校生アンケート調査」調査票.....	7
資料 6.	「高校生アンケート調査」リーフレット.....	9
資料 7.	「高校生アンケート調査」調査結果 .....	13
資料 8.	「理学療法学科在学生アンケート調査」調査票.....	43
資料 9.	「理学療法学科在学生アンケート調査」調査結果 .....	50
資料 10.	東京国際大学の志願・入学動向 .....	53
資料 11.	東京国際大学への進学決定時に影響を受けたもの .....	55
資料 12.	要介護認定者・介護職員需給の将来推計.....	56
資料 13.	日本の地域別人口将来推計.....	58
資料 14.	理学療法士の需要予測 .....	59
資料 15.	都道府県別の理学療法士協会会員数 .....	63
資料 16.	高齢化率の見通し（埼玉県地域別） .....	64
資料 17.	在宅医療等の推計（埼玉県地域別） .....	65
資料 18.	介護サービス量の将来推計（川越比企圏域） .....	66
資料 19.	「事業所アンケート調査」調査票.....	67
資料 20.	「事業所アンケート調査」リーフレット.....	69
資料 21.	「事業所アンケート調査」調査結果 .....	73
資料 22.	社会保障給付費の将来見通し .....	99
資料 23.	要介護の主な原因 .....	100
資料 24.	理学療法士・作業療法士の需給推計 .....	101
資料 25.	理学療法士の需給調査結果.....	102
資料 26.	自治体等に従事する理学療法士数.....	103
資料 27.	日本理学療法士協会の組織率 .....	104

## 資料1. 大学進学者数の推移予測

<15～19歳推計人口>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	354,632	335,397	322,194	303,238
	100.0	94.6	90.9	85.5
東京都	572,290	552,167	557,895	564,674
	100.0	96.5	97.5	98.7

国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

<大学進学率>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	51.1%	53.6%	55.6%	57.9%
	100.0	104.9	108.8	113.3
東京都	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%
	100.0	100.0	100.0	100.0

文部科学省「大学への進学者数の将来推計について」

<指数：（15～19歳推計人口）×（大学進学率）>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	100.0	99.2	98.9	96.9
東京都	100.0	96.5	97.5	98.7

## 資料2. リハビリテーション系学部の志願者・入学者動向

<主な学部別の志願者・入学者動向（大学）「リハビリテーション学部」>

		2015	2016	2017	2018	2019
集計学部数		10	10	10	11	13
入学定員	①	905	915	915	1,165	1,545
志願者数	②	4,165	4,239	3,812	4,876	6,817
志願倍率	②/①	460.2%	463.3%	416.6%	418.5%	441.2%
入学者数	③	926	971	889	1,214	1,542
入学定員充足率	③/①	102.3%	106.1%	97.2%	104.2%	99.8%

日本私立学校振興・共済事業団『私立大学・短期大学等入学志願動向』から作成



資料3. 埼玉・東京エリアにおける理学療法系統学科の一般入試志願状況

大学	学部	学科／専攻	一般入試募集人員					一般入試志願者数					一般入試志願倍率				
			2015	2016	2017	2018	2019	2015	2016	2017	2018	2019	2015	2016	2017	2018	2019
埼玉県立	保健医療福祉	理学療法	24	24	24	24	24	137	69	97	227	133	5.7	2.9	4.0	9.5	5.5
目白	保健医療	理学療法	n.a.	45	50	50	40	n.a.	312	289	213	178	n.a.	6.9	5.8	4.3	4.5
文京学院	保健医療技術	理学療法	n.a.	45	45	45	45	n.a.	510	414	389	326	n.a.	11.3	9.2	8.6	7.2
埼玉医科	保健医療	理学療法	n.a.	30	30	28	28	n.a.	130	100	73	72	n.a.	4.3	3.3	2.6	2.6
日本医療科学	保健医療	リハビリテーション ／理学療法学	n.a.	34	34	34	34	n.a.	133	132	114	138	n.a.	3.9	3.9	3.4	4.1
人間総合科学	保健医療	リハビリテーション ／理学療法学	n.a.	15	15	10	10	n.a.	82	56	54	45	n.a.	5.5	3.7	5.4	4.5
首都大学東京	健康福祉	理学療法	n.a.	30	30	25	25	n.a.	145	128	142	135	n.a.	4.8	4.3	5.7	5.4
帝京平成	健康メデイカル	理学療法	n.a.	36	36	36	36	n.a.	682	561	592	507	n.a.	18.9	15.6	16.4	14.1
帝京科学	医療科	理学療法	n.a.	35	35	35	35	n.a.	125	97	152	118	n.a.	3.6	2.8	4.3	3.4
杏林	保健	理学療法	31	31	42	43	38	752	816	869	750	726	24.3	26.3	20.7	17.4	19.1
東京工科	医療保健	理学療法	n.a.	41	31	31	31	n.a.	523	699	669	693	n.a.	12.8	22.5	21.6	22.4
東京医療学院	保健医療	リハビリテーション ／理学療法学	30	30	30	40	40	200	142	141	93	121	6.7	4.7	4.7	2.3	3.0
合計			85	396	402	401	386	1,089	3,669	3,583	3,468	3,192	12.8	9.3	8.9	8.6	8.3

旺文社「蛍雪時代 受験年鑑」から作成

※「n.a.」はデータ非公表を意味する

資料4. 埼玉・東京エリアにおける理学療法系統学科の入学状況

大学	学部	学科／専攻	入学定員	2019年度 入学者数	入学定員 超過率	収容定員	在籍者数	収容定員 充足率
埼玉県立	保健医療福祉	理学療法	40	41	1.03	160	167	1.04
目白	保健医療	理学療法	85	84	0.99	330	364	1.10
文京学院	保健医療技術	理学療法	80	79	0.99	320	339	1.06
埼玉医科	保健医療	理学療法	50	52	1.04	200	202	1.01
日本医療科学	保健医療	リハビリテーション ／理学療法学	80	92	1.15	320	354	1.11
人間総合科学	保健医療	リハビリテーション ／理学療法学	40	47	1.18	160	n.a.	n.a.
首都大学東京	健康福祉	理学療法	35	34	0.97	150	155	1.03
帝京平成	健康メディカル	理学療法	100	118	1.18	360	386	1.07
帝京科学	医療科	理学療法	80	85	1.06	320	323	1.01
杏林	保健	理学療法	56	61	1.09	213	232	1.09
東京工科	医療保健	理学療法	80	85	1.06	320	332	1.04
東京医療学院	保健医療	リハビリテーション ／理学療法学	90	96	1.07	320	342	1.07

各大学ホームページから作成

※「n.a.」はデータ非公表を意味する



問4 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から**第2希望**まで選んでください。

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1 理学療法学関係      | 11 体育学・スポーツ関係        |
| 2 作業療法学関係      | 12 文学・外国語関係（史学・哲学含む） |
| 3 他の医療技術学関係    | 13 心理学関係             |
| 4 看護学関係        | 14 教育学・保育学関係         |
| 5 農学関係         | 15 食物学・栄養学関係         |
| 6 医学・歯学関係      | 16 家政学関係（被服・住居）      |
| 7 薬学関係         | 17 法学・政治学関係          |
| 8 理学関係         | 18 商学・経済学・経営学関係      |
| 9 工学関係         | 19 社会学・福祉学関係         |
| 10 芸術学・デザイン学関係 | 20 その他               |

第1希望

第2希望

問5 あなたが進学先を決定する際に重視することはどれですか。次の中から**3つまで**選んでください。

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 学部・学科の専攻分野   | 8 大学の伝統・知名度         |
| 2 学校の所在地（交通の便） | 9 偏差値・入試科目          |
| 3 資格を取得できる     | 10 奨学金              |
| 4 就職実績         | 11 学習支援体制の充実度       |
| 5 設置形態（国・公・私立） | 12 英語教育や留学プログラムの充実度 |
| 6 校舎・施設の充実度    | 13 クラブ活動・学生生活の充実度   |
| 7 学費（入学金・授業料）  | 14 その他              |

【設置計画中の東京国際大学 人間社会学部「理学療法学科」についてお伺いします。】  
(アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。)

問6 あなたは東京国際大学 人間社会学部「理学療法学科」に興味がありますか。  
次の中から**1つだけ**選んでください。

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1 興味を感じる   | 3 あまり興味を感じない |
| 2 少し興味を感じる | 4 興味を感じない    |

問7 あなたは東京国際大学 人間社会学部「理学療法学科」に進学を希望しますか。  
次の中から**1つだけ**選んでください。

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 進学を希望する  | 3 進学を希望しない |
| 2 一応進学を考える | 4 わからない    |

問8 東京国際大学 人間社会学部「理学療法学科」について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

\*\*\* これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*

資料6. 「高校生アンケート調査」リーフレット

東京国際大学 人間社会学部

# 理学療法学科 (仮称)

School of Human and Social Sciences | Department of Physical Therapy

2021年4月  
開設予定  
(設置構想中)

(設置構想中のため、変更になる場合があります)

## 希望の進路が目指せる 3つのコース

理学療法士は、主に身体に障害を持った人に対し、運動療法等の治療手段を用い基本的運動能力を回復させるための理学療法を行う医療専門職です。大学等の養成校を卒業後、国家試験に合格すると厚生労働大臣より免許を与えられます。近年はプロスポーツチームに所属したり、健康増進や介護予防などの予防分野でも活躍するなど仕事の範囲は拡がりつつあります。

理学療法学科のカリキュラムは、将来の希望する進路に合わせて、専門分野は3つのコースから選択できるようにしています。(設置構想中のため、変更になる場合があります)

臨床理学療法 コース	スポーツ理学療法 コース	予防理学療法 コース
<p>理学療法士の活躍の場として多い医療機関において、怪我や病気の方の機能回復に向けたリハビリを支援するために必要な技術を中心に身に付けます。</p> <p>チーム医療の一員として活躍できる理学療法士を目指す実践的なカリキュラムとなっています。</p>  <p><b>卒業後の進路：</b> 一般病院、整形外科クリニック、その他医療機関、等</p>	<p>「スポーツのTIU」としての強みを活かし、スポーツ系学科と連携しながらスポーツリハビリテーションや運動機能の回復等の知識習得に関して重点を置いていきます。</p> <p>また、理学療法士資格に加え、JATIのトレーニング指導者資格も取得可能なカリキュラム構成となっています。</p>  <p><b>卒業後の進路：</b> スポーツ整形系専門病院、スポーツ関連施設、等</p>	<p>これまでは怪我・疾病の「治療」を専門とした理学療法士が主流でしたが、これからの時代は「予防」分野での活躍が期待されています。</p> <p>このコースでは生活における健康増進や怪我の予防についての知識やスキルを身に付けた、新しい時代に対応する理学療法士を育成します。</p>  <p><b>卒業後の進路：</b> 介護施設、訪問医療、自治体、健康関連企業、等</p>

## 安心・充実した臨床実習

埼玉県最大規模の医療グループ等と連携し、安心・充実した臨床実習環境を準備しています。

**TIUは  
ここが違う！**

- 100件を超える実習施設と提携
- 臨床実習指導に長けている医療グループと連携
- 県内施設との連携により、実習期間中も密にサポート
- 関東最大級のスポーツリハビリテーション特化施設での実習



## 入学から卒業まで寄りそう手厚いサポート

### 丁寧な 学習支援



卒業後すぐに現場に対応できる力を育成するために、充実した学習支援制度を準備しています。

- 理学療法学科教員毎のオフィスアワー設定
- 教員がサポートする少人数クラスで学習
- 学習管理システムによる主体的な学びを支援する体制、等

### 合格に直結する 国家試験対策



国家試験の合格をより確実なものにするために、教員が一丸となってサポートします。

- 各分野の教員が担当する国家試験対策授業
- 複数の模擬試験と必要に応じた特別補習
- 全国の他大生と知識習得状況を比較できる共用試験を導入
- 自習に活用可能なeラーニングプログラムの導入、等

### 手厚い 就職支援



学生一人ひとりの未来への可能性を広げるために、キャリアセンターで蓄積されたノウハウに基づいた「面倒見の良い」サポートを行います。

- 専門コンサルタントが常駐する「就職支援デスク」
- 医療機関等との独自ネットワークを活かした求人情報提供
- 就職活動前のセミナー実施、等

## 世界で活躍できる理学療法士を育成

日本における外国人人口は増加し続け、医療従事者にも英語スキルが求められる時代になっています。また、日本出身の理学療法士の海外での活躍も期待されます。「英語力の TIU」では徹底的な教育で真のグローバル理学療法士を育成します。



TIUは  
ここが違う！

- 約 50 名の専任ネイティブ教員が実践するアメリカ直輸入の英語教育
- 卒業生の 8 人に 1 人が留学を経験、多彩な留学制度
- ネイティブ教員や留学生スタッフが常駐し、学科を問わず英会話の練習や学習アドバイスを受けることができる English PLAZA

## 学科の概要

- ◻ **開設時期**：2021年4月
- ◻ **入学定員**：80名
- ◻ **コース**：臨床理学療法コース、スポーツ理学療法コース、予防理学療法コース
- ◻ **取得できる資格**：理学療法士国家試験受験資格

## 東京国際大学について

グローバル  
教育に強い！

THE 世界大学ランキング日本版 2019  
「国際性」分野：全国 5 位



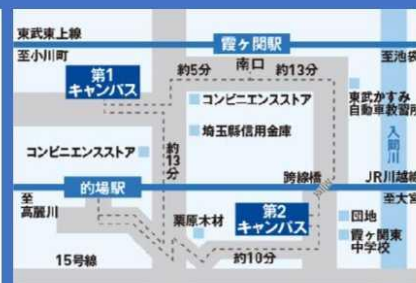
スポーツが  
すごい！

第95回箱根駅伝：総合 15 位（2年連続、3度目出場）  
サッカー部：5年連続7度目**天皇杯出場**  
ウェイトリフティング部：インカレ（1部）日本新記録樹立  
他多数

高い  
就職力！

日経キャリアマガジン特別編集「価値ある大学 2019 版」日経 HR  
「企業人事担当者から見た大学のイメージ調査」  
側面別ランキング「行動力」：全国 3 位

## ACCESS INFORMATION



<お問合せ先> 入学センター 〒350-1197 埼玉県川越市的場北 1-13-1 049-232-1116



資料7. 「高校生アンケート調査」調査結果

東京国際大学における理学療法学科の設置に係る高校生アンケート調査  
調査結果報告書

令和2年2月

一般財団法人 日本開発構想研究所

## 目 次

1. アンケート調査の概要	1
1. 1. 調査目的	1
1. 2. 調査対象	1
1. 3. 実施時期	1
1. 4. 調査票回収状況	1
1. 5. 調査票発送・回収高等学校一覧	2
2. 調査結果要旨	6
3. アンケート調査結果	7
3. 1. 単純集計	7
3. 2. クロス集計	15
3. 3. 自由回答	18
4. アンケート調査票	27

## **1. アンケート調査の概要**

### **1. 1. 調査目的**

東京国際大学が令和3年4月に開設を予定している理学療法学科に関して、高校生が期待する教育内容、進学意向等を的確に把握することを調査目的とする。

### **1. 2. 調査対象**

埼玉県、東京都、神奈川県、群馬県、栃木県、茨城県、千葉県の高등학교139校に在籍する高校2年生を対象に、アンケート調査を実施した。アンケート調査の実施に当たっては、大学側が139校のリストアップを行い、アンケート調査票を送付した。その後、実施高等学校123校よりアンケート調査票を回収し、集計分析を行った。

### **1. 3. 実施時期**

令和元年6月から11月にかけて調査を実施した。

### **1. 4. 調査票回収状況**

本調査では、高等学校139校に対して合計19,254票のアンケート調査票を送付した。その結果、123校から合計14,168票の有効回答票を回収することができた。有効回答票の回収率は、73.6%であった。

1. 5. 調査票発送・回収高等学校一覧

No	都県名	高校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
1	東京都	東京実業高等学校	100	48	7. 24
2	栃木県	佐野日本大学高等学校	100	62	7. 09
3	群馬県	群馬県立太田東高等学校	100	76	6. 24
4	群馬県	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	100	-	-
5	埼玉県	埼玉県立松山高等学校	100	85	6. 20
6	埼玉県	栄北高等学校	100	70	6. 18
7	東京都	大成高等学校	100	98	7. 02
8	埼玉県	埼玉県立大宮南高等学校	100	95	7. 01
9	東京都	工学院大学附属高等学校	100	86	6. 18
10	東京都	八王子実践高等学校	200	197	6. 24
11	神奈川県	神奈川県立市ヶ尾高等学校	100	76	7. 16
12	神奈川県	神奈川県立麻溝台高等学校	200	156	7. 01
13	神奈川県	横浜商科大学高等学校	100	97	8. 07
14	埼玉県	山村学園高等学校	100	74	6. 19
15	東京都	昭和第一学園高等学校	100	-	-
16	東京都	桜美林高等学校	100	92	6. 18
17	埼玉県	本庄第一高等学校	100	73	6. 24
18	埼玉県	正智深谷高等学校	120	109	7. 04
19	埼玉県	埼玉県立与野高等学校	100	-	-
20	埼玉県	西武台高等学校	100	-	-
21	埼玉県	秀明英光高等学校	100	91	6. 18
22	神奈川県	橘学苑高等学校	100	92	8. 28
23	埼玉県	埼玉県立春日部東高等学校	100	74	7. 19
24	東京都	日本大学第三高等学校	126	126	9. 03
25	千葉県	千葉県立柏南高等学校	100	40	7. 23
26	埼玉県	星野高等学校	100	92	6. 18
27	東京都	明法高等学校	100	98	7. 08
28	東京都	東海大学菅生高等学校	100	77	7. 01
29	埼玉県	武蔵越生高等学校	120	88	7. 19
30	埼玉県	城西大学付属川越高等学校	120	100	6. 21
31	埼玉県	埼玉県立杉戸高等学校	120	117	7. 16
32	埼玉県	東京成徳大学深谷高等学校	300	253	6. 21
33	埼玉県	埼玉栄高等学校	100	98	7. 01
34	神奈川県	鶴見大学附属高等学校	140	132	6. 24
35	東京都	東京都立小平西高等学校	100	75	7. 01
36	埼玉県	埼玉県立大宮東高等学校	100	91	7. 19
37	埼玉県	浦和実業学園高等学校	100	80	7. 12
38	東京都	駒込高等学校	100	80	7. 03
39	埼玉県	散明高等学校	120	114	7. 17
40	埼玉県	獨協埼玉中学高等学校	100	75	7. 04
41	神奈川県	相模原高等学校	230	208	7. 02
42	東京都	拓殖大学第一高等学校	100	94	7. 05
43	埼玉県	埼玉県立川越南高等学校	150	117	7. 05

No	県名	高校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
44	埼玉県	埼玉県立川越西高等学校	100	64	8.28
45	東京都	宝仙学園高等学校	100	44	7.23
46	東京都	昭和第一高等学校	100	62	7.01
47	埼玉県	東野高等学校	100	-	-
48	東京都	日本工業大学駒場高等学校	100	88	8.22
49	東京都	山脇学園高等学校	100	93	7.11
50	千葉県	二松學舎大学附属柏高等学校	100	79	7.12
51	東京都	京華高等学校	300	245	7.09
52	東京都	日本大学鶴ヶ丘高等学校	320	270	7.12
53	東京都	東京家政大学附属女子中学校高等学校	160	153	7.22
54	東京都	実践女子学園高等学校	100	69	7.22
55	東京都	日本大学第二高等学校	200	184	7.16
56	埼玉県	越谷西高等学校	100	72	7.22
57	東京都	日本大学豊山高高等学校	150	100	10.23
58	東京都	正則高等学校	100	79	10.24
59	東京都	成立学園高等学校	150	131	10.21
60	東京都	国士館高等学校	300	275	10.16
61	千葉県	松戸市立松戸高等学校	100	41	10.15
62	千葉県	日本体育大学柏高等学校	280	220	10.21
63	東京都	堀越高等学校	120	113	10.16
64	東京都	豊南高等学校	320	286	11.26
65	東京都	駒澤大学高等学校	112	112	11.07
66	東京都	明治大学付属中野高等学校	450	400	10.23
67	東京都	淑徳高等学校	200	198	10.28
68	埼玉県	浦和学院高等学校	250	189	10.25
69	神奈川県	神奈川県立鶴見高等学校	267	267	11.05
70	千葉県	柏市立柏高等学校	100	47	10.30
71	東京都	東京都立調布南高等学校	100	39	10.25
72	東京都	東京女子学院高等学校	100	56	10.29
73	東京都	東京都立井草高等学校	290	252	10.29
74	東京都	東京都立昭和高等学校	120	-	-
75	東京都	東京都立東大和高等学校	100	79	10.17
76	東京都	東京都立光丘高等学校	100	93	10.16
77	東京都	東京都立武蔵村山高等学校	100	-	-
78	東京都	東京都立山崎高等学校	100	92	11.06
79	東京都	佼成学園女子高等学校	100	30	10.24
80	栃木県	栃木県立佐野東高等学校	100	65	11.16
81	埼玉県	埼玉県立深谷第一高等学校	100	99	11.01
82	埼玉県	埼玉県立秩父高等学校	100	90	10.17
83	埼玉県	埼玉県立鴻巣高等学校	100	99	10.30
84	埼玉県	埼玉県立上尾南高等学校	100	-	-
85	埼玉県	山村国際高等学校	100	95	10.30
86	東京都	桐朋女子高等学校	100	71	10.21

No	県名	高校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
87	東京都	武蔵野大学高等学校	110	100	10.23
88	東京都	文華女子高等学校	100	62	10.16
89	東京都	駒沢学園女子高等学校	100	85	11.05
90	東京都	啓明学園高等学校	100	-	-
91	神奈川県	神奈川県立上溝高等学校	100	-	-
92	神奈川県	神奈川県立瀬谷西高等学校	100	-	-
93	神奈川県	神奈川県立相模原総合高等学校	240	220	10.30
94	神奈川県	神奈川県立弥栄高等学校	100	77	10.24
95	神奈川県	捜真女学校高等学部	160	144	10.28
96	埼玉県	埼玉県立松山女子高等学校	100	75	11.01
97	東京都	東京電機大学高等学校	270	-	-
98	埼玉県	城北埼玉高等学校	100	97	10.21
99	埼玉県	埼玉平成高等学校	100	92	10.28
100	茨城県	茨城県立水海道第一高等学校	100	-	-
101	茨城県	茨城県立古河第三高等学校	140	108	11.01
102	埼玉県	埼玉県立朝霞高等学校	100	80	10.17
103	埼玉県	埼玉県立羽生第一高等学校	220	191	10.21
104	埼玉県	埼玉県立鷲宮高等学校	100	79	10.21
105	埼玉県	埼玉県立久喜北陽高等学校	100	98	10.16
106	埼玉県	開智未来高等学校	190	-	-
107	埼玉県	浦和麗明高等学校	460	431	11.07
108	千葉県	麗澤高等学校	100	-	-
109	千葉県	国府台女子学院高等部	100	96	10.21
110	東京都	杉並学院高等学校	100	97	10.17
111	東京都	多摩大学附属聖ヶ丘高等学校	150	127	11.05
112	東京都	東京都立久留米西高等学校	100	76	10.28
113	東京都	東京都立富士森高等学校	100	76	11.06
114	東京都	東京都立小平高等学校	100	76	10.21
115	東京都	東京都立日野高等学校	100	35	10.17
116	東京都	東京都立上水高等学校	100	78	10.25
117	東京都	東京都立翔陽高等学校	250	221	10.23
118	東京都	明星学園高等学校	290	202	11.13
119	群馬県	群馬県立太田女子高等学校	100	74	10.18
120	埼玉県	埼玉県立所沢西高等学校	328	313	10.28
121	東京都	関東第一高等学校	150	118	10.25
122	東京都	駒場学園高等学校	100	41	10.21
123	神奈川県	法政大学国際高等学校	100	71	10.29
124	東京都	帝京八王子高等学校	120	105	10.31
125	埼玉県	筑波大学附属坂戸高等学校	170	-	-
126	埼玉県	埼玉県立桶川高等学校	100	73	10.31
127	埼玉県	埼玉県立芸術総合高等学校	150	132	10.28
128	群馬県	関東学園大学附属高等学校	100	86	11.01
129	埼玉県	国際学院高等学校	250	100	11.05

No	県名	高校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
130	東京都	専修大学附属高等学校	100	71	11.01
131	東京都	東京都立府中高等学校	100	94	11.05
132	東京都	東京都立田無高等学校	120	108	10.30
133	東京都	東京都立美原高等学校	120	105	10.31
134	東京都	東星学園高等学校	100	27	10.28
135	東京都	藤村女子高等学校	100	55	10.31
136	東京都	明治大学付属中野八王子中学高等学校	311	311	10.30
137	埼玉県	埼玉県立小川高等学校	200	192	10.29
138	埼玉県	川越市立川越高等学校	120	91	11.08
139	埼玉県	埼玉県立大宮光陵高等学校	100	31	10.31
合 計			19,254	14,168	123 校

## 2. 調査結果要旨

### (性別：問1)

○回答者（14,168人）のうち、53.3%が「男性」、46.7%が「女性」である。

### (居住都道府県：問2)

○回答者の40.5%が「東京都」に居住し、以下、「埼玉県」(36.3%)、「神奈川県」(14.9%)、「千葉県」(4.3%)、「群馬県」(1.9%)、と続いている。

### (高校卒業後の希望進路：問3)

○回答者の83.0%が大学への進学を希望している。次いで回答者の10.8%が専門学校への進学を希望している。

### (進学希望分野：問4)

○回答者の進学希望分野については、第1希望に関しては、「商学・経済学・経営学関係」が全体の11.2%と最も多く、「工学関係」が10.8%、「理学関係」が9.5%、「文学・外国語関係（史学・哲学含む）」が8.3%、と続いている。

○第2希望に関しては、「理学関係」が9.7%と最も多かった。

### (進学先決定時に重視する事項：問5)〔複数回答〕

○回答者の進学先決定時に重視する事項については、「学部・学科の専攻分野」が58.9%と最も多く、「学校の所在地（交通の便）」が40.2%、「偏差値・入試科目」が36.1%、「就職実績」が34.2%、と続いている。

### (東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への興味：問6)

○回答者の東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への興味については、「興味を感じる」が全体の6.7%、「少し興味を感じる」が全体の24.5%を占めるに至った。

### (東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への進学希望：問7)

○回答者の東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への進学希望については、「進学を希望する」が152人(1.1%)、「一応進学を考える」が761人(5.7%)、「進学を希望しない」が7,698人(57.7%)、「わからない」が4,733人(35.5%)、となった。

東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科の入学定員は80名であり、「進学を希望する」のみで、入学定員の1.9倍の実数が得られた。



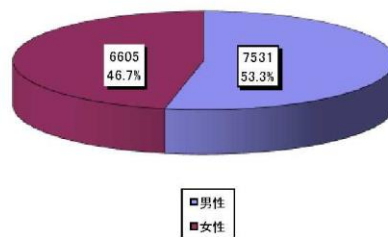
### 3. アンケート調査結果

#### 3. 1. 単純集計

##### 問1：性別

回答者の「性別」については、「男性」が7,531人（53.3%）であり、他方で「女性」が6,605人（46.7%）となった。回答者の5割強が男性、5割弱が女性となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	男性	7531	53.2	53.3
2	女性	6605	46.6	46.7
	不明	32	0.2	
	サンプル数 (%ベース)	14168	100.0	100.0

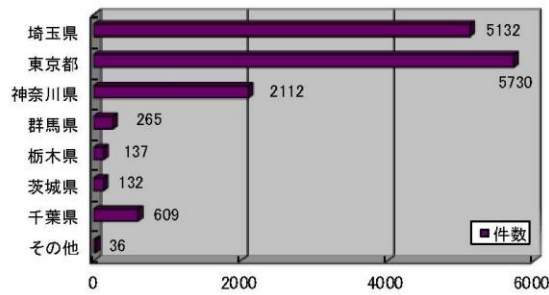


**問2：居住都道府県**

回答者の「居住都道府県」については、「東京都」が5,730人（40.5%）と最も多く、次いで「埼玉県」が5,132人（36.3%）、「神奈川県」が2,112人（14.9%）、「千葉県」が609人（4.3%）、「群馬県」が265人（1.9%）、の順が続いている。

回答者の「居住都道府県」については、「東京都」と「埼玉県」が全体の約8割弱を占めている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	埼玉県	5132	36.2	36.3
2	東京都	5730	40.4	40.5
3	神奈川県	2112	14.9	14.9
4	群馬県	265	1.9	1.9
5	栃木県	137	1.0	1.0
6	茨城県	132	0.9	0.9
7	千葉県	609	4.3	4.3
8	その他	36	0.3	0.3
	不明	15	0.1	
	サンプル数 (%ベース)	14168	100.0	100.0

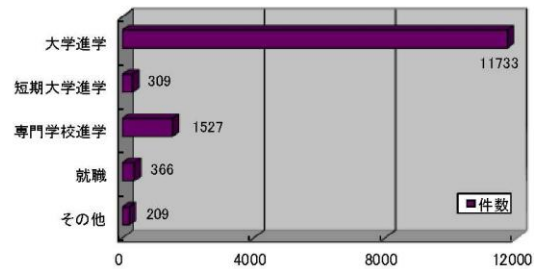


### 問3：高校卒業後の希望進路

回答者の「高校卒業後の希望進路」については、「大学進学」が11,733人(83.0%)と最も多く、次いで「専門学校進学」が1,527人(10.8%)、「就職」が366人(2.6%)、「短期大学進学」が309人(2.2%)、「その他」が209人(1.5%)、の順となった。

回答者の約8割強が「大学進学」を希望していることがわかった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	大学進学	11733	82.8	83.0
2	短期大学進学	309	2.2	2.2
3	専門学校進学	1527	10.8	10.8
4	就職	366	2.6	2.6
5	その他	209	1.5	1.5
	不明	24	0.2	
	サンプル数 (%ベース)	14168	100.0	100.0

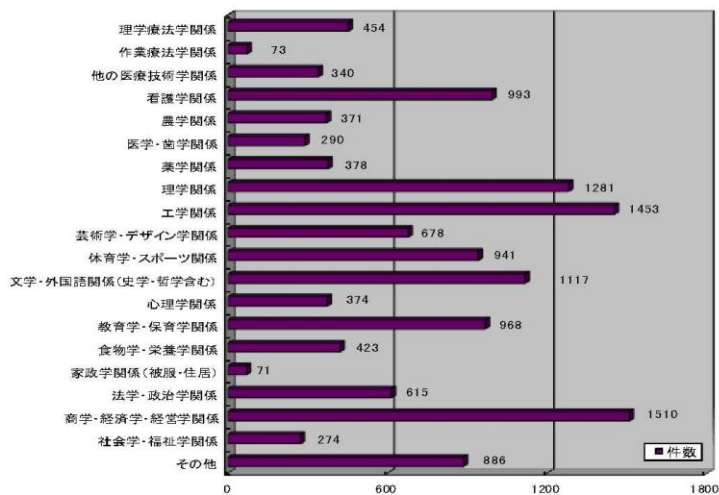


**問 4-1：進学希望分野（第1希望）**

回答者に「進学希望分野」について伺ったところ、第1希望に関しては、「商学・経済学・経営学関係」が1,510人(11.2%)と最も多く、次いで「工学関係」が1,453人(10.8%)、「理学関係」が1,281人(9.5%)、「文学・外国語関係(史学・哲学含む)」が1,117人(8.3%)、「看護学関係」が993人(7.4%)、の順に続いている。

第1希望では、「商学・経済学・経営学関係」への進学希望が最も強かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	理学療法学関係	454	3.2	3.3	3.4
2	作業療法学関係	73	0.5	0.5	0.5
3	他の医療技術学関係	340	2.4	2.5	2.5
4	看護学関係	993	7.0	7.3	7.4
5	農学関係	371	2.6	2.7	2.8
6	医学・歯学関係	290	2.0	2.1	2.1
7	薬学関係	378	2.7	2.8	2.8
8	理学関係	1281	9.0	9.4	9.5
9	工学関係	1453	10.3	10.7	10.8
10	芸術学・デザイン学関係	678	4.8	5.0	5.0
11	体育学・スポーツ関係	941	6.6	6.9	7.0
12	文学・外国語関係(史学・哲学含む)	1117	7.9	8.2	8.3
13	心理学関係	374	2.6	2.8	2.8
14	教育学・保育学関係	968	6.8	7.1	7.2
15	食物学・栄養学関係	423	3.0	3.1	3.1
16	家政学関係(被服・住居)	71	0.5	0.5	0.5
17	法学・政治学関係	615	4.3	4.5	4.6
18	商学・経済学・経営学関係	1510	10.7	11.1	11.2
19	社会学・福祉学関係	274	1.9	2.0	2.0
20	その他	886	6.3	6.5	6.6
	不明	79	0.6	0.6	
	非該当	599	4.2		
	サンプル数(%ベース)	14168	100.0	100.0	100.0

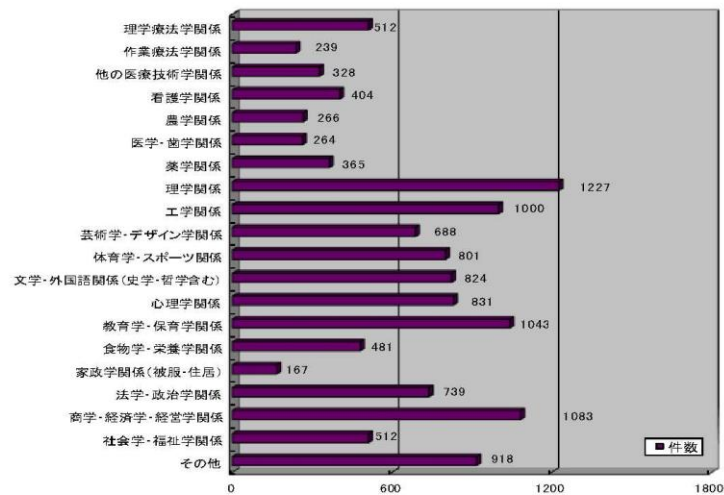


**問 4-2：進学希望分野（第2希望）**

回答者に「進学希望分野」について伺ったところ、第2希望に関しては、「理学関係」が1,227人(9.7%)と最も多く、次いで「商学・経済学・経営学関係」が1,083人(8.5%)、「教育学・保育学関係」が1,043人(8.2%)、「工学関係」が1,000人(7.9%)、「その他」が918人(7.2%)、の順に続いている。

第2希望では、「理学関係」への進学希望が最も強かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	理学療法学関係	512	3.6	3.8	4.0
2	作業療法学関係	239	1.7	1.8	1.9
3	他の医療技術学関係	328	2.3	2.4	2.6
4	看護学関係	404	2.9	3.0	3.2
5	農学関係	266	1.9	2.0	2.1
6	医学・歯学関係	264	1.9	1.9	2.1
7	薬学関係	365	2.6	2.7	2.9
8	理学関係	1227	8.7	9.0	9.7
9	工学関係	1000	7.1	7.4	7.9
10	芸術学・デザイン学関係	688	4.9	5.1	5.4
11	体育学・スポーツ関係	801	5.7	5.9	6.3
12	文学・外国語関係(史学・哲学含む)	824	5.8	6.1	6.5
13	心理学関係	831	5.9	6.1	6.5
14	教育学・保育学関係	1043	7.4	7.7	8.2
15	食物学・栄養学関係	481	3.4	3.5	3.8
16	家政学関係(被服・住居)	167	1.2	1.2	1.3
17	法学・政治学関係	739	5.2	5.4	5.8
18	商学・経済学・経営学関係	1083	7.6	8.0	8.5
19	社会学・福祉学関係	512	3.6	3.8	4.0
20	その他	918	6.5	6.8	7.2
	不明	877	6.2	6.5	
	非該当	599	4.2		
	サンプル数(%ベース)	14168	100.0	100.0	100.0

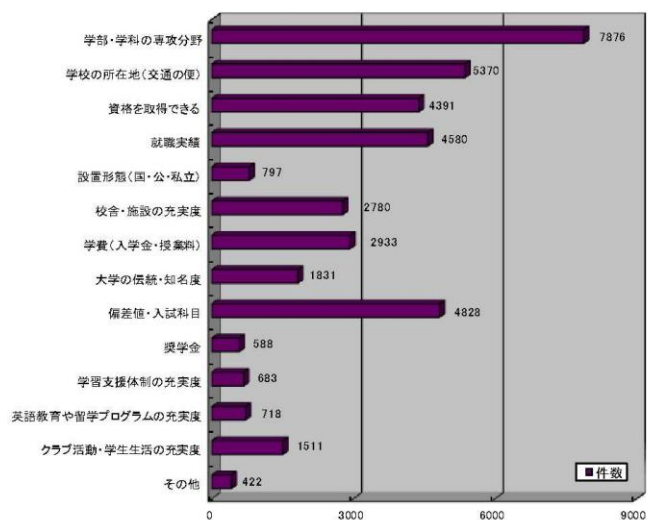


**問5：進学先決定時に重視する事項【複数回答】**

回答者に「進学先決定時に重視する事項」について伺ったところ、「学部・学科の専攻分野」が7,876人（58.9%）と最も多く、次いで「学校の所在地（交通の便）」が5,370人（40.2%）、「偏差値・入試科目」が4,828人（36.1%）、「就職実績」が4,580人（34.2%）、「資格を取得できる」が4,391人（32.8%）、の順に続いている。

回答者の「進学先決定時に重視する事項」については、「学部・学科の専攻分野」が最も多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	学部・学科の専攻分野	7876	55.8	58.0	58.9
2	学校の所在地（交通の便）	5370	37.9	39.6	40.2
3	資格を取得できる	4391	31.0	32.4	32.8
4	就職実績	4580	32.3	33.8	34.2
5	設置形態（国・公・私立）	797	5.6	5.9	6.0
6	校舎・施設の充実度	2780	19.6	20.5	20.8
7	学費（入学金・授業料）	2933	20.7	21.6	21.9
8	大学の伝統・知名度	1831	12.9	13.5	13.7
9	偏差値・入試科目	4828	34.1	35.6	36.1
10	奨学金	588	4.2	4.3	4.4
11	学習支援体制の充実度	683	4.8	5.0	5.1
12	英語教育や留学プログラムの充実度	718	5.1	5.3	5.4
13	クラブ活動・学生生活の充実度	1511	10.7	11.1	11.3
14	その他	422	3.0	3.1	3.2
	不明	196	1.4	1.4	
	非該当	599	4.2		
	サンプル数（%ベース）	14168	100.0	100.0	100.0

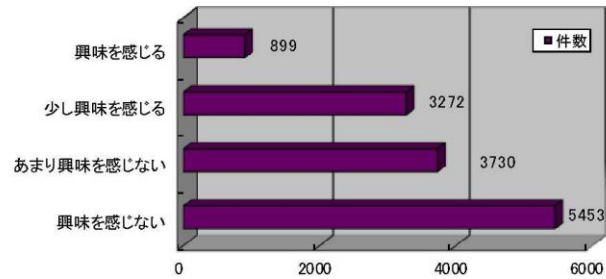


**問6：東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への興味**

回答者に「東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への興味」について伺ったところ、「興味を感じる」が899人(6.7%)、「少し興味を感じる」が3,272人(24.5%)、「あまり興味を感じない」が3,730人(27.9%)、「興味を感じない」が5,453人(40.8%)となった。

回答者の「東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への興味」については、「興味を感じる」と「少し興味を感じる」の合計は4,171人(31.2%)であり、全体の3割強の回答者が東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科に何らかの興味を持っていることがわかった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	興味を感じる	899	6.3	6.6	6.7
2	少し興味を感じる	3272	23.1	24.1	24.5
3	あまり興味を感じない	3730	26.3	27.5	27.9
4	興味を感じない	5453	38.5	40.2	40.8
	不明	215	1.5	1.6	
	非該当	599	4.2		
	サンプル数 (%ベース)	14168	100.0	100.0	100.0

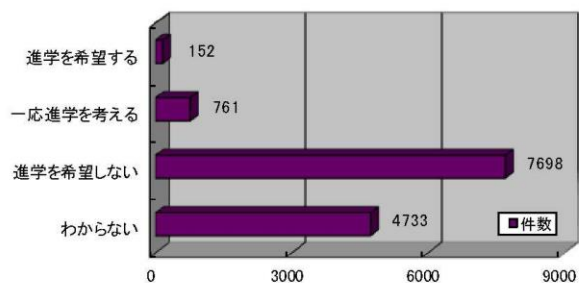


**問7：東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への進学希望**

回答者に「東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への進学希望」について伺ったところ、「進学を希望する」が152人（1.1%）、「一応進学を考える」が761人（5.7%）、「進学を希望しない」が7,698人（57.7%）、「わからない」が4,733人（35.5%）となった。

東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科の入学定員は80名であり、「進学を希望する」のみで、入学定員の1.9倍の実数が得られた。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	進学を希望する	152	1.1	1.1	1.1
2	一応進学を考える	761	5.4	5.6	5.7
3	進学を希望しない	7698	54.3	56.7	57.7
4	わからない	4733	33.4	34.9	35.5
	不明	225	1.6	1.7	
	非該当	599	4.2		
	サンプル数 (%ベース)	14168	100.0	100.0	100.0





### 3. 2. クロス集計

#### 3. 2. 1. 「問7 東京国際大学 人間社会学部「理学療法学科」への進学希望」と「問3 高校卒業後の希望進路」のクロス集計

上段:度数		問7 東京国際大学 人間社会学部「理学療法学科」への進学希望					
下段:%		合計	進学を希望する	一応進学を考える	進学を希望しない	わからない	不明
問3 高校卒業後の希望進路	全体	13569	152	761	7698	4733	225
		100.0	1.1	5.6	56.7	34.9	1.7
	大学進学	11733	139	674	6550	4192	178
		100.0	1.2	5.7	55.8	35.7	1.5
	短期大学進学	309	2	12	206	84	5
		100.0	0.6	3.9	66.7	27.2	1.6
	専門学校進学	1527	11	75	942	457	42
	100.0	0.7	4.9	61.7	29.9	2.8	
	就職	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-

#### 3. 2. 2. 男女別のクロス集計

##### 問2 居住都道府県 × 問1 性別

上段:度数		問2 居住都道府県										
下段:%		合計	埼玉県	東京都	神奈川県	群馬県	栃木県	茨城県	千葉県	その他	不明	
問1 性別	全体	14168	5132	6730	2142	265	137	132	609	36	16	
		100.0	36.2	40.4	14.9	1.9	1.0	0.9	4.3	0.3	0.1	
	男性	7531	2618	3074	1076	86	59	79	323	15	1	
		100.0	37.4	40.8	14.3	1.1	0.8	1.0	4.3	0.2	0	
	女性	6637	2510	2646	1036	178	78	53	286	17	1	
	100.0	38.0	40.1	15.7	2.7	1.2	0.8	4.3	0.3	0		
	不明	32	4	10	1	1	-	-	4	13		
	100.0	12.5	31.3	-	3.1	-	-	-	12.5	40.6		

##### 問3 高校卒業後の希望進路 × 問1 性別

上段:度数		問3 高校卒業後の希望進路						
下段:%		合計	大学進学	短期大学進	専門学校進	就職	その他	不明
問1 性別	全体	14168	11733	309	1527	366	209	24
		100.0	82.8	2.2	10.8	2.6	1.5	0.2
	男性	7531	6665	39	516	198	107	6
		100.0	89.5	0.5	6.8	2.6	1.4	0.1
	女性	6637	5063	270	1011	168	100	6
	100.0	76.5	4.1	15.3	2.5	1.5	0.1	
	不明	32	15	-	-	3	2	12
	100.0	46.9	-	-	9.4	6.3	37.5	

問4 進学希望分野 (第1希望) × 問1 性別

上段:度数		問4進学希望分野 (第1希望)									
下段:%		合計	理学療法 学関係	作業療法 学関係	他の医療技 術学関係	看護学関係	農学関係	医学・歯学 関係	薬学関係	理学関係	工学関係
問1 性別	全体	13589 100.0	454 3.3	73 0.5	340 2.5	893 6.6	371 2.7	290 2.1	378 2.8	1261 9.4	1463 10.7
	男性	7220 100.0	304 4.2	32 0.4	137 1.9	77 1.1	186 2.6	115 1.6	160 2.2	1030 14.3	1213 16.8
	女性	6334 100.0	150 2.4	41 0.6	203 3.2	916 14.5	184 2.9	174 2.7	216 3.4	251 4.0	239 3.8
	不明	15 100.0	-	-	-	-	1 6.7	1 6.7	-	-	-

上段:度数		問4進学希望分野 (第1希望)									
下段:%		芸術学・デ ザイン学関 係	体育学・ス ポーツ関係	文学・外国 語関係(史 学・哲学含 む)	心理学関係	教育学・保 育学関係	食物学・栄 養学関係	家政学関係 (被服・住 居)	法学・政治 学関係	商学・経済 学・経営学 関係	社会学・福 祉学関係
問1 性別	全体	678 5.0	941 6.8	1117 8.2	374 2.8	966 7.1	423 3.1	71 0.5	615 4.5	1510 11.1	274 2.0
	男性	228 3.2	688 9.5	426 5.8	135 1.9	229 4.6	83 1.1	9 0.1	452 6.3	1050 14.7	121 1.7
	女性	447 7.1	251 4.0	689 10.9	239 3.8	639 10.1	340 5.4	62 1.0	163 2.6	450 7.1	253 4.0
	不明	3 20.0	1 6.7	2 13.3	-	1 6.7	-	-	-	-	-

上段:度数		その他	
下段:%		その他	不明
問1 性別	全体	896 6.5	78 0.6
	男性	380 5.3	54 0.7
	女性	502 7.9	24 0.4
	不明	4 26.7	1 6.7

問4 進学希望分野 (第2希望) × 問1 性別

上段:度数		問4進学希望分野 (第2希望)									
下段:%		合計	理学療法 学関係	作業療法 学関係	他の医療技 術学関係	看護学関係	農学関係	医学・歯学 関係	薬学関係	理学関係	工学関係
問1 性別	全体	13589 100.0	512 3.8	239 1.8	328 2.4	404 3.0	266 2.0	264 1.9	365 2.7	1227 9.0	1000 7.4
	男性	7220 100.0	264 3.7	123 1.7	94 1.3	64 0.9	130 1.8	85 1.2	181 2.5	867 13.4	847 11.7
	女性	6334 100.0	247 3.9	116 1.8	234 3.7	338 5.4	136 2.1	178 2.8	184 2.9	260 4.1	152 2.4
	不明	15 100.0	1 6.7	-	-	1 6.7	-	-	-	-	-

上段:度数		問4進学希望分野 (第2希望)									
下段:%		芸術学・デ ザイン学関 係	体育学・ス ポーツ関係	文学・外国 語関係(史 学・哲学含 む)	心理学関係	教育学・保 育学関係	食物学・栄 養学関係	家政学関係 (被服・住 居)	法学・政治 学関係	商学・経済 学・経営学 関係	社会学・福 祉学関係
問1 性別	全体	688 5.1	801 5.9	924 6.1	931 6.1	1043 7.7	481 3.5	167 1.2	738 5.4	1093 8.0	512 3.8
	男性	251 4.0	535 7.4	388 5.4	325 4.5	462 6.4	114 1.6	14 0.2	532 7.4	708 9.8	261 3.6
	女性	397 6.3	266 4.2	434 6.9	505 8.0	579 9.1	367 5.8	152 2.4	207 3.3	375 5.9	250 3.9
	不明	-	-	13.3	2 6.7	2 13.3	-	1 6.7	-	-	1 6.7

上段:度数		その他	
下段:%		その他	不明
問1 性別	全体	918 6.8	877 6.5
	男性	480 6.4	375 5.2
	女性	458 7.2	497 7.8
	不明	-	5 33.3

問5 進学先決定時に重視する事項 × 問1 性別

上段:度数		問5 進学先決定時に重視する事項									
下段:%		合計	学部・学科の専攻分野	学校の所在地(交通の便)	資格を取得できる	就職実績	設置形態(国・公・私立)	校舎・施設の充実度	学費(入学金・授業料)	大学の伝統・知名度	偏差値・入試科目
問1 性別	全体	13569	7976	5370	4391	4500	757	2780	2833	1831	4828
		100.0	58.0	39.6	32.4	33.8	5.9	20.5	21.6	13.5	35.6
	男性	7220	4063	2774	2009	2528	453	1504	1456	1218	2817
		100.0	56.3	38.4	27.8	35.0	6.3	20.8	20.2	16.8	39.0
	女性	6334	3804	2592	2380	2050	342	1274	1472	610	2010
	100.0	60.1	40.8	37.6	32.4	5.4	20.1	23.2	9.6	31.7	
	不明	15	9	4	2	2	2	6	3	1	6.7
	100.0	60.0	26.7	13.3	13.3	13.3	13.3	33.3	20.0		

上段:度数		問5 進学先決定時に重視する事項					
下段:%		英学全	学習支援体制の充実度	英語教育や留学プログラムの充実度	クラブ活動・学生生活の充実度	その他	不明
問1 性別	全体	588	683	718	1511	422	196
		4.3	5.0	5.3	11.1	3.1	1.4
	男性	332	347	284	838	271	102
		4.6	4.8	3.7	11.6	3.8	1.4
	女性	255	336	451	672	148	93
	4.0	5.3	7.1	10.6	2.3	1.5	
	不明	1	-	3	1	3	1
	6.7	-	20.0	6.7	20.0	6.7	6.7

問6 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への興味 × 問1 性別

上段:度数		問6 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への興味					
下段:%		合計	興味を感じる	少し興味を感じる	あまり興味を感じない	興味を感じない	不明
問1 性別	全体	13569	899	3272	3730	5453	215
		100.0	6.6	24.1	27.5	40.2	1.6
	男性	7220	526	1642	1865	3041	148
		100.0	7.3	22.7	25.8	42.1	2.0
	女性	6334	370	1630	1863	2405	67
	100.0	5.8	25.7	29.4	38.0	1.1	
	不明	15	3	2	2	7	1
	100.0	20.0	13.3	13.3	13.3	46.7	6.7

問7 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への進学希望 × 問1 性別

上段:度数		問7 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科への進学希望					
下段:%		合計	進学を希望する	一応進学を考える	進学を希望しない	わからない	不明
問1 性別	全体	13569	162	781	7698	4733	225
		100.0	1.1	5.6	56.7	34.9	1.7
	男性	7220	122	480	3672	2788	150
		100.0	1.7	6.8	50.8	38.6	2.1
	女性	6334	29	271	4017	1943	74
	100.0	0.5	4.3	63.4	30.7	1.2	
	不明	15	1	-	9	4	1
	100.0	6.7	-	60.0	26.7	6.7	6.7

### **3. 3. 自由回答**

本調査では問8の設問は自由回答方式とし、回答者に対して東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科に係る全般的な意見を聞いている。

その結果、集計対象とした全14,168票のうち235票において意見の記述が見られた。この235票の記述内容は次頁19頁～26頁の通りである。

◎自由回答（問8）の記述内容一覧

No	性別	問8 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科についてご意見等
24	男性	理学療法学科というところでは、どのようなことを学ぶのですか。
43	男性	興味を感じない。
80	男性	作業療法がいい。
105	男性	これからも頑張ってください
124	男性	進学するかはわからないが、面白そうと思った。
148	男性	自分の進路とは違った。
210	女性	理学療法の中でも3つのコースに分かれていて、自分に合った理学療法を学べると思った。
377	男性	どのくらい奥深くやるのか。
378	男性	勉強法、どういう勉強したら入れるか。
385	男性	3つのコースに分かれ、1つ1つのコースに合った学びが出来ると思い、とても良いなと思いました。
396	男性	すごくいいと思います。理学療法学科はあんまりないので、こういうのが増えていくのはいいと思った。
402	男性	もう少し具体的に教えてほしい。
421	男性	面白そうだった。
606	男性	理学療法がどういうものかそもそもわからない。
778	男性	興味などない。
829	男性	私の兄は理学療法士です。私も目指してみたいですが、勉強がとっても大変そうでした。国試が一番辛そうでした。
905	男性	理学療法士になりたいとも考えています。
912	男性	どのようなことをやるのですか。
965	男性	もう少し分かりやすくしてほしい
976	男性	学部についての知識がないのでわかりません。
1045	男性	かっこいい。
1193	男性	理系であれば行きたかったです。すごく良さそうな学校です。
1246	女性	理学療法学科がどんな学科か分からないので、進学を希望するしないが決められない。
1272	男性	一番苦労したことは何ですか。
1369	女性	人を救える人が増えることは、とても良いことだと思います！
1380	男性	どのくらいの知能を持っていればいけますか。
1385	男性	試験について知りたいです。就職先について詳しく知りたいです。
1387	男性	色々見て、興味を感じました。スポーツも強いので行きたい気持ちはあります。3年になったら、オープンキャンパスも行きたいと思っています。色々とゆっくり考えていきたいと思っています。
1406	女性	理学療法学科はすごく興味がありますが、難しいと聞きました。作業の方を目指しているので、理学療法はちょっと思っていたのですが、パンフレットを見て、あ、ここならやってみようと思いました。
1408	女性	私は、将来医療系の職業を考えているので「理学療法学科」にとっても魅力を感じます。

No	性別	問8 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科についてご意見等
1430	男性	理学療法学科は何を学びますか。
1495	男性	理学療法士に興味があったので、面白そうだと思います。
1562	男性	どんな学部でどんな学科なのか具体的に知りたいです。
1692	男性	そもそも知らないです。
1723	男性	頑張りたい。
1760	男性	勉強が難しそう。
1800	男性	今は何も分からないから特にはない。
1810	男性	学部が増えることは良いことだと思います。
1901	男性	医学部のくくりになるのですかね。
1978	女性	良いと思います。
1994	女性	偏差値が高そう。
2122	男性	どんなことをやっているのですか。
2295	男性	パンフレットの画質はケチらない方がいい。
2402	男性	柔道整復師になりたい人も理学療法学科に進む必要はあるのですか。
2519	女性	入試科目は。
2552	男性	難しそう。
2571	男性	頑張って下さい。
2773	男性	理学療法には興味はあるが、東京国際大学に興味がない。
2787	男性	入りたいです。親に迷惑かけたくない。
2795	男性	興味がないのでパンフレットいません。
2797	男性	何故、文系に理系の学科に関する進学希望等を問うのか。
2799	男性	文系に理系学部のアンケートをさせないで欲しい。
2805	男性	そもそも大学に興味全くない。だからあなた方の事も知る由もないし調べようとも思わない。
2862	男性	頑張って下さい。
2867	男性	このような学科ができることで、今後、日本の成長が期待できると思う。
2868	女性	行きたい大学には無い学科なので、興味があります。
2873	女性	日本大学には無い学科なので興味がありました。
2878	男性	日本大学に無い学部なので興味があります。
2879	男性	このような分野の学科には大変興味があります。
2880	男性	日本だけでなく世界を視野に入れた理学療法士の育成は、良いことだと思った。また、日本大学には理学療法士の育成の学科がないこと、そして、佐野日本大学高校ではスポーツで結果を残している人が数多くいるので、需要もあるし、それに見合った結果を出せると思う。

No	性別	問8 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科についてご意見等
2886	男性	日本大学に無い学科なので、とても興味があります。
2889	女性	興味があるので、くわしく知れる機会があると良いです。
2893	男性	理学療法について興味を持ちました。
2965	男性	家から遠いと思った。
2977	男性	もし良ければ、取ってください。
2988	男性	頑張って下さい。応援しています。
2998	男性	就職率等はどうか知りたい。
2999	男性	全く調べていない。
3030	男性	学費高し。
3049	男性	どういうことをする学部なのかを知りたい。
3051	男性	名前から学ぶ内容が分からない。
3052	男性	がんばって。
3082	男性	行きたくない。
3285	男性	少し興味を持った。調べてみたい。
3360	女性	見学してみたい。
3491	女性	実際に何をやるのですか。
3524	男性	初めてその大学を知りました。なぜ、いきなり「理学療法学科」について聞かれたのか意味がわかりません。
3538	男性	頑張って下さい。
3541	男性	もっと詳しく知りたいです。
3613	男性	開設準備なのにピラにはいかにも授業をしているような写真を載せているのはなぜですか。実際の風景を撮るならわかりますが。
3682	女性	ありがとうございました。
3684	男性	国家試験に対応していることが頼りになると思った。
3704	女性	パンフレット等の案内の概要があつて嬉しかったです。
3711	男性	パンフレットをみて少し興味を持った。
3718	男性	理学療法について深く知らないため、パンフレットに書いてほしい。
3722	男性	一つの選択肢として考えたい。理学療法学なのに人間社会学部なのが少し気になった。
3738	男性	何するところか分からない。
3780	男性	頑張って下さい。
3819	男性	理学療法学科というものを初めて聞いた。
3837	女性	学科の特色をもっと知りたいと思いました。

No	性別	問8 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科についてご意見等
4014	女性	社会学部と書いてありますが、理系ですか、文系ですか。
4046	男性	進学するかどうかは分からないが、とても興味のある分野である。
4288	女性	取得できる資格があったり、目標に向かって様々な事を学べそうだと思います。
4292	女性	すいません。よく分かりませんでした。
4308	男性	どういう学科なのか、もっと詳しく知りたいです。
4479	女性	私は将来、理学療法士を目指しています。まだ、進学したい学校がしっかりと決まった訳ではないので、とても興味があります。
4538	女性	活躍できる理学療法士を育てることと、コースも3つあって、良いと思います。
4568	女性	理学療法士になりたい時期があったので興味があります。
4597	女性	アスレチックトレーナーの資格が取れるかどうか。
4820	男性	名前を変えた方がいい。
4846	男性	パンフレットの内容が薄過ぎて、魅力を感じない。
4859	男性	画像の画質が悪い。設備面について何も書かれていない。
4864	男性	名前からして堅苦しいイメージをもった
4971	男性	こんな学科があったんだと初めて知りました。
5028	男性	具体的にどんなことを勉強するのか気になる
5084	男性	併設として作業療法学科も作るべき。
5174	男性	理学療法にかなり興味があります。
5252	男性	自分は将来が決まっていますので興味を感じませんが、とても面白いと思います。
5376	男性	初めて聞いた。
5442	男性	良いと思います。
5465	女性	設備がどのくらい整っているのか知りたい。
5538	男性	興味ない。
5552	男性	最高です。
5671	男性	理学療法とは何か、詳しく知りたい。
5710	男性	スポーツ理学療法コースに少し興味があるので、視野に入れていきたいです。
5785	男性	説明を書いて欲しい。
5804	女性	理学療法学科とは何か。分からない人が多いのにアンケートをやっても無意味だと思う。
5889	女性	設置することに賛成します。
5905	女性	理系だなと思いました。
5949	男性	良いと思います。



No	性別	問8 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科についてご意見等
6006	男性	是非頑張ってください。応援しております。
6075	男性	頑張ってください。
6127	女性	理学療法士が増えるのは良い事だと思うので、設立する事も良い事だと思います。
6228	女性	救命救急士の内容を扱って欲しい。
6282	女性	あまりない学科なので面白そうだと思います。
6339	男性	理学療法に特化している学科は聞いたことがなく、とても理学療法士を目指す人にとってはとても興味を持てる学科だと思います。
6359	男性	頑張ってください。
6379	男性	申し訳ありません。少しも興味ありません。
6552	女性	どういった学部なのか分かりません。
6923	男性	家から近くて良い。
6960	男性	新しくできたので是非行きたいです。
6951	男性	かっこいいです。
7209	女性	資料や、オープンキャンパスに行ってみたいです。
7321	女性	面白そうだと思います。
7346	男性	どんなことをしているのか想像がつかないから、内容を広めた方が良い。
7402	女性	もっと理学療法学科では何を学ぶのか等、カリキュラムを詳しく知りたいです。
7539	男性	何をやっているかよく分からなかった。
7558	男性	理学療法と普通の療法とで何が違うのか分からない。
7559	男性	意見はもう少し様子を見てから。
7563	男性	面白そうと思った。
7572	男性	医学歯学関係と薬学関係との違いをもっと明確に書いた方が良いと思う。
7593	男性	自分は明治付属に入った時点で商学部に入りたいと決めていたため、あまり興味がない。
7613	男性	面白そうです。
7625	男性	理学療法とは何か、具体的に書かれていないのに、よくアンケートをやりませぬ。
7651	女性	堅苦しい名前にしないほうが良い。
7673	男性	実態が分からない。
7685	女性	何を学ぶ大学ですか。
7704	男性	どんなことを学べる学部なのかよく分からない。
7740	男性	何を学ぶのか分かりません。
7764	男性	学費が高すぎる。

No	性別	問8 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科についてご意見等
7768	女性	頑張ってください。
7774	男性	どこに就職するのか。
7903	男性	新しい試みは良いと思います。
7908	男性	少し興味を持ちました。
8137	女性	理学療法士はとても素敵な仕事だと思います。
8140	女性	理系っぽいと感じました。
8272	女性	どういうことを学ぶのか。
8289	男性	冊子を見て人の為に役立つことが出来る、良い仕事を志す人たちが集まる学部になるのだと思った。
8313	男性	頑張ってください。
8387	男性	どんな学部なのか中身をもっとよく知りたいと思います。
8405	女性	興味がある。
8489	女性	理学療法学科にはどのような設備が整っているのかを聞きたい。
8493	男性	まだよく分からないので詳しく知りたい。
8577	女性	実習環境と提携が沢山あるところが、他よりも良いなと思いました。
8592	男性	何を重視して勉強するか。
8593	女性	どのような学科になっているのか、大学についてもよく知らないため、オープンキャンパスなどに参加し考えたいと思う。
8600	女性	少し興味があります。
8685	男性	リーフレットの青のインクの使用量が多く、見づらいと感じます。
8692	男性	開業する場合も考え、経営学やマーケティングも学べるようにして欲しい。
8702	男性	僕は生まれつきの障害を持っていますが、ここに進学した学生さん達には、理学療法またはリハビリテーションに関する知識・技術だけでなく、心理学に関する授業を開講すべき。
8800	女性	駅から少し離れていたり、東京から離れていたり交通の便で少し考えさせられる。
8952	女性	現代的で素晴らしいと思った。
8965	女性	頑張ってください。
8980	男性	頑張ってください。
8995	男性	頑張ってください。
8998	男性	何をするとところですか。
9014	女性	具体的に何をしているのか、気になる。
9047	女性	定員を増やしたら良いと思います。
9061	男性	その道に進む人にはとっても適任な大学で、とても魅力を感じました。
9062	男性	楽しそう。

No	性別	問8 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科についてご意見等
9084	男性	最寄り駅からバスは出るか否か。またそれは無料か。
9523	男性	新設は少し怖い。
9537	女性	パンフレットを見る限り、理系の人が進学する感じがして、私は文系なのであまり興味が湧かなかった。
9568	男性	そもそも理学療法が何なのか、よく分からない。
9589	女性	問6の最後に、「理学療法学科」についての簡単な説明が欲しいです。
9783	女性	社会に必要な仕事であると強く思います。
9807	女性	誰かのサポートをする学科はとても素敵だと思います。私の目指す道ではありませんが、新しく開設され、沢山の人の支えになって欲しいと思います。
9837	女性	就職しやすいのはとても良い事だと思います。
9889	女性	受験資格を取れるのはすごく良いと思った。
9897	女性	実習する病院が大学と近いかどうか。
9947	女性	面白そうだと感じた。
10314	男性	理学療法に興味があるので学んでみたいとは思いますが、進路先が気になります。
10338	女性	学費を安くできないのですか。
10463	男性	素晴らしい学部です。
10467	男性	大変だと思いますが、頑張って下さい。
10476	男性	理学療法とは、主にどうゆう仕事に繋がるのですか。
10538	男性	自分も運動部に入っていて、スポーツ理学療法に興味があります。
10541	男性	設備が大切だと思います。
10555	女性	理学療法と作業療法を1つの学科にしてはいけないんですか。
10655	男性	面白そう。
10672	男性	理学療法はこれからとても需要が高まると思うので、良いと思う。
10684	男性	理系が全てな感じがありますが、別の事もできるのかどうか、知りたいです。
10758	男性	頭が良さそうです。もし機会等ありましたら入学したいと思っています。
11085	男性	とても良いと思う。
11133	女性	とても良いと思います。
11198	男性	理学療法士になりたいと言っている人が身近にいるので、良いと思います。
11212	男性	どんな学部か分からない。
11218	女性	学部の名前だけでは分かりかねます。
11228	男性	頑張って下さい。
11302	男性	理学療法とは何でしょうか。

No	性別	問8 東京国際大学 人間社会学部 理学療法学科についてご意見等
11346	女性	受験意思は無いが、それが文系なのか理系なのかが気になる。
11382	男性	少し興味を持たた。
11453	女性	授業の内容を知りたい。
11473	男性	教員の中に理学療法士か理学療法に長けている人物は居るのか。
11734	女性	どのようなことをするのか教えて欲しいです。
12244	男性	理学療法とは何か、社会にもっと知ってもらわうべき。
12252	男性	どのようなことを学べるのか知りたいです。
12313	男性	頑張ってください。文系ですが、この学科に価値があることが分かりました。
12338	男性	主にどんな教科を重視しますか。
12344	男性	理学療法士の育成とありますが、その後の就職先としてはどのような場所を準備する予定ですか。
12469	女性	スポーツ理学療法には興味があります。
12482	女性	埼玉県は遠いと思った。
12558	女性	文系ですか。理系ですか。文系科目での入試方法はありますか。
12653	男性	どういうところへ就職しているか。あるいはどこの病院等への就職を目指せるのか明記を希望します。
12674	女性	1つ大学を知る事が出来ました。ありがとうございました。
12828	女性	学費重視です。
12833	男性	理系なら無理です。
12944	男性	頑張ってください。
13182	男性	ちょっと興味を持った。
13367	男性	どのようなことをする学科なんですか。
13460	男性	具体的な専攻分野が分かりにくい。
13632	女性	臨床理学療法コースでは、卒業と共に資格も取れる権利は得られるのでしょうか。
13652	男性	提携施設が不明確。
13972	男性	自分もスポーツをやっている人間なので興味はあるけど、何をやるのか具体的なことが分からない。
14078	男性	色々な人に優しい大学だと思います。



問4 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から**第2希望まで**選んでください。

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1 理学療法関係       | 11 体育学・スポーツ関係         |
| 2 作業療法関係       | 12 文学・外国語関係 (史学・哲学含む) |
| 3 他の医療技術学関係    | 13 心理学関係              |
| 4 看護学関係        | 14 教育学・保育学関係          |
| 5 農学関係         | 15 食物学・栄養学関係          |
| 6 医学・歯学関係      | 16 家政学関係 (被服・住居)      |
| 7 薬学関係         | 17 法学・政治学関係           |
| 8 理学関係         | 18 商学・経済学・経営学関係       |
| 9 工学関係         | 19 社会学・福祉学関係          |
| 10 芸術学・デザイン学関係 | 20 その他                |

第1希望

第2希望

問5 あなたが進学先を決定する際に重視することはどれですか。次の中から**3つまで**選んでください。

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1 学部・学科の専攻分野    | 8 大学の伝統・知名度         |
| 2 学校の所在地 (交通の便) | 9 偏差値・入試科目          |
| 3 資格を取得できる      | 10 奨学金              |
| 4 就職実績          | 11 学習支援体制の充実度       |
| 5 設置形態 (国・公・私立) | 12 英語教育や留学プログラムの充実度 |
| 6 校舎・施設の充実度     | 13 クラブ活動・学生生活の充実度   |
| 7 学費 (入学金・授業料)  | 14 その他              |

【設置計画中の東京国際大学 人間社会学部「理学療法学科」についてお伺いします。】  
(アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。)

問6 あなたは東京国際大学 人間社会学部「理学療法学科」に興味がありますか。  
次の中から**1つだけ**選んでください。

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1 興味を感じる   | 3 あまり興味を感じない |
| 2 少し興味を感じる | 4 興味を感じない    |

問7 あなたは東京国際大学 人間社会学部「理学療法学科」に進学を希望しますか。  
次の中から**1つだけ**選んでください。

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 進学を希望する  | 3 進学を希望しない |
| 2 一応進学を考える | 4 わからない    |

問8 東京国際大学 人間社会学部「理学療法学科」について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

\*\*\* これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*

## 資料8. 「理学療法学科在学生アンケート調査」調査票

### 資料 11. 「理学療法学科在学生アンケート調査」調査票

Q1. あなたの性別をお答えください。

男性 女性

Q2. あなたの年齢をお答えください。

Q3. あなたが現在住んでいる都道府県として当てはまるものをお選びください。

Q4. あなたが高校3年生の受験時期に住んでいた都道府県として当てはまるものをお選びください。

Q5. あなたの出身高校名をお答えください。

Q6. あなたが高校時代にやっていた部活動・クラブチーム・習い事（継続的に実施していた活動）をお答えください。

【スポーツ系】 チーム球技（サッカー、野球、バスケットボール、バレーボール、ラグビー、アメフト、ソフトボール、ハンドボール、など）

【スポーツ系】 個人球技（テニス、バドミントン、卓球、など）

【スポーツ系】 陸上競技（100m走、マラソン、走り高跳び、など）

【スポーツ系】 水泳

【スポーツ系】 ダンス（体操、ジャズダンス、クラシックバレエ、など）

【スポーツ系】 格闘技（剣道、柔道、空手、ボクシング、など）

【スポーツ系】 その他の運動系競技

【文化系】 音楽系の活動（吹奏楽、合唱、軽音、など）

【文化系】 美術系の活動（絵画、写真、書道、華道、茶道、など）

【文化系】 その他文科系の活動

部活動・クラブチーム・習い事をやっていなかった

Q7. あなたの高校で「理学療法学部・学科」に進学した学生割合をお答えください。

あなたの感覚値として最も近いものをお選びください。

自分以外誰もいない	16～20%
1～2%	21～30%
3～4%	31～40%
5～6%	41～50%
7～8%	51～60%
9～10%	61～80%
11～15%	81～100%

Q8. あなたの高校で「医療系の学部・学科」に進学した学生割合はどの程度ですか。

あなたの感覚値として最も近いものをお選びください。

※「医療系の学部・学科」とは、理学療法学部に加え、作業療法学部、言語聴覚学部、医学部、看護学部、などの医療系の学部・学科をいう。

自分以外誰もいない	16～20%
1～2%	21～30%
3～4%	31～40%
5～6%	41～50%
7～8%	51～60%
9～10%	61～80%
11～15%	81～100%

Q9. あなたの現在の居住形態として当てはまるものをお選びください。

実家（親と同居）

大学の寮

1人暮らし

上記以外（ルームシェア、配偶者・子供と同居など）

Q10. あなたは大学（又は短大、専門学校）入学にあたって浪人しましたか。

浪人して入学

浪人せず現役で入学

就職又は他の大学・短大・専門学校を経て入学

Q11. あなたが理学療法士（PT）という職業を知ったきっかけとして当てはまるものを1つお答えください。

- 自身が理学療法士にリハビリを受けた
- 家族・知人が理学療法士にリハビリを受けた
- 元々の知り合いに理学療法士として働いている人がいた
- スポーツに関連する仕事を調べて知った
- 医療に関連する仕事を調べて知った
- 学校の職業体験等の授業を通じて知った
- 受験する学部・学科を調べる過程で知った
- 学校教師・部活の顧問・塾の講師等を通じて知った
- 理学療法士以外のリハビリ関連職の人（作業療法士・言語聴覚士・スポーツトレーナー・整体師など）を通じて知った
- 親・兄弟姉妹・親戚・友人等を通じて知った
- その他
- わからない／覚えていない

Q12. あなたが理学療法学部・学科に入学する前に理学療法士になりたいと思った理由として当てはまるものをすべてお答えください。

- スポーツに関わりたい
- 医療に関わりたい
- 介護に関わりたい
- 国家資格を取りたい
- 安定した仕事に就きたい
- 技術力を身に付けたい（手に職をつけたい）
- 身体の仕組みに興味を持った
- 【周囲の意見】親・兄弟・親戚・友人等に勧められた
- 【周囲の意見】高校の教師・部活の顧問・塾の講師等に勧められた
- 【周囲の意見】理学療法士・その他リハビリ関連職（作業療法士・言語聴覚士・スポーツトレーナー・整体師、など）の知人に勧められた
- その他
- 特に理由はない／わからない／覚えていない

Q13. あなたが理学療法学部・学科を受験すると決めた時期をお答えください。

- |          |            |
|----------|------------|
| 高校入学前    | 高校3年生（春）   |
| 高校1年生    | 高校3年生（夏）   |
| 高校2年生（春） | 高校3年生（秋）   |
| 高校2年生（夏） | 高校3年生（冬）   |
| 高校2年生（秋） | 卒業後（浪人時など） |
| 高校2年生（冬） |            |

Q14. あなたは理学療法士学部・学科の受験校を調べる際にどのような方法で情報収集しましたか。

- 当てはまるものをすべてお選びください。
- 【イベント】各大学のオープンキャンパス／学校見学
  - 【イベント】学園祭などの催し物
  - 【WEB】各大学のホームページ
  - 【WEB】理学療法士協会のホームページ
  - 【WEB】大学関連ウェブサイト（マナビジョン、リクナビ進学、パスナビなど）
  - 【WEB】ソーシャルネットワーク（Facebook、Twitter、Instagram、など）
  - 【WEB】その他ネット掲示板等（受験関連掲示板、2ch、など）
  - 【WEB以外】各大学のパンフレット
  - 【WEB以外】受験情報誌
  - 【WEB以外】電車内、新聞・雑誌の広告・記事等
  - 【WEB以外】駅伝などスポーツ関連メディア
  - 【相談】高校教師・部活顧問・塾講師等に相談
  - 【相談】高校の先輩・同級生に相談
  - 【相談】親・兄弟姉妹・親戚などに相談
  - 【相談】その他の知人に相談
  - その他
  - 情報収集をしていない

Q15. あなたが現在所属している学校の区分として当てはまるものをお答えください。

- |       |           |
|-------|-----------|
| 4年制大学 | 専門学校（4年制） |
| 短期大学  | 専門学校（3年制） |

Q16. ご自身が入学した学校の区分以外に、受験した学校の区分をとして当てはまるものをすべてお答えください。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 4年制大学     | 専門学校（3年制）   |
| 短期大学      | いずれも受験していない |
| 専門学校（4年制） |             |



Q17. あなたが受験したのは理学療法学部・学科のみですか。

理学療法学部・学科のみを受験した  
理学療法学部・学科以外の他の学部・学科も受験した

Q18. 理学療法学部・学科以外の他の学部・学科を受験した方にお伺いします。

あなたが理学療法学部・学科以外に受験した学部・学科として当てはまるものをすべてお選びください。

- 【医療】「作業療法士・言語聴覚士」を目指す学部・学科
- 【医療】「医師」を目指す学部・学科
- 【医療】「薬剤師」を目指す学部・学科
- 【医療】「看護師」を目指す学部・学科
- 【医療】「視能訓練士・義肢装具士」を目指す学部・学科
- 【医療】「その他医療職」を目指す学部・学科
- 【整体】「柔道整復師」を目指す学部・学科
- 【整体】「あん摩・マッサージ・指圧師」を目指す学部・学科
- 【整体】「はり師・きゅう師」を目指す学部・学科
- 【その他】教育学部・学科
- 【その他】スポーツ（体育）学部・学科
- 【その他】その他理系学部・学科（工学部、理学部、農学部等）
- 【その他】その他文系学部・学科（法学部、経済学部、商学部、文学部等）
- その他

Q19. あなたが受験した大学（理学療法学部・学科）が所属する都道府県をすべてお答えください。

受験した大学には、あなたが現在所属する大学も含めてお答えください。

Q20. 以下の大学の中で、受験の時に知っていた大学（理学療法学部・学科）をすべてお答えください。

- |                        |                       |                      |
|------------------------|-----------------------|----------------------|
| 【北海道】北海道大学             | 【東京都】杏林大学             | 【大阪府】大阪河崎リハビリテーション大学 |
| 【北海道】札幌医科大学            | 【東京都】帝京科学大学(東京理学療法学科) | 【大阪府】大阪電気通信大学        |
| 【北海道】北海道文教大学           | 【東京都】東京工科大学           | 【大阪府】関西医療大学          |
| 【北海道】北海道医療大学           | 【東京都】東京医療学院大学         | 【大阪府】森ノ宮医療大学         |
| 【北海道】北海道科学大学           | 【神奈川県】神奈川県立保健福祉大学     | 【大阪府】大阪保健医療大学        |
| 【北海道】日本医療大学            | 【神奈川県】北里大学            | 【大阪府】関西福祉科学大学        |
| 【青森県】弘前大学              | 【神奈川県】昭和大学            | 【大阪府】大阪行岡医療大学        |
| 【青森県】青森県立保健大学          | 【神奈川県】国際医療福祉大学(小田原)   | 【大阪府】大和大学            |
| 【宮城県】東北文化学園大学          | 【神奈川県】湘南医療大学          | 【大阪府】大阪人間科学大学        |
| 【宮城県】東北福祉大学            | 【新潟県】新潟医療福祉大学         | 【兵庫県】神戸大学            |
| 【秋田県】秋田大学              | 【新潟県】新潟リハビリテーション大学    | 【兵庫県】神戸学院大学          |
| 【山形県】山形県立保健医療大学        | 【石川県】金沢大学             | 【兵庫県】姫路獨協大学          |
| 【茨城県】筑波技術大学            | 【石川県】金城大学             | 【兵庫県】甲南女子大学          |
| 【茨城県】茨城県立医療大学          | 【山梨県】健康科学大学           | 【兵庫県】兵庫医療大学          |
| 【茨城県】つくば国際大学           | 【山梨県】帝京科学大学(理学療法学科)   | 【兵庫県】神戸国際大学          |
| 【栃木県】国際医療福祉大学(大田原)     | 【長野県】信州大学             | 【兵庫県】宝塚医療大学          |
| 【群馬県】群馬大学              | 【長野県】長野保健医療大学         | 【奈良県】畿央大学            |
| 【群馬県】群馬ベース大学           | 【岐阜県】中部学院大学           | 【岡山県】川崎医療福祉大学        |
| 【群馬県】高崎健康福祉大学          | 【静岡県】聖隷クリストファー大学      | 【岡山県】吉備国際大学          |
| 【群馬県】群馬医療福祉大学          | 【静岡県】常葉大学(保健医療学部)     | 【広島県】広島大学            |
| 【埼玉県】埼玉県立大学            | 【静岡県】常葉大学(健康科学部)      | 【広島県】県立広島大学          |
| 【埼玉県】目白大学              | 【愛知県】名古屋大学            | 【広島県】広島国際大学          |
| 【埼玉県】文京学院大学            | 【愛知県】名城大学             | 【広島県】広島都市学園大学        |
| 【埼玉県】埼玉医科大学            | 【愛知県】藤田保健衛生大学         | 【徳島県】徳島文理大学          |
| 【埼玉県】日本医療科学大学          | 【愛知県】豊橋創造大学           | 【福岡県】国際医療福祉大学(福岡)    |
| 【埼玉県】人間総合科学大学          | 【愛知県】名古屋学院大学          | 【福岡県】帝京大学            |
| 【千葉県】千葉県立保健医療大学        | 【愛知県】日本福祉大学           | 【福岡県】九州栄養福祉大学        |
| 【千葉県】帝京平成大学(地域医療科学部)   | 【愛知県】中部大学             | 【佐賀県】西九州大学           |
| 【千葉県】了徳寺大学             | 【三重県】鈴鹿医療科学大学         | 【長崎県】長崎大学            |
| 【千葉県】植草学園大学            | 【京都府】京都大学             | 【熊本県】九州看護福祉大学        |
| 【千葉県】国際医療福祉大学(成田)      | 【京都府】佛教大学             | 【熊本県】熊本保健科学大学        |
| 【千葉県】城西国際大学            | 【京都府】京都橋大学            | 【大分県】大分大学            |
| 【東京都】首都大学              | 【大阪府】大阪府立大学           | 【鹿児島県】鹿児島大学          |
| 【東京都】帝京平成大学(健康メディカル学部) | 【大阪府】藍野大学             |                      |
|                        | 【大阪府】四條畷学園大学          |                      |

Q21. あなたが受験の時に知っていた大学の中で、オープンキャンパスに行ったことがある大学をすべてお選びください。  
選択肢はQ.20と同様

Q22. あなたが参加した大学のオープンキャンパスについてお伺いします。各大学のオープンキャンパスがあなたの志望度に与えた影響として当てはまるものをお選びください。  
各大学ごとに 志望度が上がった・下がった・変わらなかった を選択

Q23. あなたが知っていた大学（理学療法学部・学科）についてお伺いします。大学ごとに検討・受験有無、可否について当てはまるものをお答えください。  
※受験には、一般入試に加え、AO・推薦入試等も含めてお答えください。※複数回受験した場合は最後に受験した時についてお答えください。  
各大学ごとに、検討しなかった・検討したが受験しなかった・受験したが不合格だった・受験して合格した を選択

Q24. あなたが入学し現在所属している大学をお選びください。  
選択肢はQ.20と同様

Q25. あなたが、受験した大学（理学療法学部・学科）の入試方法をお選びください。  
※同じ大学を複数の入試方法で受験した場合は、最後に受験した入試方法をお選びください。  
各大学ごとに、一般入試・センター試験利用入試（センター試験結果のみを利用）・AO入試・指定校推薦・その他推薦入試・それ以外 から選択

Q26. あなたが受験した大学（理学療法学部・学科）についてお伺いします。受験した各大学の志望度・位置づけとして、最も当てはまるものをお選びください。  
<選択肢区分の定義>  
・チャレンジ校： 「合格可能性は低い」が「志望度は非常に高い」大学  
・実力適正校： 「合格可能性はある程度高く」、「志望度もある程度高い」大学  
・締め止め： 「合格可能性は非常に高い」が「志望度は低い」大学  
各大学ごとに上記3区分から選択

Q27. 知っていた大学の中から受験大学（理学療法学部・学科）を選ぶ際に、調べた項目、重視した項目として当てはまるものをお選びください。  
下記の項目ごとに、重視した・調べたが重視していない・調べていない から選択

- 【学力】 偏差値の高さ
- 【知名度】 認知度・ブランドイメージの良さ
- 【学費】 学費の安さ
- 【学費】 奨学金制度の有無
- 【立地】 自宅からの距離・時間・通いやすさ
- 【立地】 都会へのアクセスの良さ
- 【雰囲気】 キャンパスの綺麗さ・設備の良さ
- 【雰囲気】 サークル活動、学校の催し物（学園祭、など）
- 【雰囲気】 キャンパス・学生の雰囲気の良さ
- 【雰囲気】 理学療法以外の学部・学科の有無・種類（総合／単科大学、医療専門、など）
- 【実績】 国家試験合格率が高いこと
- 【実績】 就職率・就職先
- 【実績】 実習先（立地・種類）
- 【教育環境】 教員の質が高いこと（有名な教授がいる、など）
- 【教育環境】 カリキュラムの充実度
- 【教育環境】 国家試験対策の充実度
- 【教育環境】 外国語教育が充実（留学制度、外国人比率）
- 【教育環境】 スポーツ分野の強さ（スポーツの盛んさ、スポーツ系授業の有無、など）
- 【教育環境】 定員数
- 【受験条件】 受験科目
- 【受験条件】 受験倍率
- 【受験条件】 受験日程
- 【その他】 先輩・同級生が通っている・受験していること
- 【その他】 口コミでの評価（高校教師、親族、友人、知人、など）

Q28. 前問で重視したと回答された項目の中で、最も重視した項目を1つお選びください。

Q29. 受験校を選択した際に、大学入学前に住んでいた場所（実家など）から、どれくらいの距離にある学校までを選択肢に入れましたか。

自宅の玄関からキャンパスまでに利用する通常の移動手段（電車、徒歩、自転車等）の時間の合計でお答えください。

- 30分未満
- 30分以上1時間未満
- 1時間以上2時間未満
- 2時間以上3時間未満
- 3時間以上（距離は気にしていない）

Q30. 「国家試験対策が充実している」と打ち出している大学があった場合、入学前にどのような印象を持ったと思いますか。

- イメージが良くなる
- イメージは変わらない
- イメージが悪くなる

Q31. あなたが入学校を検討していた時に、架空の「私立大学A」があった場合についてお伺いします。

「私立大学A」の奨学金制度により、学費が「あなたの所属学校」の半額になるとします。

「私立大学A」の偏差値は「あなたの所属学校」より低い場合、どの程度の偏差値の低さまでであれば「私立大学A」に入学する可能性がありますか。 ※学費、偏差値以外に違いはないと仮定してください。

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 偏差値が少しでも下がるのであれば入学しない | 「－6程度」であれば入学する |
| 「－1程度」であれば入学する        | 「－7程度」であれば入学する |
| 「－2程度」であれば入学する        | 「－8程度」であれば入学する |
| 「－3程度」であれば入学する        | 「－9程度」であれば入学する |
| 「－4程度」であれば入学する        | 「－10以上」でも入学する  |
| 「－5程度」であれば入学する        |                |

Q32. あなたが入学校を検討していた時に、架空の「私立大学B」があった場合についてお伺いします。

「私立大学B」は以下のようなスポーツに強みを持った大学です。

「私立大学B」の偏差値は「あなたの所属学校」の偏差値より低い場合、どの程度の偏差値の低さまでであれば「私立大学B」に入学する可能性がありますか。 ※スポーツの特徴、偏差値以外に違いはないと仮定してください。

- <スポーツの特徴>
- ・箱根駅伝に出場している
  - ・有名監督（元有名プロスポーツ選手等）が各スポーツ部を指揮
  - ・最新設備が整った専用スタジアム、トレーニングが完備されている

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 偏差値が少しでも下がるのであれば入学しない | 「－6程度」であれば入学する |
| 「－1程度」であれば入学する        | 「－7程度」であれば入学する |
| 「－2程度」であれば入学する        | 「－8程度」であれば入学する |
| 「－3程度」であれば入学する        | 「－9程度」であれば入学する |
| 「－4程度」であれば入学する        | 「－10以上」でも入学する  |
| 「－5程度」であれば入学する        |                |

Q33. あなたが入学校を検討していた時に、架空の「私立大学C」があった場合についてお伺いします。

「私立大学C」は以下のような英語に強みを持った大学です。

「私立大学C」の偏差値は「あなたの所属学校」より低い場合、どの程度の偏差値の低さまでであれば「私立大学C」に入学する可能性がありますか。 ※英語の特徴、偏差値以外に違いはないと仮定してください。

- <英語の特徴>
- ・語学系以外の学部でも留学が可能であり、卒業生の多くが留学経験者
  - ・ネイティブ講師による少人数制の英語クラスを履修可能
  - ・授業以外でもネイティブと会話練習ができるラウンジを設置

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 偏差値が少しでも下がるのであれば入学しない | 「－6程度」であれば入学する |
| 「－1程度」であれば入学する        | 「－7程度」であれば入学する |
| 「－2程度」であれば入学する        | 「－8程度」であれば入学する |
| 「－3程度」であれば入学する        | 「－9程度」であれば入学する |
| 「－4程度」であれば入学する        | 「－10以上」でも入学する  |
| 「－5程度」であれば入学する        |                |

Q34. 実習先についての希望として当てはまるものをすべてお選びください。

- 【立地】現在の居住地から近い
  - 【立地】実家から近い
  - 【立地】都会にある
  - 【形態】自分が経験したい病床（急性期、回復期、療養期、介護）・外来がある
  - 【形態】自分が経験したい分野（内部疾患、神経疾患、スポーツ、介護、など）がある
  - 【形態】自分のニーズに合う病院の規模・形態（大学病院、大手私立病院など）
  - 【評判】有名な理学療法士が所属している
  - 【評判】ブランド力が高い
  - 【評判】実習の単位がとりやすい（厳しすぎない）
  - 【評判】実習先の担当職員が丁寧に教えてくれる
  - 【評判】就職につながりやすい
  - 【費用】実習費用（滞在費、交通費、など）が低い
- その他  
特に希望はない/わからない

Q35. 就職先についての希望として当てはまるものをすべてお選びください。

- 【立地】現在の居住地から近い
  - 【立地】実家から近い
  - 【立地】都会にある
  - 【形態】自分が経験したい病床（急性期、回復期、療養期、介護）・外来がある
  - 【形態】自分が経験したい分野（内部疾患、神経疾患、スポーツ、介護、など）がある
  - 【形態】自分のニーズに合う病院の規模・形態（大学病院、大手私立病院など）
  - 【評判】有名な理学療法士が所属している
  - 【評判】ブランド力が高い
  - 【評判】実習の評判が良い/悪くない
  - 【待遇】給料が高い
  - 【待遇】待遇が安定している（リストラされにくい）
  - 【待遇】仕事が楽（大変でない）
  - 【待遇】研修制度が充実している
- 実習で行ったことがある  
その他  
特に希望はない、わからない

Q36. 就職先として最も興味がある医療機関・介護施設の種類を1つお選びください。

- 急性期病床を有する医療機関
  - 回復期病床を有する医療機関
  - 療養期病床を有する医療機関
  - 外来がメインの医療機関
  - 介護（老健、訪問看護ステーション等）
  - その他
- 特に希望はない/わからない

Q37. 就職先で経験したいリハビリテーションの種類として当てはまるものをすべてお選びください。

- 内部疾患リハビリテーション
  - 神経疾患リハビリテーション
  - スポーツ整形リハビリテーション
  - 介護リハビリテーション
  - 小児リハビリテーション
  - 一般的な運動器リハビリテーション
  - その他
- 特に希望はない/わからない

Q38. 医療機関に就職する場合、あなたが就職したい規模・形態として当てはまるものをすべてお選びください。

- 国公立・大学病院
- 私立・大学病院
- 国公立・大規模病院
- 国公立・中小規模病院
- 私立・大規模病院
- 私立・中小規模病院
- 診療所
- 医療機関の形態・規模は意識していない

Q39. あなたの現在所属する学校のクラスで実家から通っている生徒の割合として最も当てはまるものをお選びください。

- 0% (ほとんどいない)
- 10～20%程度
- 30～40%程度
- 50～60%程度
- 70～80%程度
- 90～100%程度 (ほとんど全員)

Q40. あなたの現在所属する学校の実習先のうち、学校近辺(学生が自宅から通える距離)にある実習先の割合をお答えください。

学校近辺とは、学生が自宅から2時間以内に通える距離とお考え下さい。大体の値でかまいません。

- 0% (ほとんどない)
- 10～20%程度
- 30～40%程度
- 50～60%程度
- 70～80%程度
- 90～100%程度 (ほとんどすべて)
- わからない

Q41. あなたは現在所属している学校(理学療法学部・学科)に満足していますか。最も当てはまるものをお選びください。

- 満足している
- どちらかという満足している
- どちらともいえない
- どちらかという満足していない
- 満足していない

Q42. 以下のような大学が理学療法士学科を新設していたとしたら、受験の時に入学/受験/興味を持ったと思いますか。最も当てはまるものをお選びください。

<説明>

【大学名】 東京国際大学  
【所在地】 埼玉県川越市

・アクセス：東武東上線「霞ヶ関」駅から徒歩5分(池袋駅から37分)

【偏差値帯】 ※2016年度第3回ベネッセ・駿台マーク模試より

- ・経済学部：42-43
- ・商学部：40-45
- ・人間社会学部：42-51
- ・国際関係学部：41-50
- ・言語コミュニケーション学部：42-52

【主な特徴】

- ・有名監督が各スポーツ部を指揮(野球：元広島監督の古葉竹義監督、サッカー：元日本代表の前田秀樹監督、女子サッカー：元なでしこJAPANの大竹七未監督、等)
- ・2016年に箱根駅伝初出場
- ・語学系の学部でなくても、留学が可能であり、卒業生の8人に1人が留学経験者
- ・世界13か国(地域)、22の提携大学に留学先がある
- ・留学しても、4年で卒業が可能
- ・ネイティブ教員に1クラス10人以下の少人数制で学べる
- ・授業以外でネイティブと会話練習ができるラウンジがある(English Plaza)

受験し(合格した場合)入学していたと思う

入学したかわからないが、受験していたと思う

受験したかわからないが、興味を持ったと思う

興味も持たなかったと思う

Q43. 東京国際大学の理学療法士学科を「入学したと思う」又は「受験したと思う」又は「興味を持ったと思う」と考えた理由をお答えください。

資料9. 「理学療法学科在学生アンケート調査」調査結果

表 1. 調査回答者概要

都道府県	大学区分	大学名	回答者数	
埼玉県	私立	目白大学	15名	
		文京学院大学	12名	
帝京平成大学(健康メディカル学部)		21名		
東京工科大学		33名		
神奈川県		国際医療福祉大学(小田原)	12名	
千葉県		国公立	千葉県立保健医療大学	2名
愛知県			名古屋大学	16名
京都府			京都大学	17名
	私立		佛教大学	1名
兵庫県	国公立	神戸大学	42名	
広島県		広島大学	8名	
		県立広島大学	54名	
合計:			233名	

表 2. 理学療法士を目指した理由

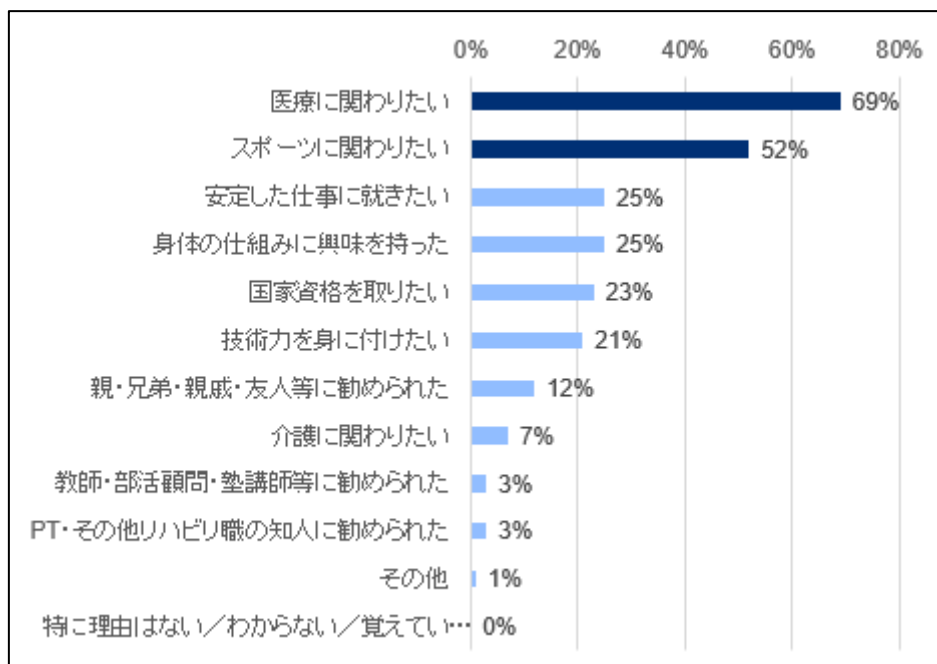


表 3. 高校生時代の部活動経験

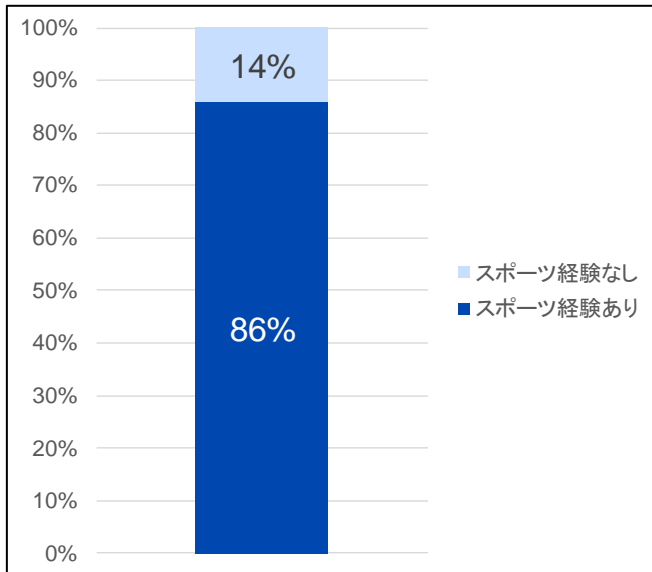


表 4. 就職先で行いたいリハビリテーションの種類

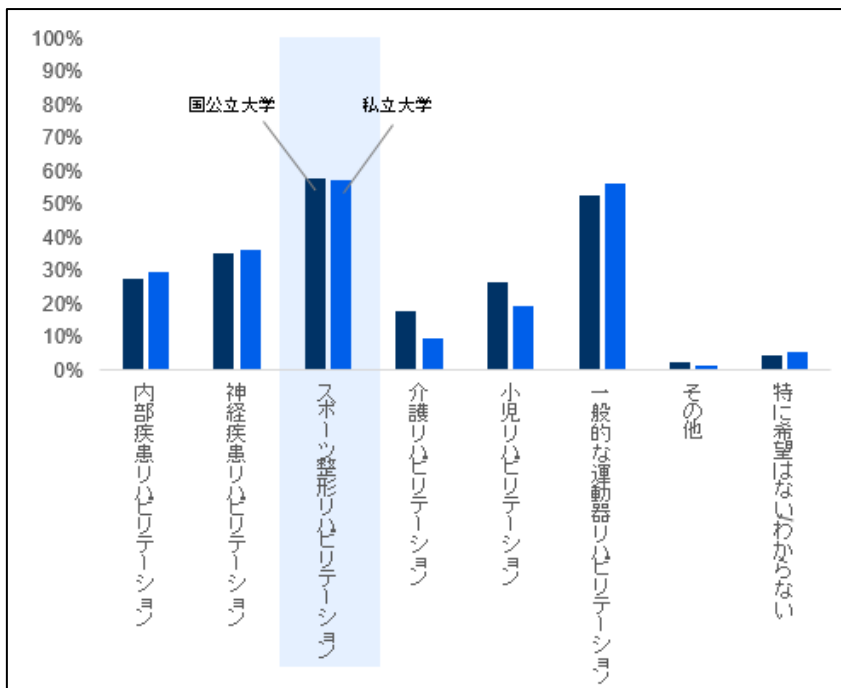
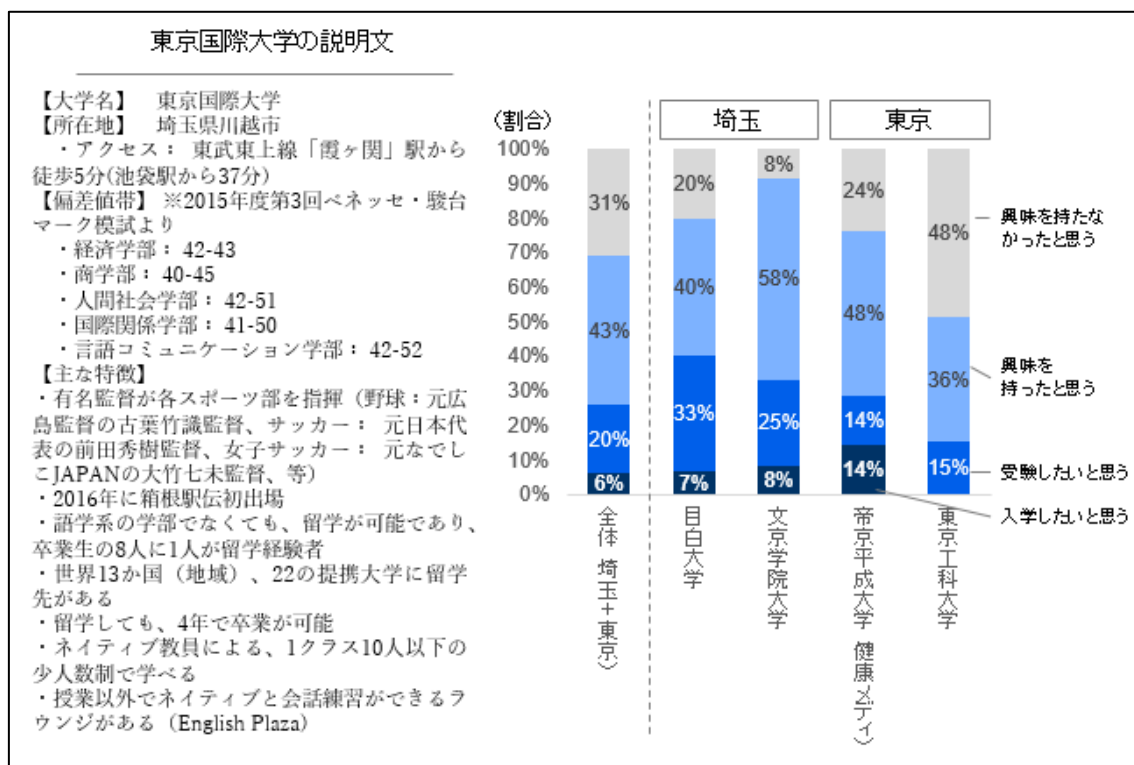


表 5. 東京国際大学の理学療法学科に対する関心





資料10. 東京国際大学の志願・入学動向

学部名	項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
商学部	志願者数	923	691	649	779	1,052
	入学者数	480	357	250	246	173
	入学定員	400	300	220	220	180
	入学定員充足率	1.20	1.19	1.14	1.12	0.96
	在籍学生数	1,753	1,668	1,470	1,263	1,004
	収容定員	1,600	1,500	1,320	1,140	920
	収容定員充足率	1.10	1.11	1.11	1.11	1.09

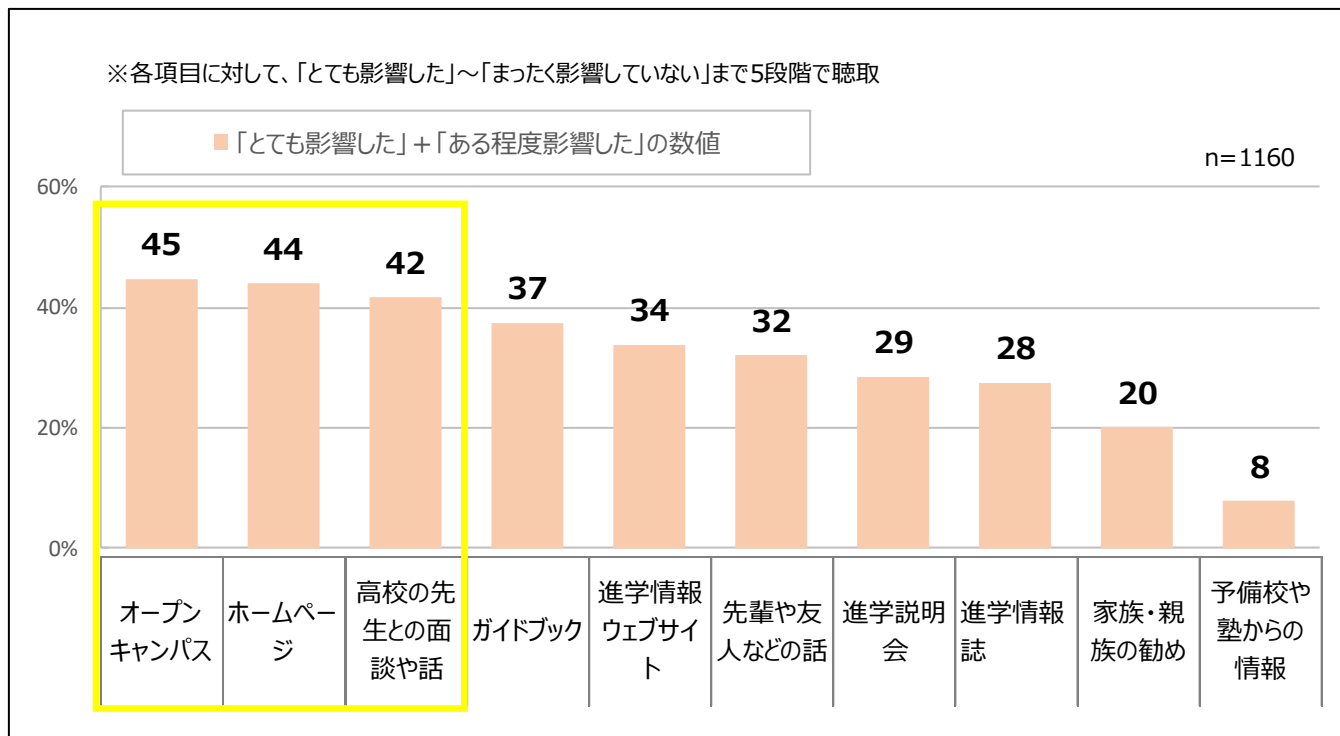
学部名	項目	2015年度	2016年度	2017年度 5/1	2017年度 10/1	2018年度 5/1	2018年度 10/1	2019年度 5/1	2019年度 10/1
経済学部	志願者数	778	879	741	246	1,002	437	1,241	398
	入学者数	370	332	286	102	262	85	272	144
	入学定員	255	255	265	90	250	105	265	170
	入学定員充足率	1.45	1.30	1.09		0.98		0.96	
	在籍学生数	993	1,033	1,173	-	1,331	-	1,378	-
	収容定員	1,110	1,065	1,120	-	1,220	-	1,400	-
	収容定員充足率	0.89	0.97	1.05	-	1.09	-	0.98	-

学部名	項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
言語コミュニケーション学部	志願者数	631	676	588	703	1,164
	入学者数	179	230	282	264	227
	入学定員	160	190	250	250	230
	入学定員充足率	1.12	1.21	1.13	1.06	0.99
	在籍学生数	674	743	839	901	910
	収容定員	600	665	760	850	920
	収容定員充足率	1.12	1.12	1.10	1.06	0.99

学部名	項目	2015年度	2016年度	2017年度 5/1	2017年度 10/1	2018年度 5/1	2018年度 10/1	2019年度 5/1	2019年度 10/1
国際関係学部	志願者数	834	938	823	238	1,000	408	1,377	357
	入学者数	315	317	246	55	220	78	192	84
	入学定員	230	250	220	80	205	95	195	110
	入学定員充足率	1.37	1.27	1.00		0.99		0.90	
	在籍学生数	1,002	1,061	1,128	-	1,116	-	1,095	-
	収容定員	920	940	1,010	-	1,080	-	1,155	-
	収容定員充足率	1.09	1.13	1.12	-	1.03	-	0.95	-

学部名	項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
人間社会学部	志願者数	1,408	1,048	838	911	1,005
	入学者数	504	555	507	488	440
	入学定員	410	460	480	480	455
	入学定員充足率	1.23	1.21	1.06	1.02	0.97
	在籍学生数	1,799	1,908	1,971	1,955	1,882
	収容定員	1,560	1,650	1,760	1,830	1,875
	収容定員充足率	1.15	1.16	1.12	1.07	1.00

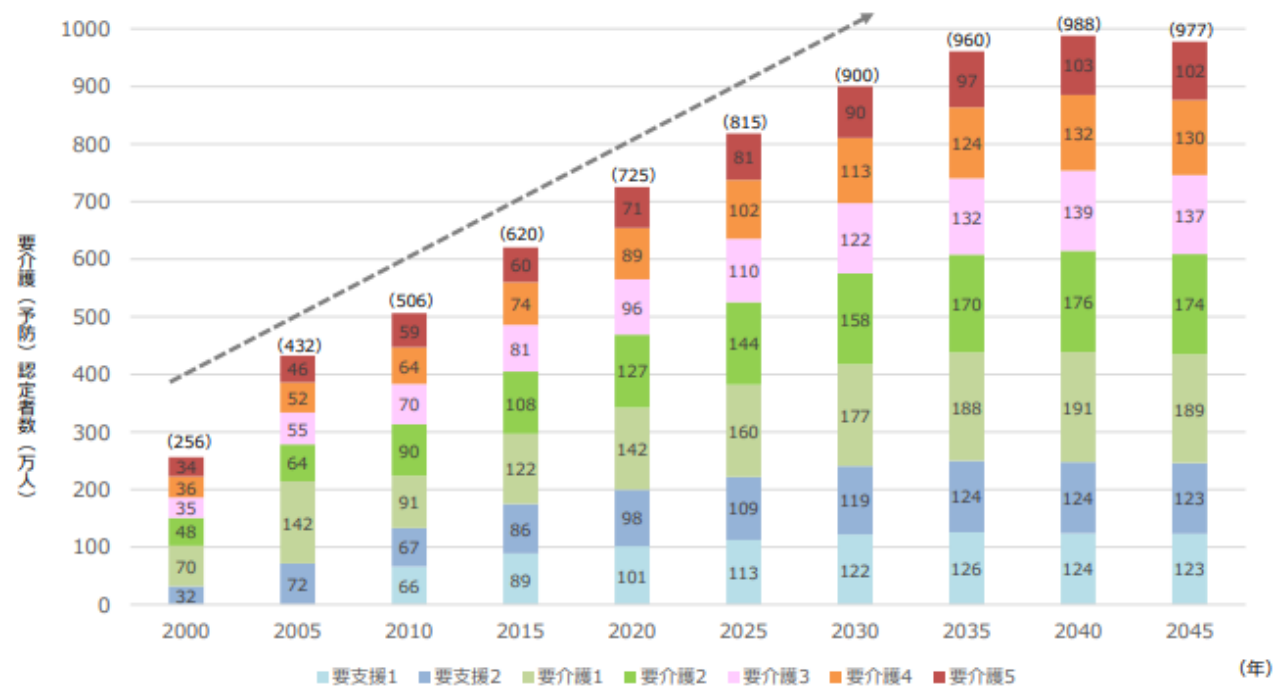
資料11. 東京国際大学への進学決定時に影響を受けたもの



資料12. 要介護認定者・介護職員需給の将来推計

### 要介護（要支援）認定者の将来推計

- 高齢化の進展に伴い、要介護（要支援）の認定者数は、制度開始（平成12年度）以降、年々増加の傾向。我が国全体でみると、2035年頃まで、増加のペースは緩まない見込み。



※2000年度、2005年度は、要支援が1段階しかなく、要支援2には現行の要支援1相当の者も含まれる。

〔出典〕 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成29年推計）」、総務省「人口推計（平成28年）」、厚生労働省「平成27年度介護給付費実態調査」統計表第3表 平成27年11月審査分より経済産業省作成

※東京国際大学・注

#### 要介護（予防）認定者数

2015年：620万人

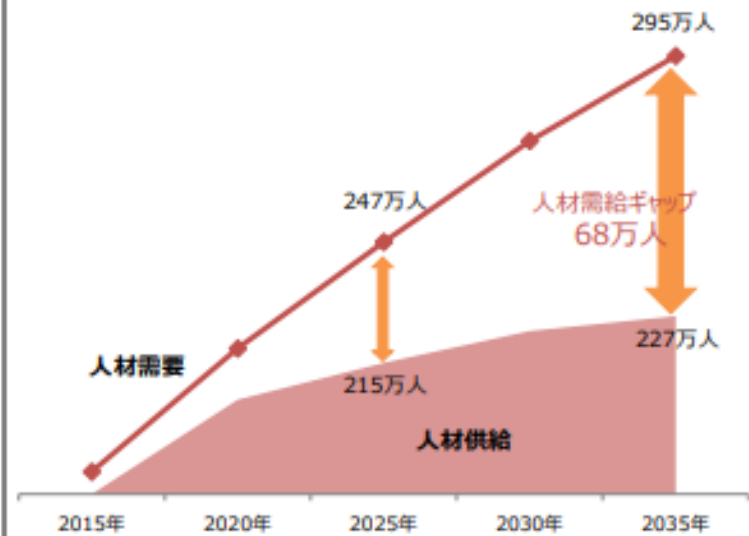
→ 2035年：960万人

（2015年比約1.5倍）

経済産業省「将来の介護需給に対する高齢者ケアシステムに関する研究 報告書（2018）」

### 将来推計（介護職員の需給）

- 2035年時点の介護職員の需給について、一定の仮定を置いて推計。
- 高齢化による介護需要の増加等に伴い、介護職員が68万人不足する見込み。



※経済産業省の推計であり、厚生労働省「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計（確定値）について」の需要見込みの推計結果と異なる。

資料13. 日本の地域別人口将来推計

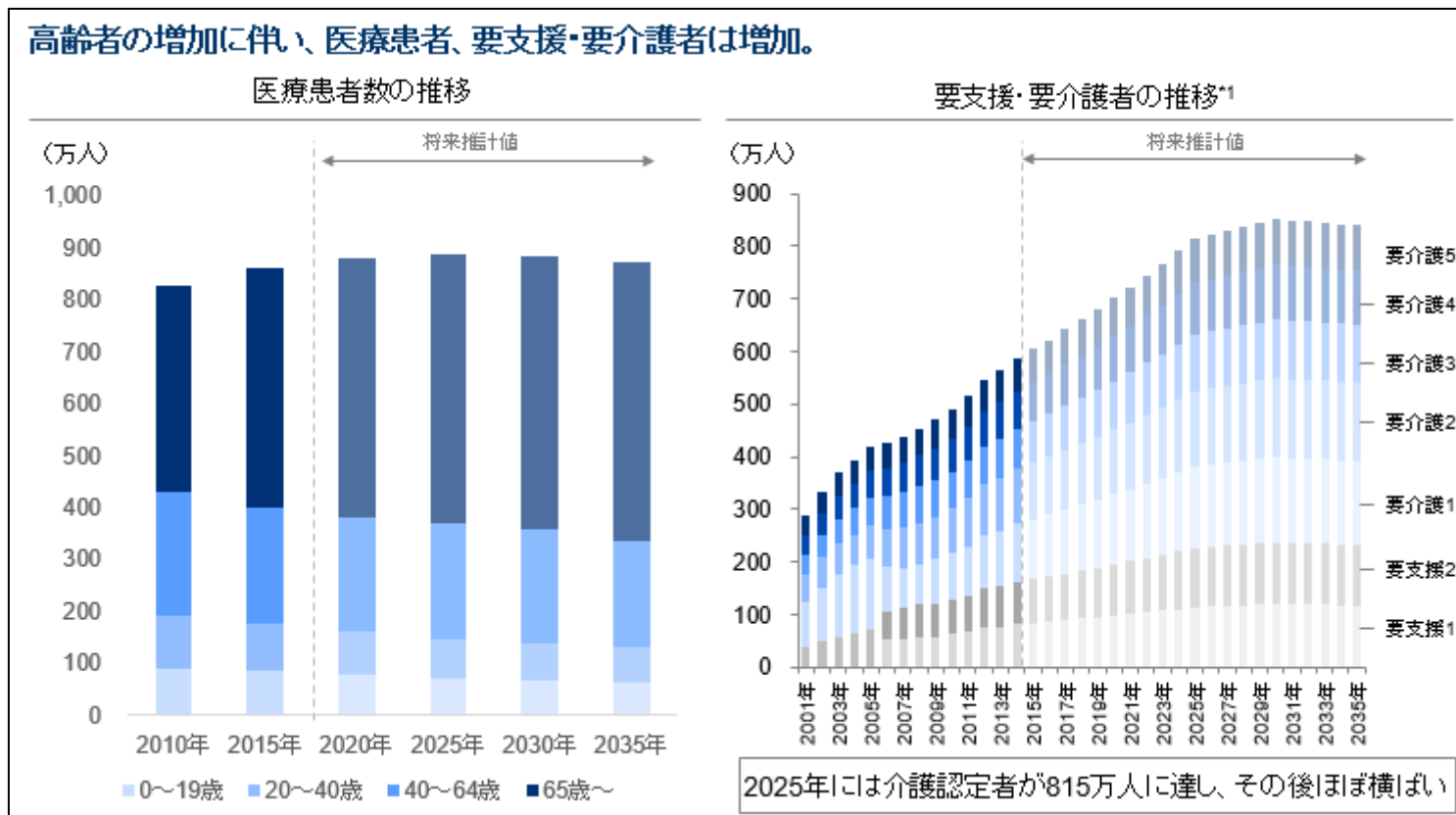
全国及び1都3県65歳以上人口と指数（平成27（2015）年=100）

	65歳以上人口（千人）							指数 2015年=100	
	平成27 2015	令和2 2020	令和7 2025	令和12 2030	令和17 2035	令和22 2040	令和27 2045	令和7 2025	令和22 2040
全国	33,868	36,192	36,771	37,160	37,817	39,206	39,192	108.6	115.8
埼玉県	1,804	1,980	2,034	2,080	2,163	2,298	2,335	112.7	127.3
千葉県	1,611	1,754	1,791	1,819	1,875	1,973	1,989	111.2	122.5
東京都	3,066	3,215	3,272	3,422	3,675	3,996	4,176	106.7	130.4
神奈川県	2,178	2,356	2,424	2,526	2,684	2,868	2,923	111.3	131.7
1都3県計	8,659	9,305	9,520	9,847	10,397	11,135	11,422	109.9	128.6

国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30（2018）年推計）から作成

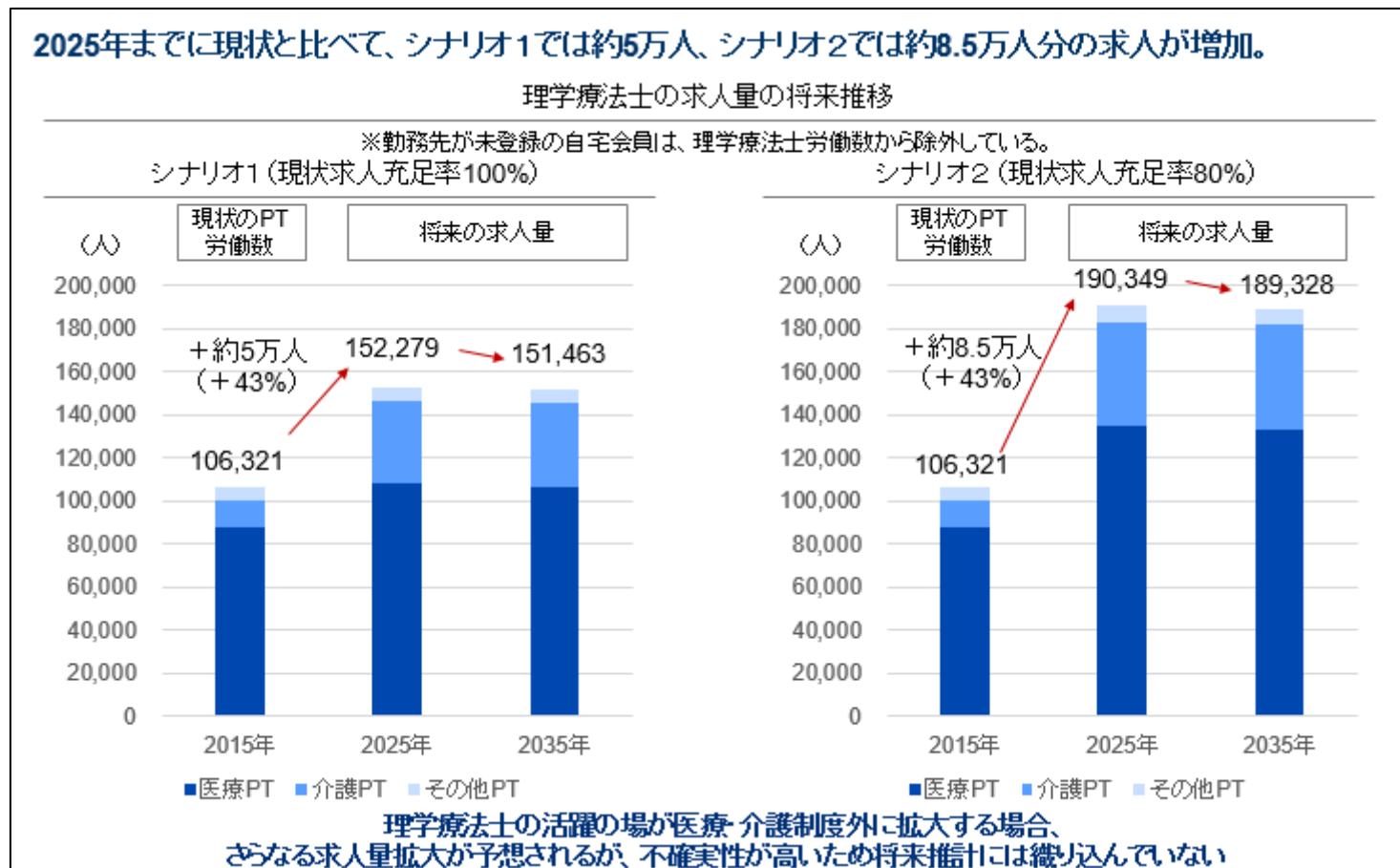
資料14. 理学療法士の需要予測

表 1. 全国の医療患者数、要支援・要介護者数の推計



内閣府「平成 26 年版高齢社会白書」、厚生労働省「介護保険事業状況報告年報」、  
内閣府の介護給付費の見積もり及び 75 歳以上人口増加（75 歳以上は要介護者が増加し始める年齢）から作成

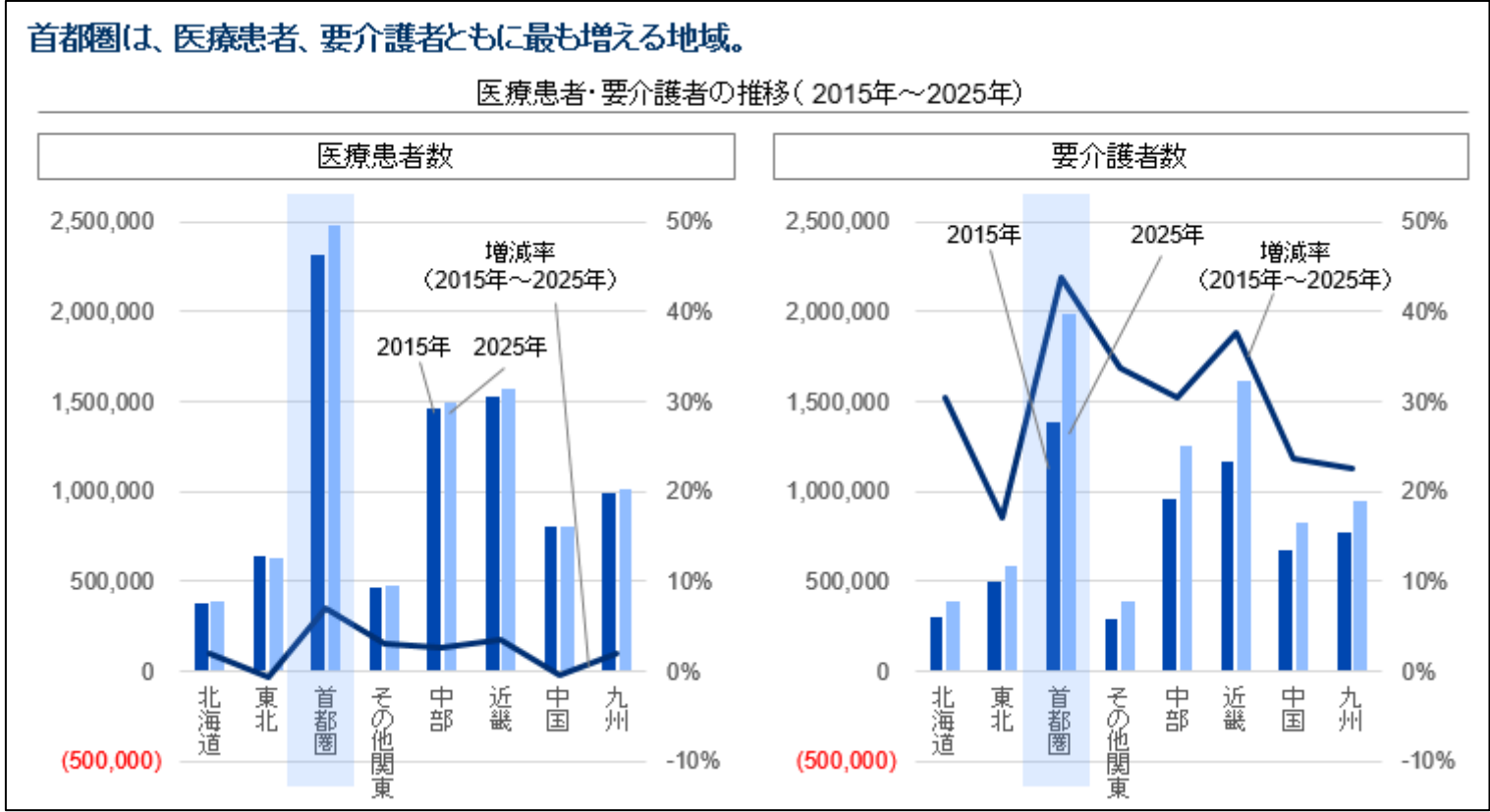
表2. 全国の理学療法士需要予測



厚生労働省「地域医療構想」、厚生労働省「医療施設調査」、理学療法士協会資料、その他パブリックデータから作成

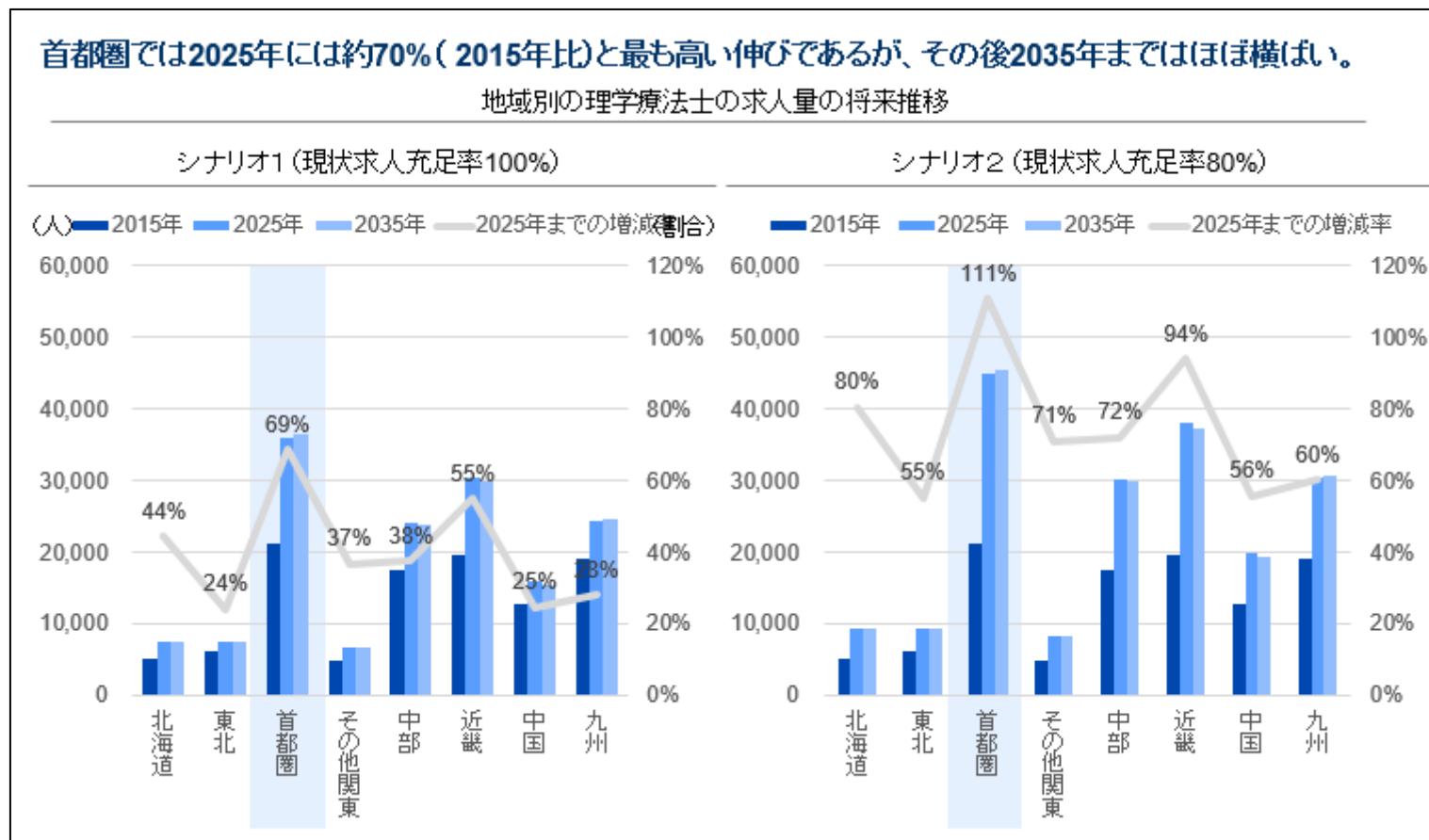


表 3. 地域別の医療患者数、要支援・要介護者数の推計



厚生労働省「患者調査」、厚生労働省「介護保険事業状況報告年報」から作成

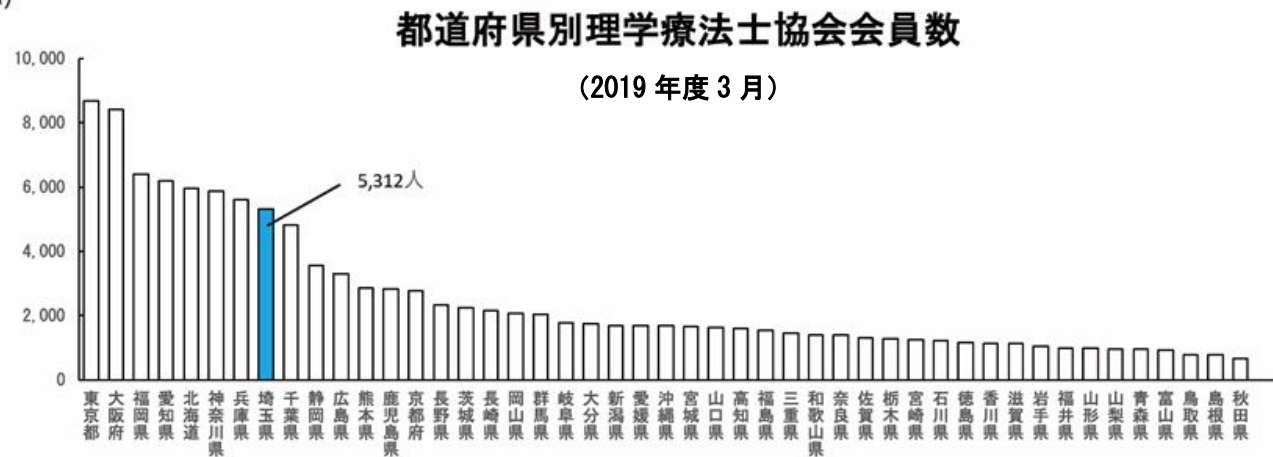
表 4. 首都圏の理学療法士需要予測



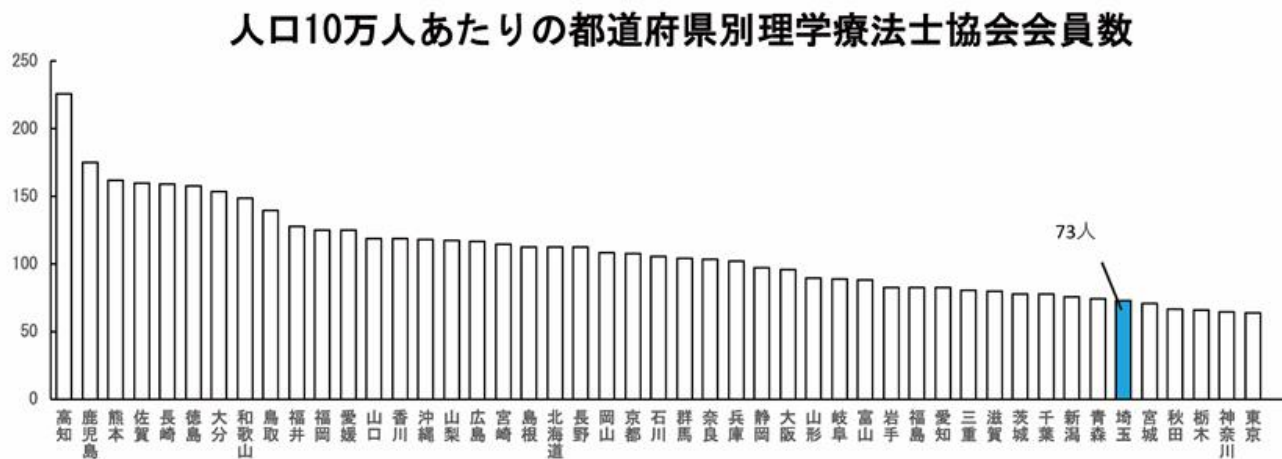
厚生労働省「地域医療構想」、厚生労働省「医療施設調査」、理学療法士協会資料、その他パブリックデータから作成

資料15. 都道府県別の理学療法士協会会員数

(a)



(b)



公益財団法人 日本理学療法士協会「都道府県別会員数」および総務省「平成 29 年都道府県別人口推計」から作成

## 資料16. 高齢化率の見通し（埼玉県地域別）

① （書類等の題名）

学生の確保の見通し等を記載した書類 添付資料  
資料 16. 高齢化率の見通し（埼玉県地域別）

② （出典）

埼玉県

③ （引用範囲）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/koureikeikaku/documents/dai7ki.pdf>

第7次埼玉県高齢者支援計画 5頁

<参照 2019-10-18>

④ （その他の説明）

容易に分かるように、川越比企、全県に黄色の枠を付けた。

## 資料17. 在宅医療等の推計（埼玉県地域別）

### ① （書類等の題名）

学生の確保の見通し等を記載した書類 添付資料  
資料 17. 在宅医療等の推計（埼玉県地域別）

### ② （出典）

埼玉県

### ③ （引用範囲）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/koureikeikaku/documents/dai7ki.pdf>

第7次埼玉県高齢者支援計画 76頁

<参照 2019-10-18>

### ④ （その他の説明）

容易に分かるように、川越比企に矢印を付けた。

## 資料18. 介護サービス量の将来推計（川越比企圏域）

① （書類等の題名）

学生の確保の見通し等を記載した書類 添付資料

資料 18. 介護サービス量の将来推計（川越比企圏域）

② （出典）

埼玉県

③ （引用範囲）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/koureikeikaku/documents/dai7ki.pdf>

第7次埼玉県高齢者支援計画 71頁

<参照 2019-10-18>

④ （その他の説明）

なし。

資料19. 「事業所アンケート調査」調査票

【事業所】

東京国際大学 「医療健康学部 理学療法学科」設置に関するアンケート調査票

東京国際大学では、現代社会の問題を理学療法の視点から捉え、医療・スポーツ分野のみならず、健康増進・介護予防分野においても活躍できる理学療法士を育成することを目的とした「医療健康学部 理学療法学科」の設置に向けて準備を進めております。医療健康学部理学療法学科の詳細は、同封のリーフレットをご覧ください。

このアンケート調査は、貴機関・施設の人材採用意向、開設予定の医療健康学部理学療法学科へのご意見等についてお聞きし、設置計画の基礎資料とするものです。どうか、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。

回答は設問の順に該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

【東京国際大学 「医療健康学部 理学療法学科」の概要】

\*現在計画中であり、学部・学科名称等は正式に決まったものではありません。

\*詳細は同封のリーフレットをご覧ください。

◆設置予定学部学科：医療健康学部 理学療法学科

◆入学定員：80人

◆設置予定時期：2021年4月（令和3年4月）

◆取得可能資格：理学療法士国家試験受験資格

◆設置予定場所（アクセス）：埼玉県川越市の場北1-13-1

（東武東上線霞ヶ関駅南口から徒歩約5分）

◆入学金・授業料等：入学金25万円（初年次）、学費155万円、その他諸経費4万円 合計184万円

※金額は予定であり、変更場合があります。

（貴機関・施設について）

問1 貴機関・施設の所在地はどこですか。次の中から該当するものを**1つだけ**お選びください。 【回答欄】

- |        |             |
|--------|-------------|
| 1 埼玉県  | 5 栃木県       |
| 2 東京都  | 6 茨城県       |
| 3 神奈川県 | 7 千葉県       |
| 4 群馬県  | 8 その他（具体的に） |

問2 貴機関・施設の種別についてお聞きます。次の中から該当するものを**1つだけ**お選びください。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 病院・診療所     | 4 特別養護老人ホーム |
| 2 訪問看護ステーション | 5 その他（具体的に） |
| 3 介護老人保健施設   |             |

（貴機関・施設の理学療法士採用実績・充足状況・採用計画について）

問3 貴機関・施設における過去3ヵ年（2016年度、2017年度、2018年度）の新卒理学療法士採用実績を年度別にご記入ください。

	2016年度 (2017年4月採用)	2017年度 (2018年4月採用)	2018年度 (2019年4月採用)
新卒理学療法士採用者数	人	人	人
( )内は、4年制大学卒業者数で内数	( )人	( )人	( )人

注：採用実績なしの場合は、「0」、不明の場合は「不明」と回答欄にご記入ください

（裏面に続く）

問4 現在の貴機関・施設の理学療法士充足状況についてお聞きします。次の中から該当する番号を**1つだけ**お選びください。

- 1 大きく不足している                      3 充足している  
2 やや不足している                      4 その他

問5 貴機関・施設の2019年度（2020年4月採用）の新卒理学療法士採用計画を実教（予定数）で  
ご記入ください。

	2019年度 (2020年4月採用)
新卒理学療法士採用者数	人
( ) 内は、4年制大学卒業者数で内数	( ) 人

注：採用計画なしの場合は「0」、未定の場合は「未定」と回答欄にご記入ください。

問6 貴機関・施設では、4年制大学を卒業した理学療法士資格所有者の採用にどのようなお考えをお持ち  
ですか。該当する番号を**1つだけ**お選びください。

- 1 採用したい                                      3 採用は考えない  
2 採用を検討したい                              4 その他

【設置計画中の東京国際大学「医療健康学部 理学療法学科」についてお伺いします。  
(アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。)

問7 貴機関・施設では、東京国際大学「医療健康学部 理学療法学科」設置についてどのようなお考えをお  
持ちですか。該当する番号を**1つだけ**お選びください。

- 1 ぜひ設置してほしい                      3 設置してほしくない  
2 どちらかという設置してほしい                      4 その他

問8 貴機関・施設では、東京国際大学「医療健康学部 理学療法学科」を卒業した理学療法士資格所有者の  
採用にどのようなお考えをお持ちですか。該当する番号を**1つだけ**お選びください。

- 1 採用したい                                      3 採用は考えない  
2 採用を検討したい                              4 その他

問9 上記問8で1または2を選択された場合のみ、ご回答ください。  
貴機関・施設では、東京国際大学「医療健康学部 理学療法学科」を卒業した理学療法士資格所有者を  
毎年何人程度採用したいというお考えをお持ちですか。該当する番号を**1つだけ**選んでください。

- 1 1～2人                                      4 7～10人  
2 3～4人                                      5 11人以上  
3 5～6人                                      6 その他

問10 東京国際大学「医療健康学部 理学療法学科」について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせくだ  
さい。

\*\*\* これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*



資料20. 「事業所アンケート調査」リーフレット

東京国際大学 医療健康学部 (仮称)

# 理学療法学科 (仮称)

School of Health Sciences | Department of Physical Therapy

2021年4月  
開設予定  
(設置構想中)

(設置構想中のため、変更になる場合があります)

## 希望の進路が目指せる 3 つの履修モデル

理学療法士は、主に身体に障害を持った人に対し、運動療法等の治療手段を用い基本的運動能力を回復させるための理学療法を行う医療専門職です。大学等の養成校を卒業後、国家試験に合格すると厚生労働大臣より免許を与えられます。近年はプロスポーツチームに所属したり、健康増進や介護予防などの予防分野でも活躍するなど仕事の範囲は拡がりつつあります。

理学療法学科のカリキュラムは、将来の希望する進路に合わせて、専門分野について 3 つの履修モデルを提示します。(他の履修方法も可能です。尚、設置構想中のため、変更になる場合があります)

臨床理学療法 モデル	スポーツ理学療法 モデル	予防理学療法 モデル
<p>理学療法士の活躍の場として多い医療機関において、怪我や病気の方の機能回復に向けたリハビリを支援するために必要な技術を中心に身に付けます。</p> <p>チーム医療の一員として活躍できる理学療法士を目指す実践的なカリキュラムとなっています。</p>  <p><b>卒業後の進路：</b> 一般病院、整形外科クリニック、その他医療機関、等</p>	<p>「スポーツの TIU」としての強みを活かし、スポーツ系学科と連携しながらスポーツリハビリテーションや運動機能の回復等の知識習得に関して重点を置いていきます。</p> <p>また、理学療法士資格に加え、JATI のトレーニング指導者資格も取得可能なカリキュラム構成となっています。</p>  <p><b>卒業後の進路：</b> スポーツ整形系専門病院、スポーツ関連施設、等</p>	<p>これまでは怪我・疾病の「治療」を専門とした理学療法士が主流でしたが、これからの時代は「予防」分野での活躍が期待されています。</p> <p>このコースでは生活における健康増進や怪我の予防についての知識やスキルを身に付けた、新しい時代に対応する理学療法士を育成します。</p>  <p><b>卒業後の進路：</b> 介護施設、訪問医療、自治体、健康関連企業、等</p>

## 安心・充実した臨床実習

埼玉県最大規模の医療グループ等と連携し、安心・充実した臨床実習環境を準備しています。

**TIU は  
ここが違う！**

- 県内を中心に 100 件を超える実習施設と提携
- 臨床実習指導に長けている医療グループと連携
- 県内施設との連携により、実習期間中も密にサポート
- 関東最大級のスポーツリハビリテーション特化施設での実習

## 入学から卒業まで寄りそう手厚いサポート

### 丁寧な 学習支援



卒業後すぐに現場に対応できる力を育成するために、充実した学習支援制度を準備しています。

- 理学療法学科教員毎のオフィスアワー設定
- 教員がサポートする少人数クラスで学習
- 学習管理システムによる主体的な学びを支援する体制、等

### 合格に直結する 国家試験対策



国家試験の合格をより確実なものにするために、教員が一丸となってサポートします。

- 各分野の教員が担当する国家試験対策授業
- 複数の模擬試験と必要に応じた特別補習
- 全国の他大生と知識習得状況を比較できる共用試験を導入
- 自習に活用可能なeラーニングプログラムの導入、等

### 手厚い 就職支援



学生一人ひとりの未来への可能性を広げるために、キャリアセンターで蓄積されたノウハウに基づいた「面倒見の良い」サポートを行います。

- 専門コンサルタントが常駐する「就職支援デスク」
- 医療機関等との独自ネットワークを活かした求人情報提供
- 就職活動前のセミナー実施、等

## 世界で活躍できる理学療法士を育成

日本における外国人人口は増加し続け、医療従事者にも英語スキルが求められる時代になっています。また、日本出身の理学療法士の海外での活躍も期待されます。「英語力の TIU」では徹底的な教育で真のグローバル理学療法士を育成します。



TIUは  
ここが違う！

- 約 50 名の専任ネイティブ教員が実践するアメリカ直輸入の英語教育
- 卒業生の 8 人に 1 人が留学を経験、多彩な留学制度
- ネイティブ教員や留学生スタッフが常駐し、学科を問わず英会話の練習や学習アドバイスを受けることができる English PLAZA



## 学科の概要

- ◻ **開設時期**：2021年4月
- ◻ **入学定員**：80名
- ◻ **取得できる資格**：理学療法士国家試験受験資格 のほか  
JATIトレーニング指導者 障がい者スポーツ指導員初級  
福祉住環境コーディネーター その他

## 東京国際大学について

グローバル  
教育に強い！

THE 世界大学ランキング日本版 2019  
「国際性」分野：全国 5 位



スポーツが  
すごい！

第95回箱根駅伝：総合 15 位（2年連続、3度目出場）  
サッカー部：5年連続7度目**天皇杯出場**  
ウエイトリフティング部：インカレ（1部）日本新記録樹立  
他多数

高い  
就職力！

日経キャリアマガジン特別編集「価値ある大学 2019 版」日経 HR  
「企業人事担当者から見た大学のイメージ調査」  
側面別ランキング「行動力」：全国 3 位

## ACCESS INFORMATION



<お問合せ先> 入学センター 〒350-1197 埼玉県川越市的場北 1-13-1 049-232-1116

資料21. 「事業所アンケート調査」調査結果

東京国際大学における医療健康学部理学療法学科の設置に係る  
事業所アンケート調査 調査結果報告書

令和2年2月

一般財団法人 日本開発構想研究所

## 目 次

1. アンケート調査の概要	1
1. 1. 調査目的	1
1. 2. 調査対象	1
1. 3. 実施時期	1
1. 4. 調査票回収状況	1
2. 調査結果要旨	2
3. アンケート調査結果	4
3. 1. 単純集計	4
3. 2. クロス集計	19
3. 3. 自由回答	20
4. アンケート調査票	23

## **1. アンケート調査の概要**

### **1. 1. 調査目的**

東京国際大学が令和3年4月に開設を予定している医療健康学部理学療法学科に関して、事業所が期待する教育内容、採用意向等を的確に把握することを調査目的とする。

### **1. 2. 調査対象**

埼玉県、東京都、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、神奈川県の間東地方一都六県に所在する病院・診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、特別養護老人ホームを中心に、合計558事業所を対象にアンケート調査を実施した。

### **1. 3. 実施時期**

令和元年12月から令和2年2月にかけて調査を実施した。

### **1. 4. 調査票回収状況**

本調査では、埼玉県、東京都、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、神奈川県の間東地方一都六県に所在する病院・診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、特別養護老人ホームを中心に、合計558事業所に対して合計558票（1事業所につき1票）のアンケート調査票を配布した。その結果、233事業所から合計233票の有効回答票を回収することができた。回収率は、41.76%であった。

## 2. 調査結果要旨

### (事業所の所在地：問1)

○回答事業所の「所在地」については、「東京都」が全体の32.6%を占め最も多かった。

### (事業所の種別：問2)

○回答事業所の「種別」については、「病院・診療所」が全体の83.3%を占め最も多かった。

### (事業所における過去3年間の新卒理学療法士採用実績：問3)

○回答事業所の「2016年度の新卒理学療法士採用数」については、「0人」が全体の32.3%を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の14.3%を占め、2番目に多かった。

○回答事業所の「2016年度の新卒理学療法士採用数(うち4年制大学卒業者数)」については、「0人」が全体の33.5%を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の23.1%を占め、2番目に多かった。

○回答事業所の「2017年度の新卒理学療法士採用数」については、「0人」が全体の32.9%を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の18.2%を占め、2番目に多かった。

○回答事業所の「2017年度の新卒理学療法士採用数(うち4年制大学卒業者数)」については、「0人」が全体の33.5%を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の23.9%を占め、2番目に多かった。

○回答事業所の「2018年度の新卒理学療法士採用数」については、「0人」が全体の26.9%を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の19.8%を占め、2番目に多かった。

○回答事業所の「2018年度の新卒理学療法士採用数(うち4年制大学卒業者数)」については、「0人」が全体の34.1%を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の21.8%を占め、2番目に多かった。

### (事業所における理学療法士充足状況：問4)

○回答事業所の「理学療法士充足状況」については、「やや不足している」との回答が全体の56.7%を占め最も多かった。

### (事業所における2019年度の新卒理学療法士採用予定数〔2020年4月採用〕：問5)

○回答事業所の「2019年度の新卒理学療法士採用予定数〔2020年4月採用〕」については、「0人」が全体の24.3%を占め最も多かった。次いで「2人」が全体の15.0%を占め、2番目に多かった。

○回答事業所の「2019年度の新卒理学療法士採用予定数(うち4年制大学卒業者数)〔2020年4月採用〕」については、「2人」が全体の21.6%を占め最も多かった。次いで「0人」が全体の20.9%を占め、2番目に多かった。



(4年制大学卒業の理学療法士資格所有者に対する採用意向：問6)

○回答事業所の「4年制大学卒業の理学療法士資格所有者に対する採用意向」については、「採用したい」が全体の56.7%を占め最も多かった。

(東京国際大学 医療健康学部理学療法学科設置に対する考え：問7)

○回答事業所の「東京国際大学 医療健康学部理学療法学科設置に対する考え」については、「ぜひ設置してほしい」と「どちらかという設置してほしい」がそれぞれ全体の36.2%を占めた。

(東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用意向：問8)

○回答事業所の「東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用意向」については、「採用したい」が64事業所(27.5%)、「採用を検討したい」が120事業所(51.5%)、「採用は考えない」が8事業所(3.4%)、「その他」が41事業所(17.6%)、となった。

回答事業所の「東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用意向」については、入学定員80名に照らせば、「採用したい」(64事業所)のみで入学定員の0.8倍の実数が得られた。

(東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用想定人数：問9)

○回答事業所の「東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用想定人数」については、「1~2人」と回答した事業所が全体の56.3%を占め最も多かった。

### 3. アンケート調査結果

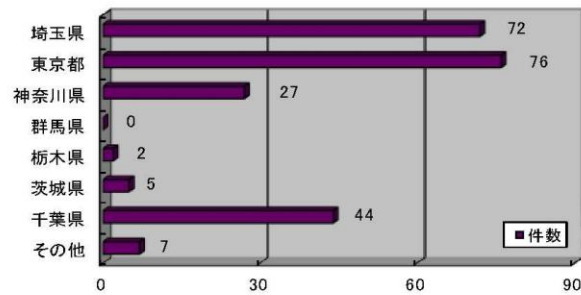
#### 3. 1. 単純集計

##### 問1：事業所の所在地

回答事業所の「所在地」について伺ったところ、「東京都」が76事業所（32.6%）と最も多く、次いで「埼玉県」が72事業所（30.9%）、「千葉県」が44事業所（18.9%）、「神奈川県」が27事業所（11.6%）、「その他」が7事業所（3.0%）、と続いている。

「事業所の所在地」については、「東京都」と「埼玉県」が多く、それぞれ全体の約3割強を占めている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	埼玉県	72	30.9	30.9
2	東京都	76	32.6	32.6
3	神奈川県	27	11.6	11.6
4	群馬県	0	0.0	0.0
5	栃木県	2	0.9	0.9
6	茨城県	5	2.1	2.1
7	千葉県	44	18.9	18.9
8	その他	7	3.0	3.0
	不明	0	0.0	
	サンプル数（%ベース）	233	100.0	100.0

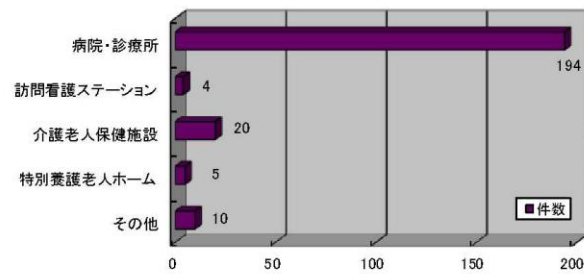


## 問2：事業所の種別

回答事業所の「種別」について伺ったところ、「病院・診療所」が194事業所（83.3%）と最も多く、次いで「介護老人保健施設」が20事業所（8.6%）、「その他」が10事業所（4.3%）、「特別養護老人ホーム」が5事業所（2.1%）、「訪問看護ステーション」が4事業所（1.7%）、と続いている。

回答事業所の「種別」については、「病院・診療所」が最も多く、全体の8割強を占めている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	病院・診療所	194	83.3	83.3
2	訪問看護ステーション	4	1.7	1.7
3	介護老人保健施設	20	8.6	8.6
4	特別養護老人ホーム	5	2.1	2.1
5	その他	10	4.3	4.3
	不明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0

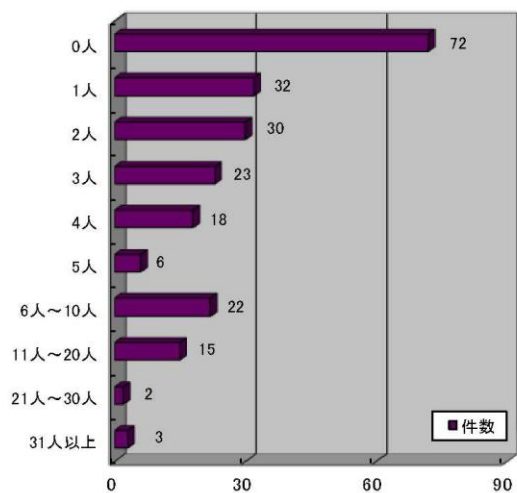


**問3：2016年度 新卒理学療法士採用数**

回答事業所に「2016年度の新卒理学療法士採用数」について伺ったところ、「0人」が72事業所（32.3%）と最も多く、次いで「1人」が32事業所（14.3%）、「2人」が30事業所（13.5%）、「3人」が23事業所（10.3%）、と続いている。

回答事業所の「2016年度の新卒理学療法士採用数」については、「0人」が全体の3割強を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の1割強を占め、2番目に多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	72	30.9	32.3
2	1人	32	13.7	14.3
3	2人	30	12.9	13.5
4	3人	23	9.9	10.3
5	4人	18	7.7	8.1
6	5人	6	2.6	2.7
7	6人～10人	22	9.4	9.9
8	11人～20人	15	6.4	6.7
9	21人～30人	2	0.9	0.9
10	31人以上	3	1.3	1.3
	不明	10	4.3	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0

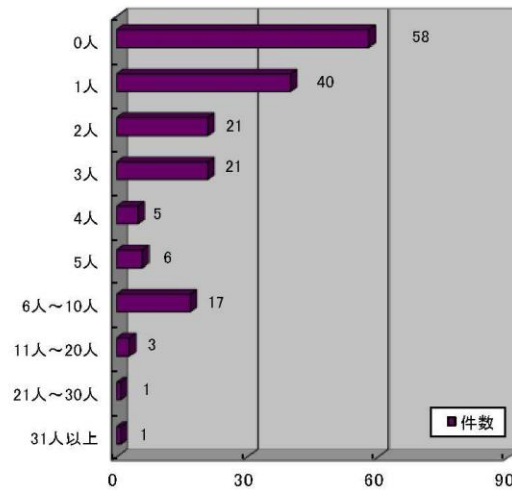


**問3：2016年度 新卒理学療法士採用数（うち4年制大学卒業生数）**

回答事業所に「2016年度の新卒理学療法士採用数（うち4年制大学卒業生数）」について伺ったところ、「0人」が58事業所（33.5%）と最も多く、次いで「1人」が40事業所（23.1%）、「2人」と「3人」が21事業所（12.1%）、「6人～10人」が17事業所（9.8%）、と続いている。

回答事業所の「2016年度の新卒理学療法士採用数（うち4年制大学卒業生数）」については、「0人」が全体の3割強を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の2割強を占め、2番目に多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	58	24.9	33.5
2	1人	40	17.2	23.1
3	2人	21	9.0	12.1
4	3人	21	9.0	12.1
5	4人	5	2.1	2.9
6	5人	6	2.6	3.5
7	6人～10人	17	7.3	9.8
8	11人～20人	3	1.3	1.7
9	21人～30人	1	0.4	0.6
10	31人以上	1	0.4	0.6
	不明	60	25.8	
	サンプル数（%ベース）	233	100.0	100.0

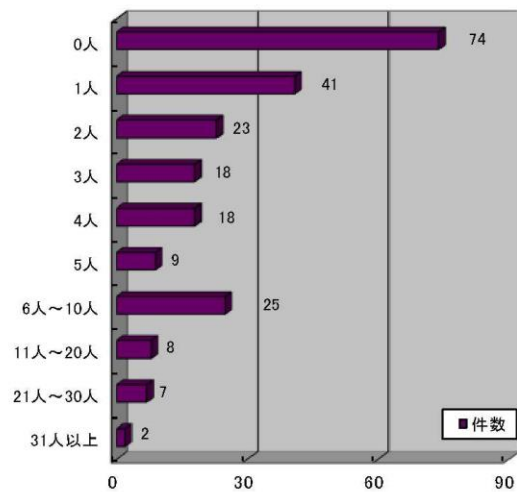


**問3：2017年度 新卒理学療法士採用数**

回答事業所に「2017年度の新卒理学療法士採用数」について伺ったところ、「0人」が74事業所（32.9%）と最も多く、次いで「1人」が41事業所（18.2%）、「6人～10人」が25事業所（11.1%）、「2人」が23事業所（10.2%）、と続いている。

回答事業所の「2017年度の新卒理学療法士採用数」については、「0人」が全体の3割強を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の2割弱を占め、2番目に多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	74	31.8	32.9
2	1人	41	17.6	18.2
3	2人	23	9.9	10.2
4	3人	18	7.7	8.0
5	4人	18	7.7	8.0
6	5人	9	3.9	4.0
7	6人～10人	25	10.7	11.1
8	11人～20人	8	3.4	3.6
9	21人～30人	7	3.0	3.1
10	31人以上	2	0.9	0.9
	不明	8	3.4	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0

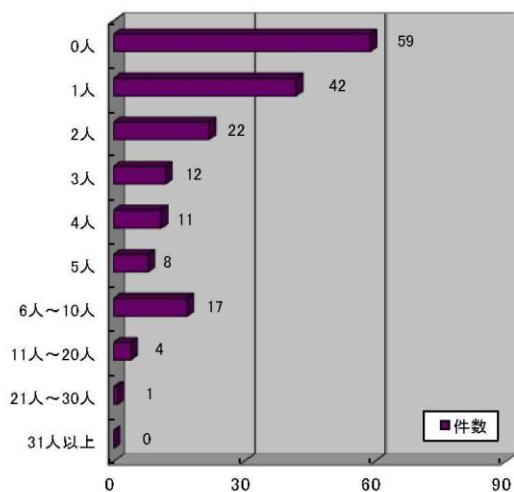


**問3：2017年度 新卒理学療法士採用数（うち4年制大学卒業者数）**

回答事業所に「2017年度の新卒理学療法士採用数（うち4年制大学卒業者数）」について伺ったところ、「0人」が59事業所（33.5%）と最も多く、次いで「1人」が42事業所（23.9%）、「2人」が22事業所（12.5%）、「6人～10人」が17事業所（9.7%）、と続いている。

回答事業所の「2017年度の新卒理学療法士採用数（うち4年制大学卒業者数）」については、「0人」が全体の3割強を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の2割強を占め、2番目に多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	59	25.3	33.5
2	1人	42	18.0	23.9
3	2人	22	9.4	12.5
4	3人	12	5.2	6.8
5	4人	11	4.7	6.3
6	5人	8	3.4	4.5
7	6人～10人	17	7.3	9.7
8	11人～20人	4	1.7	2.3
9	21人～30人	1	0.4	0.6
10	31人以上	0	0.0	0.0
	不明	57	24.5	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0

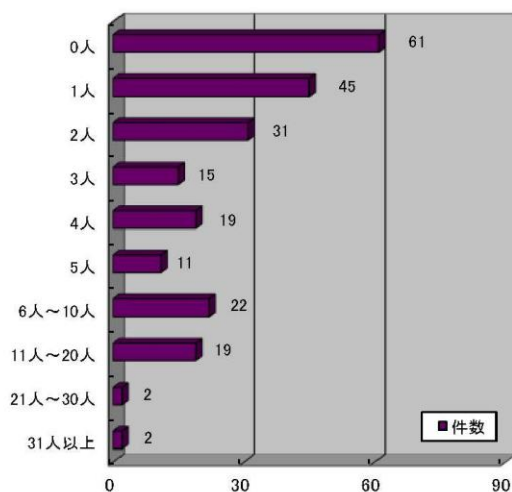


### 問3：2018年度 新卒理学療法士採用数

回答事業所に「2018年度の新卒理学療法士採用数」について伺ったところ、「0人」が61事業所（26.9%）と最も多く、次いで「1人」が45事業所（19.8%）、「2人」が31事業所（13.7%）、「6人～10人」が22事業所（9.7%）、と続いている。

回答事業所の「2018年度の新卒理学療法士採用数」については、「0人」が全体の3割弱を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の2割弱を占め、2番目に多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	61	26.2	26.9
2	1人	45	19.3	19.8
3	2人	31	13.3	13.7
4	3人	15	6.4	6.6
5	4人	19	8.2	8.4
6	5人	11	4.7	4.8
7	6人～10人	22	9.4	9.7
8	11人～20人	19	8.2	8.4
9	21人～30人	2	0.9	0.9
10	31人以上	2	0.9	0.9
	不明	6	2.6	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0



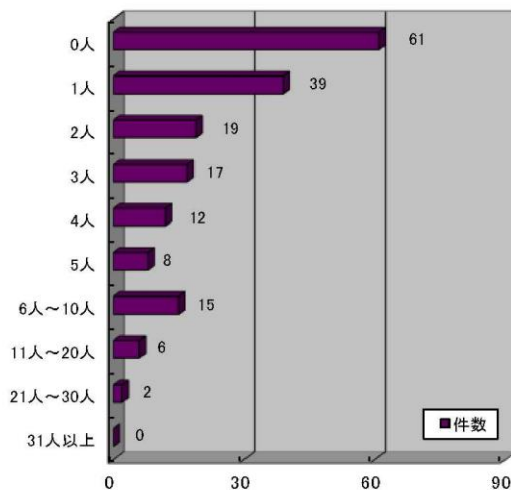


**問3：2018年度 新卒理学療法士採用数（うち4年制大学卒業者数）**

回答事業所に「2018年度の新卒理学療法士採用数（うち4年制大学卒業者数）」について伺ったところ、「0人」が61事業所（34.1%）と最も多く、次いで「1人」が39事業所（21.8%）、「2人」が19事業所（10.6%）、「3人」が17事業所（9.5%）、と続いている。

回答事業所の「2018年度の新卒理学療法士採用数（うち4年制大学卒業者数）」については、「0人」が全体の3割強を占め最も多かった。次いで「1人」が全体の2割強を占め、2番目に多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	61	26.2	34.1
2	1人	39	16.7	21.8
3	2人	19	8.2	10.6
4	3人	17	7.3	9.5
5	4人	12	5.2	6.7
6	5人	8	3.4	4.5
7	6人～10人	15	6.4	8.4
8	11人～20人	6	2.6	3.4
9	21人～30人	2	0.9	1.1
10	31人以上	0	0.0	0.0
	不明	54	23.2	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0

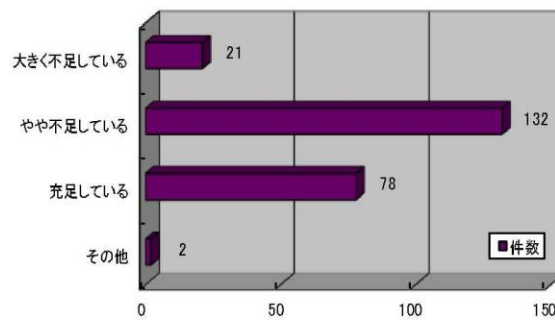


#### 問4：事業所における理学療法士充足状況

回答事業所に「理学療法士充足状況」について伺ったところ、「大きく不足している」が21事業所（9.0%）、「やや不足している」が132事業所（56.7%）、「充足している」が78事業所（33.5%）、「その他」が2事業所（0.9%）となった。

回答事業所の「理学療法士充足状況」については、「やや不足している」が最も多く、全体の約6割弱を占めている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	大きく不足している	21	9.0	9.0
2	やや不足している	132	56.7	56.7
3	充足している	78	33.5	33.5
4	その他	2	0.9	0.9
	不明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0

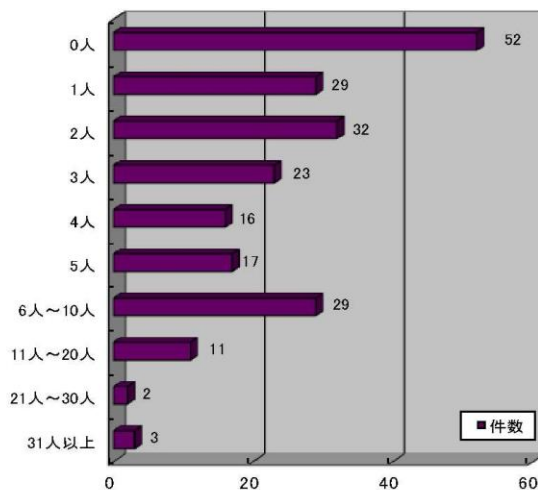


**問5：2019年度 新卒理学療法士採用予定数【2020年4月採用】**

回答事業所に「2019年度の新卒理学療法士採用予定数」[2020年4月採用]について伺ったところ、「0人」が52事業所(24.3%)と最も多く、次いで「2人」が32事業所(15.0%)、「1人」が29事業所(13.6%)、「6人～10人」が29事業所(13.6%)、と続いている。

回答事業所の「2019年度の新卒理学療法士採用予定数」[2020年4月採用]については、「0人」が全体の2割強を占め最も多かった。次いで「2人」が全体の2割弱を占め、2番目に多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	52	22.3	24.3
2	1人	29	12.4	13.6
3	2人	32	13.7	15.0
4	3人	23	9.9	10.7
5	4人	16	6.9	7.5
6	5人	17	7.3	7.9
7	6人～10人	29	12.4	13.6
8	11人～20人	11	4.7	5.1
9	21人～30人	2	0.9	0.9
10	31人以上	3	1.3	1.4
	不明	19	8.2	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0

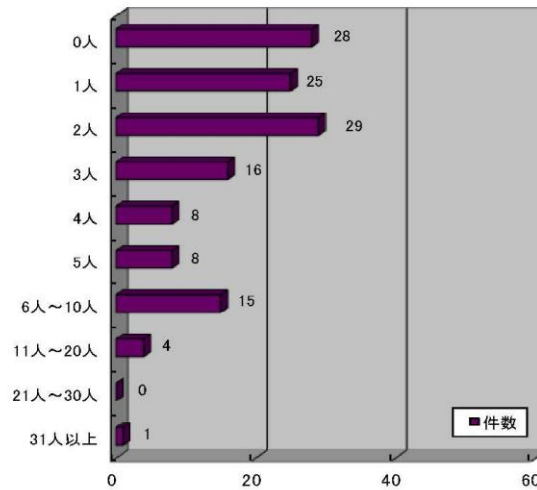


**問5：2019年度 新卒理学療法士採用予定数（うち4年制大学卒業者数）〔2020年4月採用〕**

回答事業所に「2019年度の新卒理学療法士採用予定数（うち4年制大学卒業者数）〔2020年4月採用〕」について伺ったところ、「2人」が29事業所（21.6%）と最も多く、次いで「0人」が28事業所（20.9%）、「1人」が25事業所（18.7%）、「3人」が16事業所（11.9%）、と続いている。

回答事業所の「2019年度の新卒理学療法士採用予定数（うち4年制大学卒業者数）〔2020年4月採用〕」については、「2人」と「0人」がそれぞれ全体の2割強を占めるに至った。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	28	12.0	20.9
2	1人	25	10.7	18.7
3	2人	29	12.4	21.6
4	3人	16	6.9	11.9
5	4人	8	3.4	6.0
6	5人	8	3.4	6.0
7	6人～10人	15	6.4	11.2
8	11人～20人	4	1.7	3.0
9	21人～30人	0	0.0	0.0
10	31人以上	1	0.4	0.7
	不明	99	42.5	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0

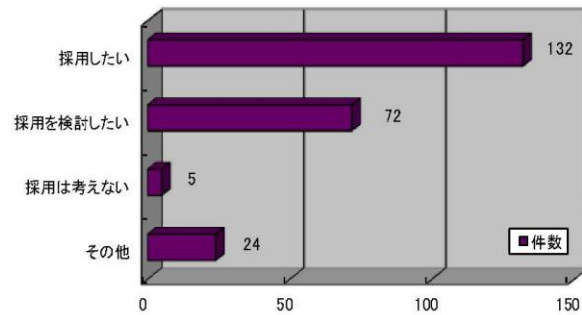


#### 問6：4年制大学卒業の理学療法士資格所有者に対する採用意向

回答事業所に「4年制大学卒業の理学療法士資格所有者に対する採用意向」について伺ったところ、「採用したい」が132事業所(56.7%)、「採用を検討したい」が72事業所(30.9%)、「採用は考えない」が5事業所(2.1%)、「その他」が24事業所(10.3%)となった。

回答事業所の「4年制大学卒業の理学療法士資格所有者に対する採用意向」については、「採用したい」が最も多く、全体の6割弱を占めている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	採用したい	132	56.7	56.7
2	採用を検討したい	72	30.9	30.9
3	採用は考えない	5	2.1	2.1
4	その他	24	10.3	10.3
	不明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0

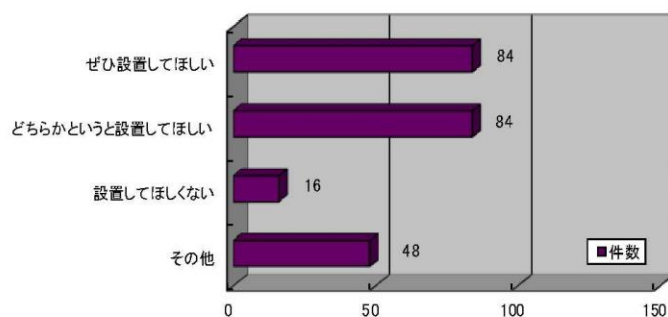


**問7：東京国際大学 医療健康学部理学療法学科設置に対する考え**

回答事業所に「東京国際大学 医療健康学部理学療法学科設置に対する考え」について伺ったところ、「ぜひ設置してほしい」と「どちらかという設置してほしい」がそれぞれ84事業所（36.2%）、「設置してほしくない」が16事業所（6.9%）、「その他」が48事業所（20.7%）となった。

回答事業所の「東京国際大学 医療健康学部理学療法学科設置に対する考え」については、「ぜひ設置してほしい」と「どちらかという設置してほしい」の合計が、全体の7割強を占めている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	ぜひ設置してほしい	84	36.1	36.2
2	どちらかという設置してほしい	84	36.1	36.2
3	設置してほしくない	16	6.9	6.9
4	その他	48	20.6	20.7
	不明	1	0.4	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0

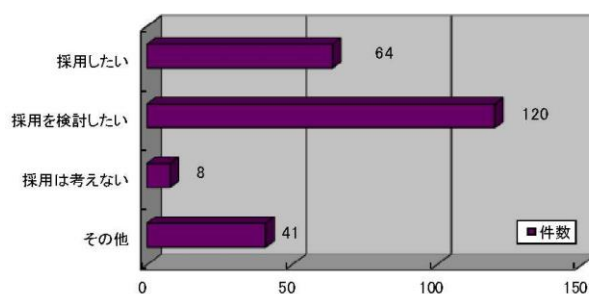


**問 8：東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用意向**

回答事業所に「東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用意向」について伺ったところ、「採用したい」が64事業所（27.5%）、「採用を検討したい」が120事業所（51.5%）、「採用は考えない」が8事業所（3.4%）、「その他」が41事業所（17.6%）となった。

回答事業所の「東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用意向」については、入学定員80名に照らせば、「採用したい」（64事業所）のみで入学定員の0.8倍の実数が得られた。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	採用したい	64	27.5	27.5
2	採用を検討したい	120	51.5	51.5
3	採用は考えない	8	3.4	3.4
4	その他	41	17.6	17.6
	不明	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0

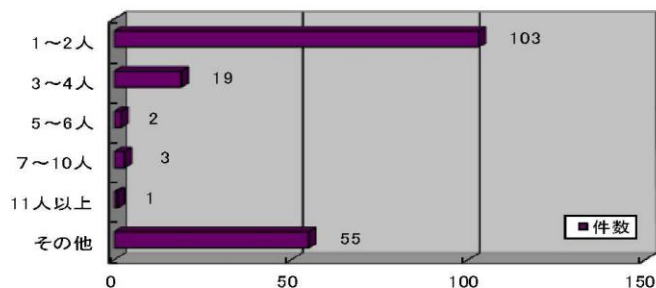


**問9：東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用想定人数**

回答事業所に「東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用想定人数」について伺ったところ、「1～2人」が103事業所（56.3%）と最も多く、次いで「その他」が55事業所（30.1%）、「3～4人」が19事業所（10.4%）、「7～10人」が3事業所（1.6%）、「5～6人」が2事業所（1.1%）、「11人以上」が1事業所（0.5%）と続いている。

回答事業所の「東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用想定人数」については、「1～2人」が全体の約6割弱を占め、最も多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)	(非該当と不明を除く)%
1	1～2人	103	44.2	56.0	56.3
2	3～4人	19	8.2	10.3	10.4
3	5～6人	2	0.9	1.1	1.1
4	7～10人	3	1.3	1.6	1.6
5	11人以上	1	0.4	0.5	0.5
6	その他	55	23.6	29.9	30.1
	不明	1	0.4	0.5	
	非該当	49	21.0		
	サンプル数 (%ベース)	233	100.0	100.0	100.0





3. 2. クロス集計

問9 東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用  
 想定人数 × 問8 東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者  
 に対する採用意向

上段:度数 下段:%	問9 東京国際大学 医療健康学部理学療法学科卒業の理学療法士資格所有者に対する採用想定人数							
	合計	1~2人	3~4人	5~6人	7~10人	11人以上	その他	不明
全体	184 100.0	103 56.0	19 10.3	2 1.1	3 1.6	1 0.5	55 29.9	1 0.5
問8 東京国際大学 医療健康学部理学 療法学科卒業の理 学療法士資格所有 者に対する採用意 向	64 100.0	39 60.9	12 18.8	1 1.6	2 3.1	1 1.6	9 14.1	-
採用したい	120 100.0	64 53.3	7 5.8	1 0.8	1 0.8	-	46 38.3	1 0.8
採用を検討したい	-	-	-	-	-	-	-	-
採用は考えない	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-

### 3. 3. 自由回答

本調査においては、問 10 で自由回答方式の設問を設け、回答事業所の東京国際大学 医療健康学部理学療法学科に対する全般的な感想・印象を聞いている。その結果、全回答 233 事業所のうち記述回答欄に回答が見られたのは 40 事業所となった。この 40 事業所の記述内容は次頁 21 頁～22 頁の通りである。

◎自由回答（問 10）の記述内容一覧

No	問2 機関・施設の種類別	問10 東京国際大学 医療健康学部 理学療法学科についてご意見等
4	病院・診療所	アンケートの数字は本院（附属病院）のみのものです。本学は東京・千葉に4機関あります。
9	病院・診療所	問7、9については現状では何とも言えません。
12	病院・診療所	頭でっかちになりすぎず、患者目線になった療法士育成をお願いします。2021年新病院移転予定あり増員の予定です。パート先病院でもPT不足しているようです。
13	病院・診療所	就職説明会があれば参加させて頂きたいです。
20	病院・診療所	是非OTとSTについて、検討していただけないでしょうか？さらなる採用を検討させて頂きたいです。
27	訪問看護ステーション	訪問で自宅をおうかがいして、1人でリハビリテーションを提供することになる為、サービスの質を考慮し、新年採用は見送っております。卒業生で訪問を希望されている方がいらっしゃいましたらぜひご紹介下さい。
28	病院・診療所	優秀な理学療法士を育成して下さい。
29	病院・診療所	実習の受け入れは困難。
35	病院・診療所	4年制大学かどうかは採用に関係ないと思っています。患者様に興味があり、やる気を大事にしたい。
37	病院・診療所	採用や実習にはご協力できません。
42	その他	当施設の採用に関しては、同グループの病院と一緒にしています。
49	病院・診療所	学校・学部の多いPTより、OT・STの増加を望みます。
56	介護老人保健施設	セラピストが充足している場合は毎年必ず採用とはなりません。
61	訪問看護ステーション	今以上PT・OTの学校が増えるのは問題と思います。
67	介護老人保健施設	今後の介護人材の不足を含めて、予防的観点や介護分野への理解が促進されるような教育があるとうれしいです。
68	その他	学生の質がどんどん落ちている印象。これ以上、数だけが増えていくのは…。
72	介護老人保健施設	PTは社会的に不足していると考えているのですか？地方で開設するなら、地方は嬉しいでしょうけどね。
82	病院・診療所	スポーツ分野で活躍できるPTを育成していただけると助かります。
88	病院・診療所	少子化にあたり、養成校が多すぎるぐらいに感じてます。
96	病院・診療所	今後も新卒者採用を行う予定です、ご縁がございましたら、是非よろしく願い致します。
116	病院・診療所	リハビリ業界で活躍できる人材を育てて頂きたい。
120	病院・診療所	学力の高い方を是非、養成頂ければと思います。
136	病院・診療所	各大学の特色はあるかと思いますが、大学の飽和状態については、業界として考えるべきだと思います。
139	病院・診療所	もう学校はいらないと思います。
140	病院・診療所	他校の卒業生も多く採用したいと考えてますが、付属の理学療法学科があるため、付度が働き、自分の施設学科の卒業生が多くなってしまっています。
147	病院・診療所	大学院に関して設置予定はありますか。
153	病院・診療所	理学療法士養成校がたくさんある中で、特徴を持った貴校のやり方に興味があります。ぜひ頑張ってください。

No	問2 機関・施設の種別	問10 東京国際大学 医療健康学部 理学療法学科についてご意見等
160	病院・診療所	当院には病院内にデイケアが併設されている他、スポーツジムも併設されており、トレーナーとコミュニケーションしながら取り組んでいます。ぜひ一度見学に来ていただければと思います。
163	病院・診療所	是非、就職して下さい。
164	病院・診療所	当院の現状としてはPTよりもOT・STの育成をお願いしたい。
171	病院・診療所	社会的にPTは、もうあまっています。税金を使ってまで養成校を作る必要はありません。
172	病院・診療所	当院では採用権限がなく、国立病院機構としての採用となります。組織として、理学療法士は不足傾向にあります。
174	病院・診療所	現在、国内のPTは、飽和状態と認識しています。今後5年10年先を考えた場合、人員の試算はとても困難です。
180	病院・診療所	患者さまの力になれる理学療法士を育成して下さい。
183	病院・診療所	養成校が増えすぎ、まもなく需給バランスが崩れます。
185	病院・診療所	採用に関しては年度によって異なります。まずは実習に来ていただければと思います。
192	病院・診療所	学費が高い。
208	病院・診療所	現状で理学療法士は充足していると思われます。更に新設することのメリットが少ないように思うのですが。
220	病院・診療所	理学療法士養成校は飽和状態と考えており、新たにできるかもしれない事に驚いています。特色を打ち出して強みを作る必要があるのでは。
226	病院・診療所	OTもあるといいと思います。

4. アンケート調査票

〔事業所〕

東京国際大学 「医療健康学部 理学療法学科」 設置に関するアンケート調査票

東京国際大学では、現代社会の問題を理学療法士の視点から捉え、医療・スポーツ分野のみならず、健康増進・介護予防分野においても活躍できる理学療法士を育成することを目的とした「医療健康学部 理学療法学科」の設置に向けて準備を進めております。医療健康学部理学療法学科の詳細は、同封のリーフレットをご覧ください。

このアンケート調査は、貴機関・施設の人材採用意向、開設予定の医療健康学部理学療法学科へのご意見等についてお聞きし、設置計画の基礎資料とするものです。どうか、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。

回答は設問の順に該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

【東京国際大学 「医療健康学部 理学療法学科」の概要】

\*現在計画中であり、学部・学科名称等は正式に決まったものではありません。

\*詳細は同封のリーフレットをご覧ください。

◆設置予定学部学科：医療健康学部 理学療法学科

◆入学定員：80人

◆設置予定時期：2021年4月（令和3年4月）

◆取得可能資格：理学療法士国家試験受験資格

◆設置予定場所（アクセス）：埼玉県川越市の場北1-13-1

（東武東上線霞ヶ関駅南口から徒歩約5分）

◆入学金・授業料等：入学金25万円（初年次）、学費155万円、その他諸経費4万円 合計184万円

※金額は予定であり、変更場合があります。

（貴機関・施設について）

問1 貴機関・施設の所在地はどこですか。次の中から該当するものを1つだけお選びください。 【回答欄】

- |        |             |
|--------|-------------|
| 1 埼玉県  | 5 栃木県       |
| 2 東京都  | 6 茨城県       |
| 3 神奈川県 | 7 千葉県       |
| 4 群馬県  | 8 その他（具体的に） |

問2 貴機関・施設の種別についてお聞きします。次の中から該当するものを1つだけお選びください。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 病院・診療所     | 4 特別養護老人ホーム |
| 2 訪問看護ステーション | 5 その他（具体的に） |
| 3 介護老人保健施設   |             |

（貴機関・施設の理学療法士採用実績・充足状況・採用計画について）

問3 貴機関・施設における過去3カ年（2016年度、2017年度、2018年度）の新卒理学療法士採用実績を年度別にご記入ください。

	2016年度 (2017年4月採用)	2017年度 (2018年4月採用)	2018年度 (2019年4月採用)
新卒理学療法士採用者数	人	人	人
( )内は、4年制大学卒業者数で内数	( )人	( )人	( )人

注：採用実績なしの場合は、「0」、不明の場合は「不明」と回答欄にご記入ください

（裏面に続く）

問4 現在の貴機関・施設の理学療法士充足状況についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つだけお選びください。

- 1 大きく不足している                      3 充足している  
2 やや不足している                        4 その他

問5 貴機関・施設の2019年度（2020年4月採用）の新卒理学療法士採用計画を実数（予定数）でご記入ください。

	2019年度 (2020年4月採用)
新卒理学療法士採用者数	人
( )内は、4年制大学卒業業者数で内数	( )人

注：採用計画なしの場合は「0」、未定の場合は「未定」と回答欄にご記入ください。

問6 貴機関・施設では、4年制大学を卒業した理学療法士資格所有者の採用にどのようなお考えをお持ちですか。該当する番号を1つだけお選びください。

- 1 採用したい                                      3 採用は考えない  
2 採用を検討したい                            4 その他

**【設置計画中の東京国際大学「医療健康学部 理学療法学科」についてお伺いします。】**  
(アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。)

問7 貴機関・施設では、東京国際大学「医療健康学部 理学療法学科」設置についてどのようなお考えをお持ちですか。該当する番号を1つだけお選びください。

- 1 ぜひ設置してほしい                        3 設置してほしくない  
2 どちらかという設置してほしい        4 その他

問8 貴機関・施設では、東京国際大学「医療健康学部 理学療法学科」を卒業した理学療法士資格所有者の採用にどのようなお考えをお持ちですか。該当する番号を1つだけお選びください。

- 1 採用したい                                      3 採用は考えない  
2 採用を検討したい                            4 その他

問9 上記問8で1または2を選択された場合のみ、ご回答ください。  
貴機関・施設では、東京国際大学「医療健康学部 理学療法学科」を卒業した理学療法士資格所有者を毎年何人程度採用したいというお考えをお持ちですか。該当する番号を1つだけ選んでください。

- 1 1～2人                                              4 7～10人  
2 3～4人                                            5 11人以上  
3 5～6人                                            6 その他

問10 東京国際大学「医療健康学部 理学療法学科」について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

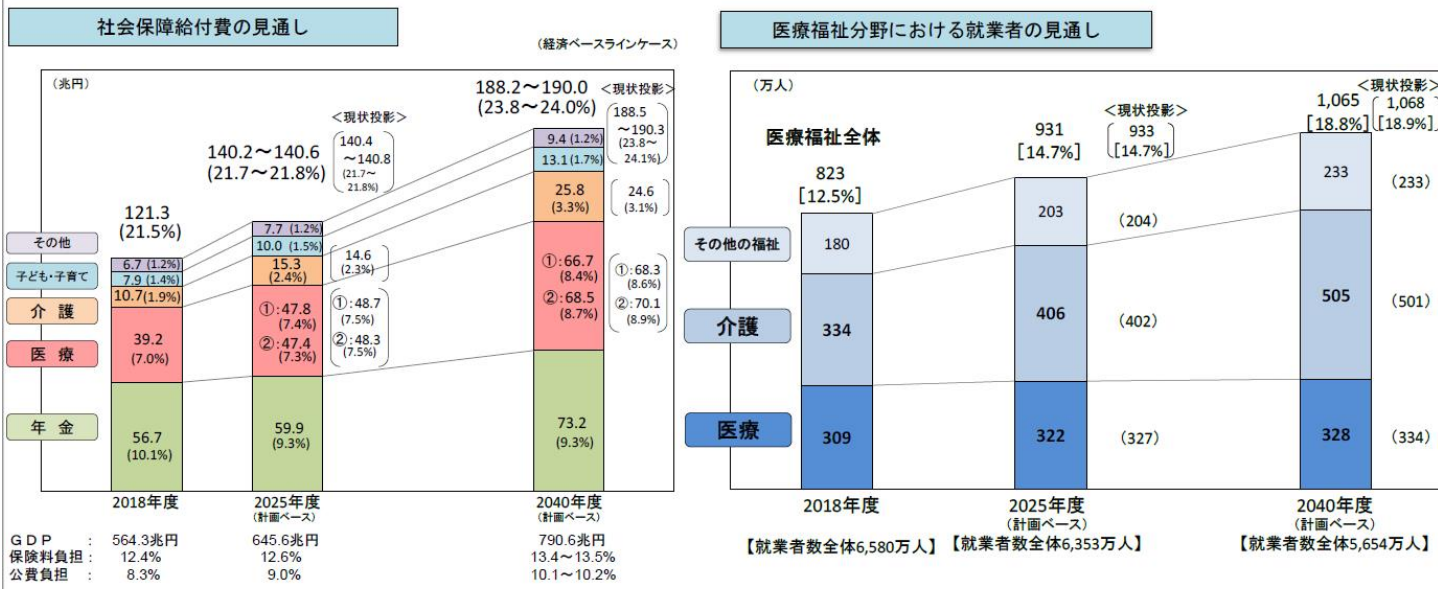
\*\*\* これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*

資料22. 社会保障給付費の将来見通し

試算結果②(社会保障給付費全体の見通し)

- 社会保障給付費の対GDP比は、2018年度の21.5% (名目額121.3兆円) から、2025年度に21.7~21.8% (同140.2~140.6兆円) となる。その後15年間で2.1~2.2%ポイント上昇し、2040年度には23.8~24.0% (同188.2~190.0兆円) となる。(計画ベース・経済ベースラインケース※)
- 経済成長実現ケース※でも、社会保障給付費の対GDP比は概ね同様の傾向で増加するが、2040年度と比較するとベースラインケースに比べて、1%ポイント程度低い水準(対GDP比22.6~23.2%(名目額210.8~215.8兆円))(計画ベース・経済成長実現ケース)。

※経済ベースラインケース及び成長実現ケースの経済前提については次頁参照。



(注1) 医療については、単価の伸び率の仮定を2通り設定しており、給付費も2通り(①と②)示している。  
 (注2) 「計画ベース」は、地域医療構想に基づく2025年度までの病床機能の分化・連携の推進、第3期医療費適正化計画による2023年度までの外来医療費の適正化効果、第7期介護保険事業計画による2025年度までのサービス量の見込みを基礎として計算し、それ以降の期間については、当該時点の年齢階級別の受療率等を基に機械的に計算。なお、介護保険事業計画において、地域医療構想の実現に向けたサービス基盤の整備については、例えば医療療養病床から介護保険施設等への転換など、現段階で見通すことが困難な要素があることに留意する必要がある。  
 (注3) 医療福祉分野における就業者の見通しについては、①医療・介護分野の就業者数については、それぞれの需要の変化に応じて就業者数が変化すると仮定して就業者数を計算。②その他の福祉分野を含めた医療福祉分野全体の就業者数については、医療・介護分野の就業者数の変化率を用いて機械的に計算。③医療福祉分野の短時間雇用の比率等の雇用形態別の状況等については、現状のまま推移すると仮定して計算。  
 ※平成30年度予算ベースを足元に、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」、内閣府「中長期の経済財政に関する試算(平成30年1月)」等を踏まえて計算。なお、医療・介護費用の単価の伸び率については、社会保障・税一体改革時の試算の仮定を使用。( )内は対GDP比。[ ]内は就業者数全体に対する割合。保険料負担及び公費負担は対GDP比。



資料23. 要介護の主な原因

介護が必要となった主な原因を要介護度別にみると、要支援者では「関節疾患」が17.2%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が16.2%となっている。要介護者では「認知症」が24.8%で最も多く、次いで「脳血管疾患（脳卒中）」が18.4%となっている。（表20）

表20 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因（上位3位）

平成28年

(単位:%)

要介護度	第1位		第2位		第3位	
総数	認知症	18.0	脳血管疾患（脳卒中）	16.6	高齢による衰弱	13.3
要支援者	関節疾患	17.2	高齢による衰弱	16.2	骨折・転倒	15.2
要支援1	関節疾患	20.0	高齢による衰弱	18.4	脳血管疾患（脳卒中）	11.5
要支援2	骨折・転倒	18.4	関節疾患	14.7	脳血管疾患（脳卒中）	14.6
要介護者	認知症	24.8	脳血管疾患（脳卒中）	18.4	高齢による衰弱	12.1
要介護1	認知症	24.8	高齢による衰弱	13.6	脳血管疾患（脳卒中）	11.9
要介護2	認知症	22.8	脳血管疾患（脳卒中）	17.9	高齢による衰弱	13.3
要介護3	認知症	30.3	脳血管疾患（脳卒中）	19.8	高齢による衰弱	12.8
要介護4	認知症	25.4	脳血管疾患（脳卒中）	23.1	骨折・転倒	12.0
要介護5	脳血管疾患（脳卒中）	30.8	認知症	20.4	骨折・転倒	10.2

注：熊本県を除いたものである。

厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査の概況」



資料24. 理学療法士・作業療法士の需給推計

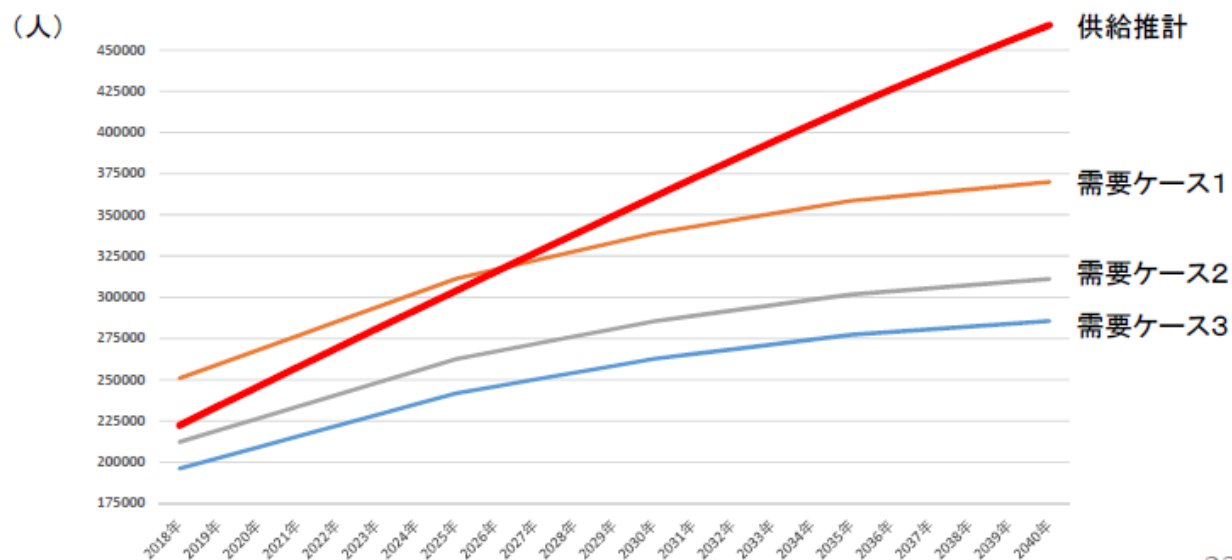
理学療法士・作業療法士の需給推計について(案)

PT・OTの供給数は、現時点においては、需要数を上回っており、2040年頃には供給数が需要数の約1.5倍となる結果となった。

供給推計 全体の平均勤務時間と性年齢階級別の勤務時間の比(仕事率)を考慮して推計。

需要推計 ケース1、ケース2、ケース3について推計※

※ 精神科入院受療率、外来リハビリ実施率、時間外労働時間について幅を持って推計



## 資料25. 理学療法士の需給調査結果

① (書類等の題名)

学生の確保の見通し等を記載した書類 添付資料  
資料 25. 理学療法士の需給調査結果

② (出典)

四病院団体協議会/厚生労働省

③ (引用範囲)

[https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000120212\\_6.pdf](https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000120212_6.pdf)

第2回理学療法士・作業療法士需給分科会 資料3

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士需給調査 1, 2, 15, 16, 17, 28, 33 頁

<参照 2020-1-28>

④ (その他の説明)

なし。

## 資料26. 自治体に所属する理学療法士及び作業療法士の雇用実態調査

### ① (書類等の題名)

学生の確保の見通し等を記載した書類 添付資料

資料 26. 自治体に所属する理学療法士及び作業療法士の雇用実態調査 全 4 ページ

### ② (出典)

公益財団法人 日本理学療法士協会

### ③ (引用範囲)

[http://www.japanpt.or.jp/upload/japanpt/obj/files/chosa/2016\\_houkokusyo\(syuusei\).pdf](http://www.japanpt.or.jp/upload/japanpt/obj/files/chosa/2016_houkokusyo(syuusei).pdf)

平成 28 年度厚生労働省地域保健総合推進事業 自治体等に所属する理学療法士、作業療法士の地域包括ケアシステムへの活動推進事業-理学療法士・作業療法士が地域保健活動を円滑に進めるための情報ネットワークの構築と活動マニュアルの作成-

12-15 頁 自治体に所属する理学療法士及び作業療法士の雇用実態調査

<参照 2020-8-4>

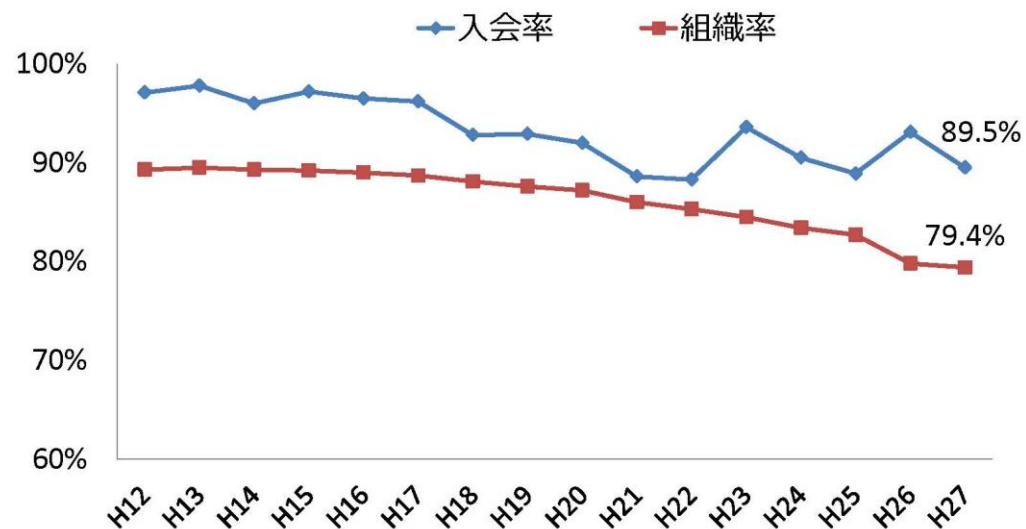
### ④ (その他の説明)

なし

資料27. 日本理学療法士協会の組織率

## 日本理学療法士協会の入会率と組織率の推移

日本理学療法士協会の入会率は約90%、組織率は約80%となっている。



入会率：当該年度入会者数÷当該年度国家試験合格者数×100

組織率：当該年度会員数÷国家試験合格者累計数×100

日本理学療法士協会調べ H28.1 現在

厚生労働省「第1回理学療法士・作業療法士需給分科会 資料5. 理学療法士を取り巻く状況について」